令和8年度

港湾施設長期保全事業

安芸津桟橋改築工事

仕様書

施　工　場　所　　東広島市安芸津町三津

東広島市

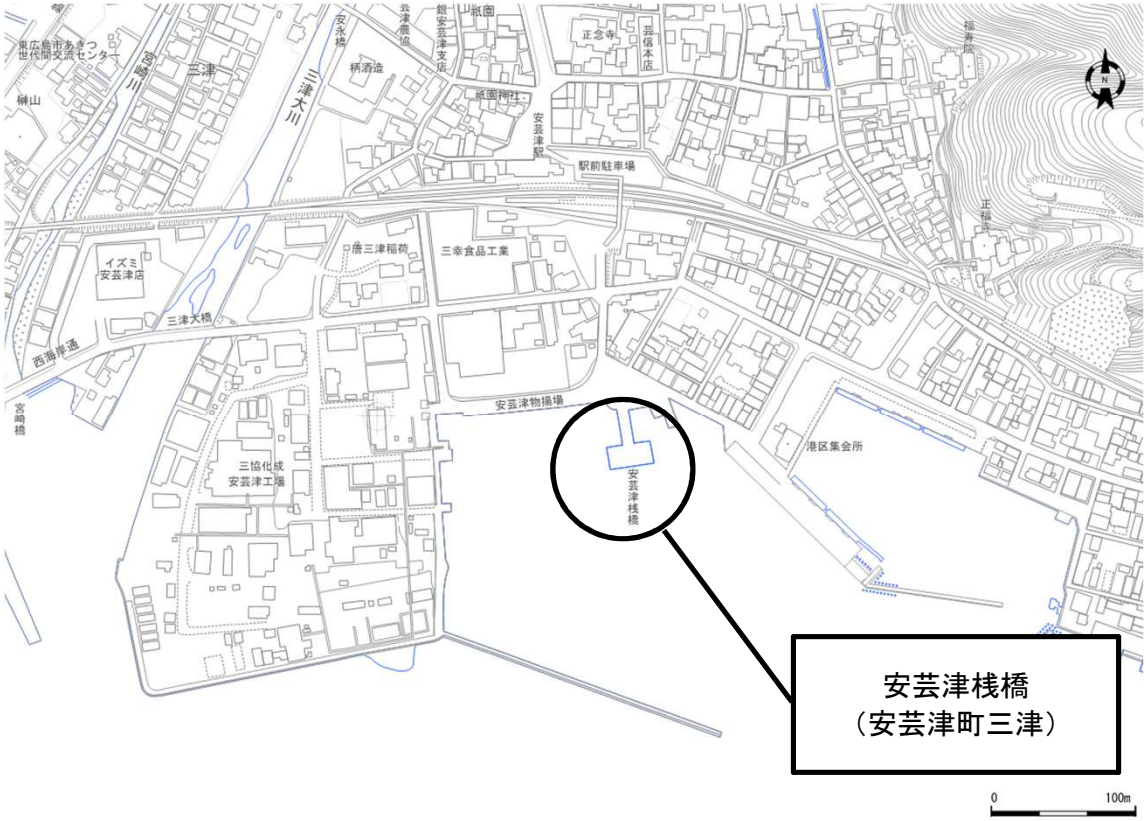
位置図

港湾施設長期保全事業
安芸津桟橋改築工事

広域図



詳細図



特　記　仕　様　書

（安芸津桟橋改築工事）

第1章　総則

1.　適用
2.　前払金
3.　債務負担
4.　現場代理人の兼務
5.　履行報告
6.　官公庁等への手続き等
7.　工事中情報共有システム（発注者指定型）
8.　余裕期間制度適用工事(任意着手方式)
9.　熱中症対策に資する現場管理費の補正
10.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
11.　法定外の労災保険の付保
12.　週休２日適用工事等　週休２日
13.　建設副産物の取り扱いについて

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料
2.　品質規格証明資料等
3.　指定資材

第3章　施工条件

1.　工程
　(1) 施工時期・時間の制限
2.　安全対策
　(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
　(2) 架空線の防護管に要する費用について
　(3) 海上作業について
3.　建設副産物
　(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）
　(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
　(3) コンクリート殻（無筋）(搬出)
　(4) アスファルト殻(搬出)
4.　フェリーの休止期間
5.　碇けい工

第4章　その他

1.　工事関係書類
2.　工事写真
3.　疑義の解決等
4. 底質調査

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)　「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)　「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

令和8年度　75,000,000円

令和9年度　残額

出来高予定額

令和8年度　83,400,000円

令和9年度　残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い　　請求可

契約会計年度において契約会計年度及び翌会計年度の出来高予定額の40%を請求できるものとする。なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし、中間前金払いを選択した場合においても、契約会計年度は、出来高予定額に係る当該年度末の出来高に対する部分払いを請求できるものとする。

4.　現場代理人の兼務

1　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき

⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき

⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき

⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき

⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき

⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

5.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（発注者指定型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。

（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。この場合においては、次のとおりとする。

１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

２）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

３）「4.検査」は適用しない。

４）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

５）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 余裕期間制度適用工事(任意着手方式)

（１） 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に労働者の確保や、建設資材の調達を計画的に行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工期の始期を選定する期限日までの間で、受注者は工期の始期を任意に設定することができる。

なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、「余裕期間制度適用工事工期申出書（様式１）」により、工期の始期を通知すること。

（２） 余裕期間内は、主任技術者、監理技術者及び現場代理人を設置することを要しない。また、資材等の準備を行うことができるが、現場への搬入、仮設物の設置等、工事の着手（測量等、現場作業が伴うものを含む。）を行ってはならない。余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

【余裕期間：契約締結日の翌日から工期の始期の前日まで】

【工期の始期を選定する期限日：令和9年3月31日】

【工期日数: 工期の始期から366日間】

（３） 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

（４） CORINS への登録における技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないこと。）

（５） 現場代理人及び主任技術者等指名届の提出において、特約事項第２項中「契約締結後14日以内に提出」とあるのは、「始期日から起算して14日以内に提出」と読み替える。

（６） 請負代金内訳書及び工程表の提出において、建設工事請負契約約款第３条第１項中「契約締結後14日以内」とあるのは、「始期日から起算して14日以内」と読み替える。

9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

（１） 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

（２） 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

（３） 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数 （WBGT）を対象とする。

（４） 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環

境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

（５） 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

（６） 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

（７） 積算方法は次のとおりとする。

１）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

（８） 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

（９） 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

10. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

11. 法定外の労災保険の付保

１ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

２ 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

３ 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

12. 週休２日適用工事等 週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

13. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

１ 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

２ 計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

３ 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、

工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3.　指定資材

総合評価落札方式適用工事における指定資材とは、下記のとおりとする。

・レディーミクストコンクリート
・アスファルト合材
・陸閘

第3章　施工条件

1.　工程

(1) 施工時期・時間の制限

施工内容　　全作業
時期　　全工事期間
施工方法・理由　民家が隣接しているため、夜間作業を見込んでいない。

2.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

安全監視船　・安全監視船は、海上作業に必要な79日間（1隻/日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、安全監視船の配備日数が必要となった場合は、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

(3) 海上作業について

安芸津桟橋は供用中の施設であることから、安芸津フェリー株式会社及び三協化成株式会社等の関係各所と十分協議を行い、海上作業の安全に努めること。

3.　建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂質土

（名称）　有限会社エス・エス大南山残土処理場

（所在地）　竹原市下野町字大南山1372-1

（運搬距離）　6.8ｋｍ

床掘土砂

（名称）　深江藻場造成事業【第2事業】

（所在地）　江田島市大柿町深江地先

（運搬距離）　49.0ｋｍ

(2) コンクリート殻（有筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　1.5ｋｍ　を見込んでいる。

(3) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　1.5ｋｍ　を見込んでいる。

(4) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　4.6ｋｍ　を見込んでいる。

4.　フェリーの休止期間

連絡橋架替等の作業時は、フェリーの運休を伴うことから、利用者への影響を考慮し、可能な限り運休日数の短縮に努め、運休日数、運休時期について事前に発注者と協議のうえ決定すること。

5.　碇けい工

アンカーブロック及びアンカーチェーン等は支給となるため、据付の際は事前に確認して作業を進めること。床掘作業時は、既設のアンカーブロック位置の確認を行い、当該施設及び周辺施設に影響のないように施工を行うこと。

第4章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかと、紙媒体のダイジェスト版（着工前及び完成、主たる工種の施工状況）とする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 底質調査

床掘土砂の処分に際し、事前に底質調査（別紙　一般項目及び有害項目の合計40項目）結果が必要となるが、海域における床掘作業時期が底質調査の有効期限（1年）を超える場合は、再度調査を実施し、結果が基準値未満であることを確認すること。

別紙

海面埋立に係る試験項目

区分	項目	試験区分		基準値	根拠規定
		含有量	溶出		
一般項目	COD	－	－	20mg/g	水産用水基準
	強熱減量	－	－	0.2mg/g	政令201号
	n－ヘキサン抽出物質	－	－	0.10%	水産用水基準
	油分	－	－	15%	総令5号
	硫化物	－	－	15mg/L	水産用水基準
	粒度試験	－	－		－
有害項目	アルキル水銀	－	○	検出されないこと	総令6号
	水銀又はその化合物	○	○	0.005mg/L	総令6号及び環水管119号
	カドミウム又はその化合物	－	○	0.03mg/L	総令6号
	鉛又はその化合物	－	○	0.1mg/L	同上
	有機リン化合物	－	○	1mg/L	同上
	六価クロム化合物	－	○	0.2mg/L	同上
	砒素又はその化合物	－	○	0.1mg/L	同上
	シアン化合物	－	○	1mg/L	同上
	PCB	○	○	0.003mg/L	総令6号及び環水管119号
	銅又はその化合物	－	○	3mg/L	総令6号
	亜鉛又はその化合物	－	○	2mg/L	同上
	フッ化物	－	○	15mg/L	同上
	トリクロロエチレン	－	○	0.1mg/L	同上
	テトラクロロエチレン	－	○	0.1mg/L	同上
	ベリリウム又はその化合物	－	○	2.5mg/L	同上
	クロム又はその化合物	－	○	2mg/L	同上
	ニッケル又はその化合物	－	○	1.2mg/L	同上
	バナジウム又はその化合物	－	○	1.5mg/L	同上
	有機塩素化合物	○	－	40mg/L	同上
	ジクロロメタン	－	○	0.2mg/L	同上
	四塩化炭素	－	○	0.02mg/L	同上
	1.2-ジクロロメタン	－	○	0.04mg/L	同上
	1.1-ジクロロエチレン	－	○	1mg/L	同上
	シス-1.2-ジクロロエチレン	－	○	0.4mg/L	同上
	1.1.1-トリクロロエタン	－	○	3mg/L	同上
	1.1.2-トリクロロエタン	－	○	0.06mg/L	同上
	1.3-ジクロロプロペン	－	○	0.02mg/L	同上
	チウラム	－	○	0.06mg/L	同上
	シマジン	－	○	0.03mg/L	同上
	チオベンカルム	－	○	0.2mg/L	同上
	ベンゼン	－	○	0.1mg/L	同上
	セレン又はその化合物	－	○	0.1mg/L	同上
	1.4-ジオキサン	－	○	0.5mg/L	同上
	ダイオキシン	○	○	150pg-TEQ/g 10pg-TEQ/L	環告68号及び総令6号

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「（様式１）調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「（様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
護岸・岸壁・物揚場		式		1	レベル1
基礎工		式		1	レベル2
基礎捨石工		式		1	レベル3
基礎捨石	捨石：１０kg～２００kg	m3		393	レベル4
捨石本均し		m2		29	レベル4
捨石荒均し		m2		383	レベル4
被覆・根固工		式		1	レベル2
被覆石工		式		1	レベル3
被覆石	２００kg以上～４００kg未満	m3		167	レベル4
被覆均し		m2		450	レベル4
上部工		式		1	レベル2
上部コンクリート工	本設連絡橋橋台	式		1	レベル3
足場		式		1	レベル4
鉄筋	SD345	kg		674	レベル4
型枠		式		1	レベル4
コンクリート	18-8-40BB	m3		37	レベル4
土のう		式		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
碇けい工		式		1	レベル2
床掘り		式		1	レベル3
バックホウ床掘		式		1	レベル4
基礎捨石工		式		1	レベル3
基礎捨石	10kg～100kg	m3		29	レベル4
捨石本均し	本均し:±5cm	m2		42	レベル4
アンカーブロック据付工		式		1	レベル3
アンカーブロック据付	ブロック運搬据付（海上一連方式)	個		2	レベル4
置換材投入	10kg～100kg	式		1	レベル4
付属工		式		1	レベル2
付属設備工		式		1	レベル3
橋台支承設置	仮設橋台支承流用	組		1	レベル4
陸閘工		式		1	レベル3
陸閘製作設置・撤去工		式		1	レベル4
現場発生品運搬	アルミ込みガラ	回		1	レベル4
スクラップ処分費		kg		2,861	レベル4
鉄筋	SD345	ｋｇ		829	レベル4
伸縮目地	瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	m2		0.3	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
型枠		式		1	レベル4
コンクリート	24-12-20(25)BB	m3		29	レベル4
裏込・裏埋工		式		1	レベル2
裏込工		式		1	レベル3
裏込材	150～50mm	m3		72	レベル4
裏込均し		m2		51	レベル4
防砂シート敷設		m2		69	レベル4
土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
下層路盤	RC-30,t=100	m2		811	レベル4
上層路盤	RM-30,t=100	m2		811	レベル4
表層	再生密粒度As,t=50	m2		811	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
溶融式区画線	実線・白・15cm	m		307	レベル4
溶融式区画線	矢印・記号・文字_15cm換算	m		36	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
構造物撤去工		式		1	レベル2
撤去工		式		1	レベル3
石材撤去	石積み	m3		6	レベル4
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物,機械施工	m3		27	レベル4
殻運搬（無筋）	コンクリート殻	m3		27	レベル4
殻処分（無筋）	コンクリート殻	t		63	レベル4
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物,機械施工	m3		66	レベル4
殻運搬（鉄筋）	コンクリート殻	m3		66	レベル4
殻処分（鉄筋）	コンクリート殻	t		165	レベル4
舗装版撤去		m2		811	レベル4
殻運搬	アスファルト殻	m3		43	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		100	レベル4
積込(ルーズ)	土砂	m3		77	レベル4
土砂等運搬		m3		198	レベル4
土砂処分		m3		198	レベル4
排水構造物撤去	硬質塩化ビニル管	m		13	レベル4
置き式防護柵撤去	基礎及び防護柵	m		20	レベル4
復旧工		式		1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
新設橋台部		式		1	レベル3
型枠		式		1	レベル4
伸縮目地	瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	m2		3	レベル4
コンクリート	18-8-40BB	m3		22	レベル4
仮設橋台部		式		1	レベル3
型枠		式		1	レベル4
伸縮目地	瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	m2		3	レベル4
コンクリート	18-8-40BB	m3		27	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
側溝工		式		1	レベル3
自由勾配側溝	300×400,300×500,300×600	m		51.3	レベル4
管(函)渠型側溝	据付 200㎜以上300㎜以下	m		2	レベル4
集水桝工		式		1	レベル3
プレキャスト集水桝	据付 基礎砕石有り 基礎Co σck=18N/㎜2	基		1	レベル4
止壁工		式		1	レベル3
止壁工		箇所		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
吐出口基礎工		式		1	レベル3
吐出口基礎工		箇所		1	レベル4
付属工		式		1	レベル2
付属設備工		式		1	レベル3
電柱復旧		基		1	レベル4
給水管布設	硬質塩化ビニル管　呼び径20㎜	m		5.3	レベル4
給水管撤去	硬質塩化ビニル管　呼び径20㎜	m		25.8	レベル4
フラッグポール設置	埋込式	本		1	レベル4
碇けい工		式		1	レベル2
浮函碇けい工		式		1	レベル3
浮函碇けい		函		1	レベル4
連絡橋架設工（海上）		基		1	レベル4
連絡橋撤去工（海上）		基		1	レベル4
チェーン防護材設置工		式		1	レベル3
チェーン防護材設置工		式		1	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
事業損失防止施設費					
事業損失防止施設費		式		1	レベル2

工事数量総括表

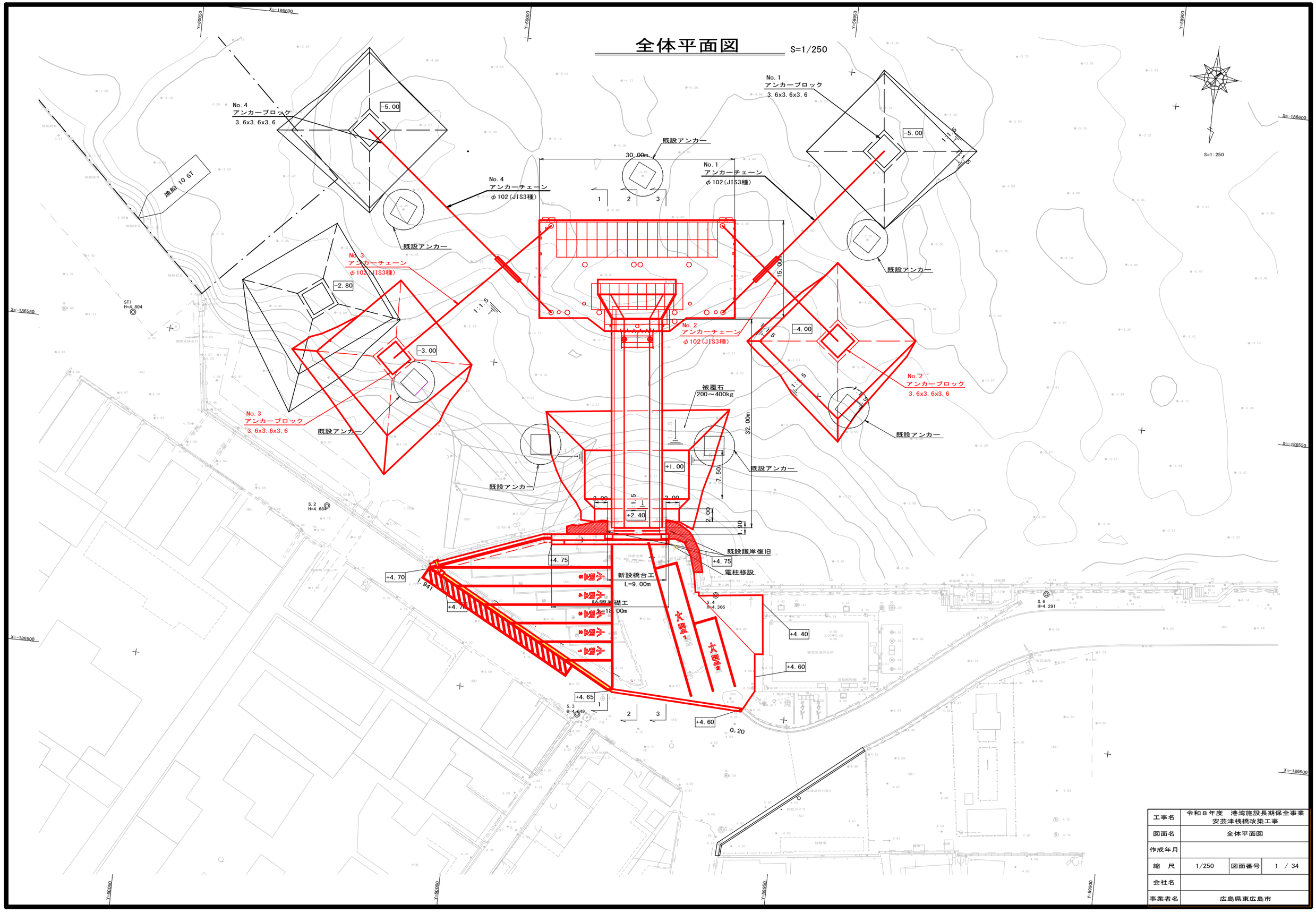
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
事業損失防止施設費（港湾）		式		1	レベル3
水質汚濁防止膜		式		1	レベル4
回航費					
回航・えい航費		式		1	レベル2
回航・えい航費(港湾)		式		1	レベル3
えい航		回		2	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費（港湾）		式		1	レベル3
技術管理		式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費（港湾）		式		1	レベル3
安全対策		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

全体平面図

S=1/250

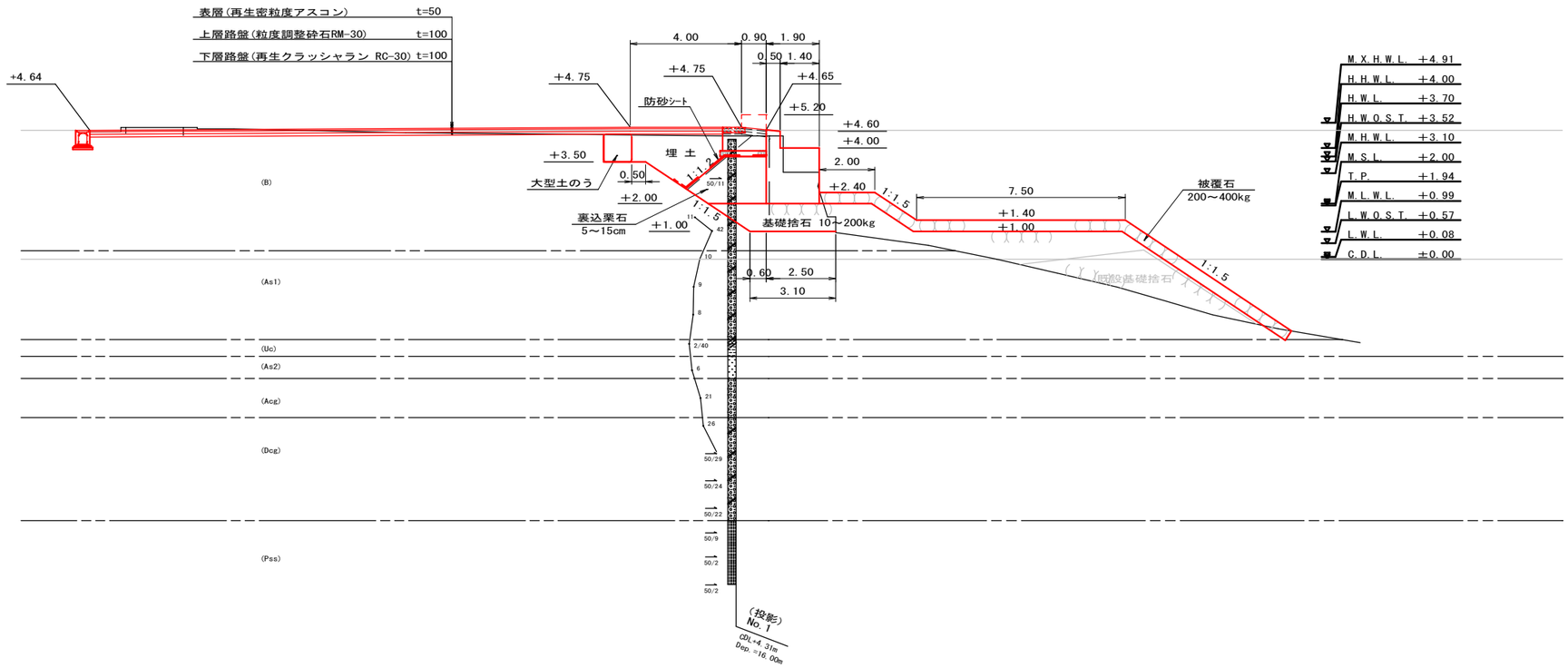


工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	全体平面図		
作成年月			
縮　尺	1/250	図面番号	1 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

標準断面図（1）

S=1/100

（新設橋台部）



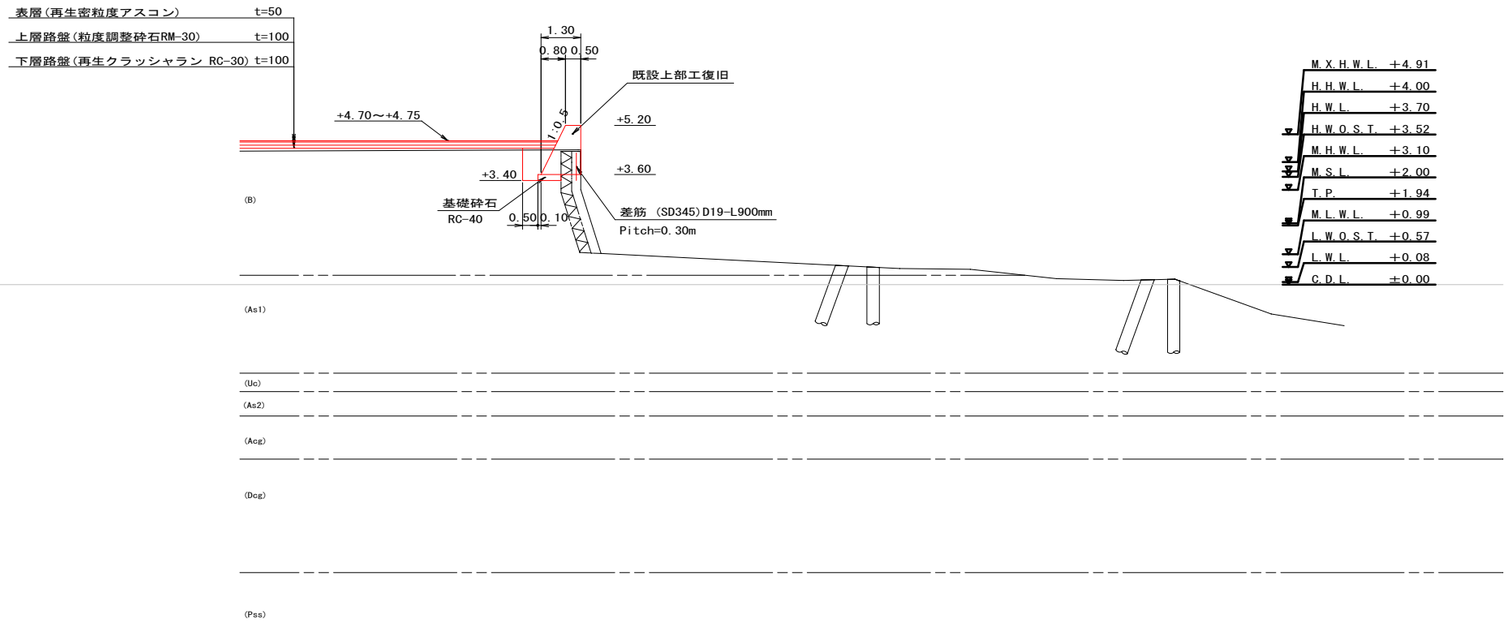
※ 橋台直下の基礎捨石は、10～100kg程度の小さめの基礎捨石を投入すること。

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	標準断面図（1）		
作成年月			
縮　尺	1/100	図面番号	2 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

標準断面図（2）

S=1/100

（既設護岸上部工復旧）



※ 現状不明のため既設護岸の提体及び上部工の位置関係や形状は想定である。
上部工復旧に際して法線を現場で調整し、差筋が既設護岸コンクリートに定着されるように施工すること。

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	標準断面図（2）		
作成年月			
縮　尺	1/100	図面番号	3 ／ 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

新設橋台工横断図

（新設橋台部）

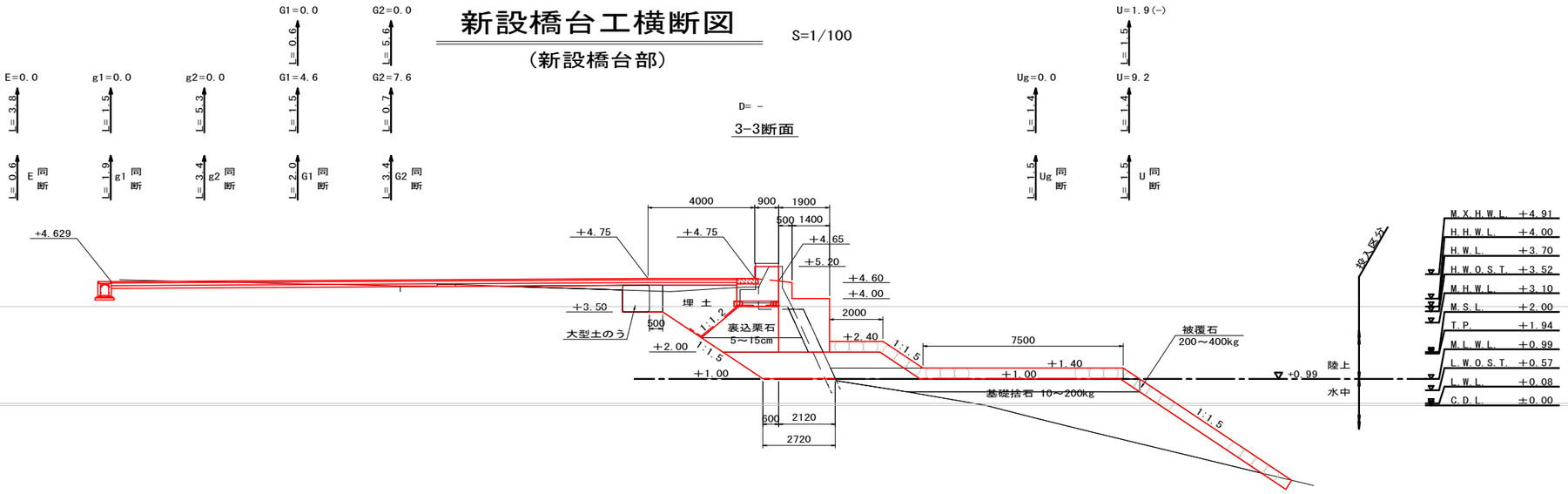
S=1/100

3−3断面

D= −

数量表

種別	細別	規格	記号	単位	数量	
床掘			E	m2	13.3	(13.5)
基礎捨石	陸上	10～200kg	g1	m2	6.0	
	水中	10～200kg	g2	m2	17.0	
被覆石	陸上	200～400kg	G1	m2	4.6	
	水中	200～400kg	G2	m2	2.9	
裏込栗石		5～15cm	Ug	m2	3.9	(5.1)
埋土			U	m2	5.9	

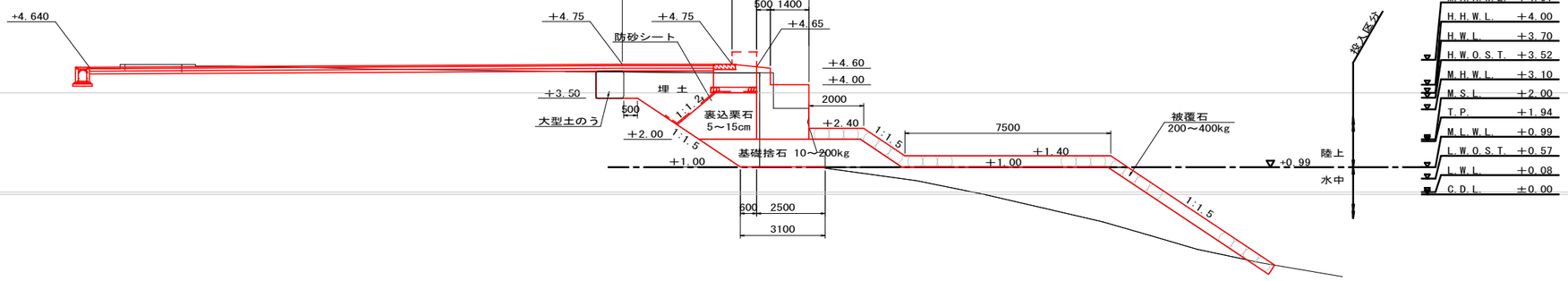


2−2断面

D=4.500

数量表

種別	細別	規格	記号	単位	数量
床掘			E	m2	12.1
基礎捨石	陸上	10～200kg	g1	m2	6.0
	水中	10～200kg	g2	m2	14.9
被覆石	陸上	200～400kg	G1	m2	4.6
	水中	200～400kg	G2	m2	2.7
裏込栗石		5～15cm	Ug	m2	3.9
埋土			U	m2	5.5

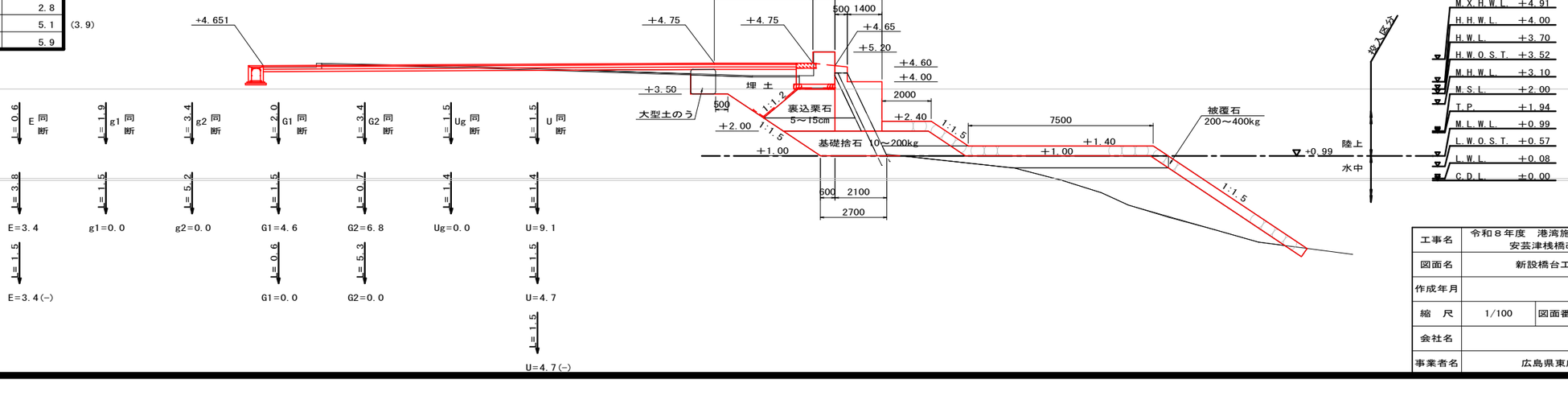


1−1断面

D=4.500

数量表

種別	細別	規格	記号	単位	数量	
床掘			E	m2	12.7	
基礎捨石	陸上	10～200kg	g1	m2	6.0	
	水中	10～200kg	g2	m2	14.8	
被覆石	陸上	200～400kg	G1	m2	4.6	
	水中	200～400kg	G2	m2	2.8	
裏込栗石		5～15cm	Ug	m2	5.1	(3.9)
埋土			U	m2	5.9	



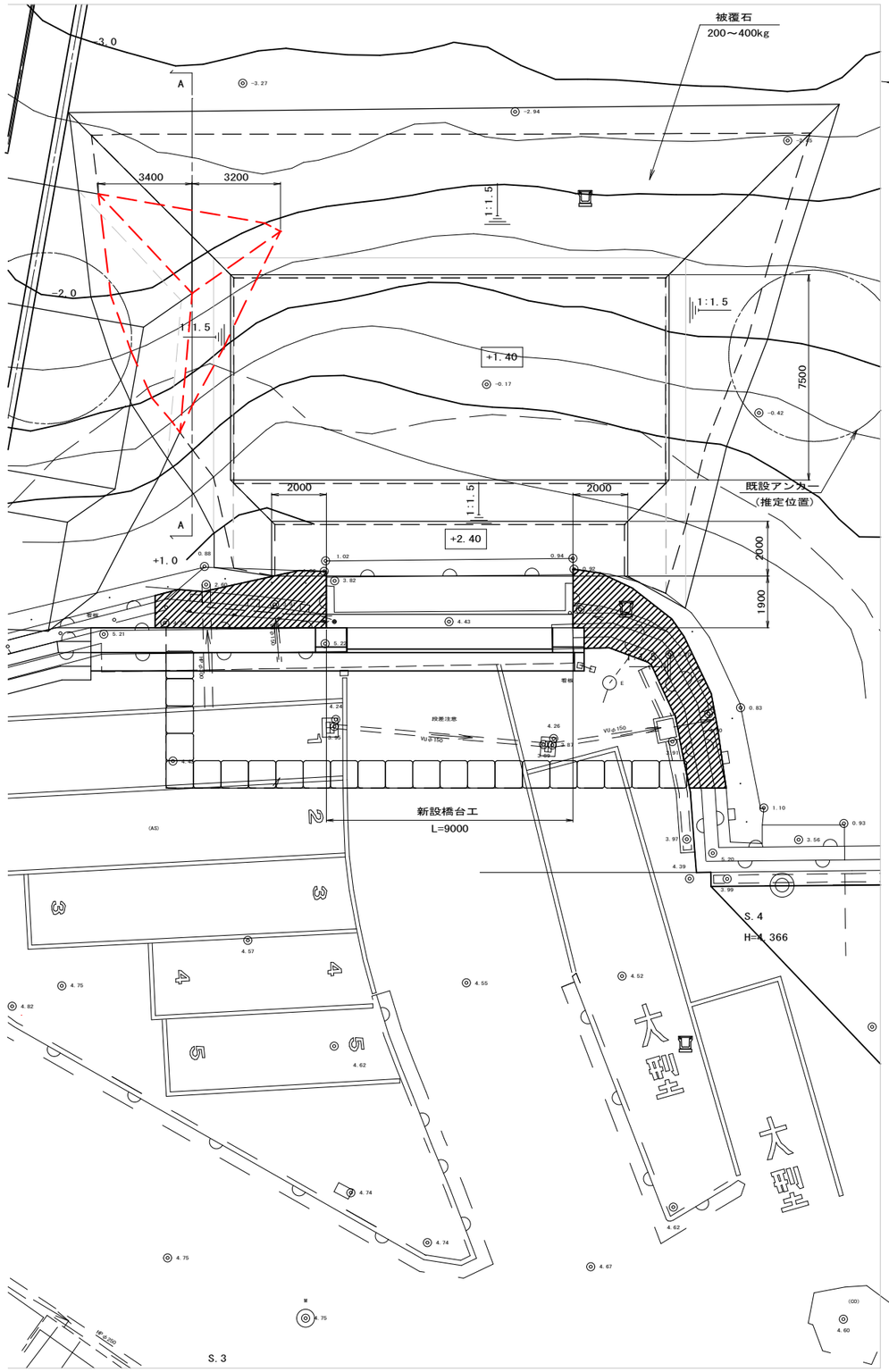
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事
図面名	新設橋台工横断図
作成年月	
縮尺	1/100　図面番号　4 / 35
会社名	
事業者名	広島県東広島市

新設橋台工基礎詳細図

S=1/100

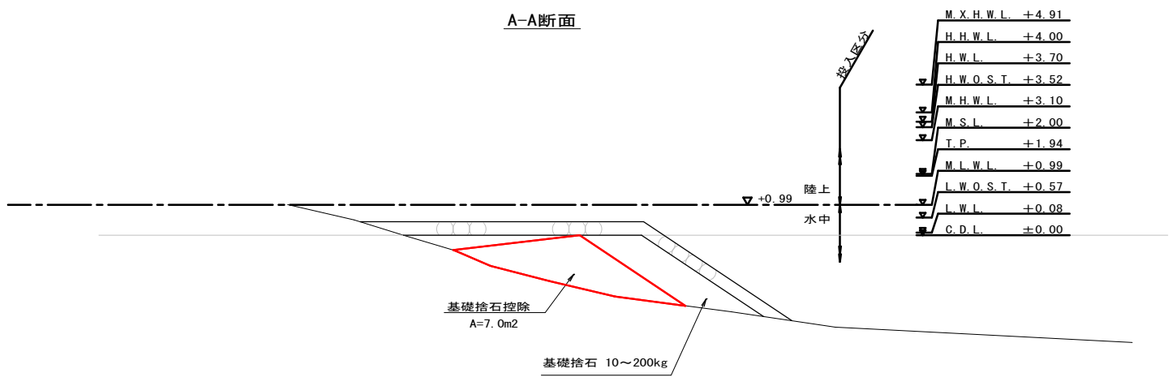
（新設橋台部）

平面図



仮設橋台工基礎捨石重複部

A-A断面



新設橋台工基礎控除 数量表

（1ヶ所当り）

種別	細別	規格	計算式	単位	数量
基礎捨石	水中	10～200kg	7.0×1/2×(3.4+3.2)	m3	23.1

※ 仮設橋台の捨石撤去時では、新設橋台基礎と重複する捨石マウンドについては、被覆石を設置できる範囲で捨石を存置すること。

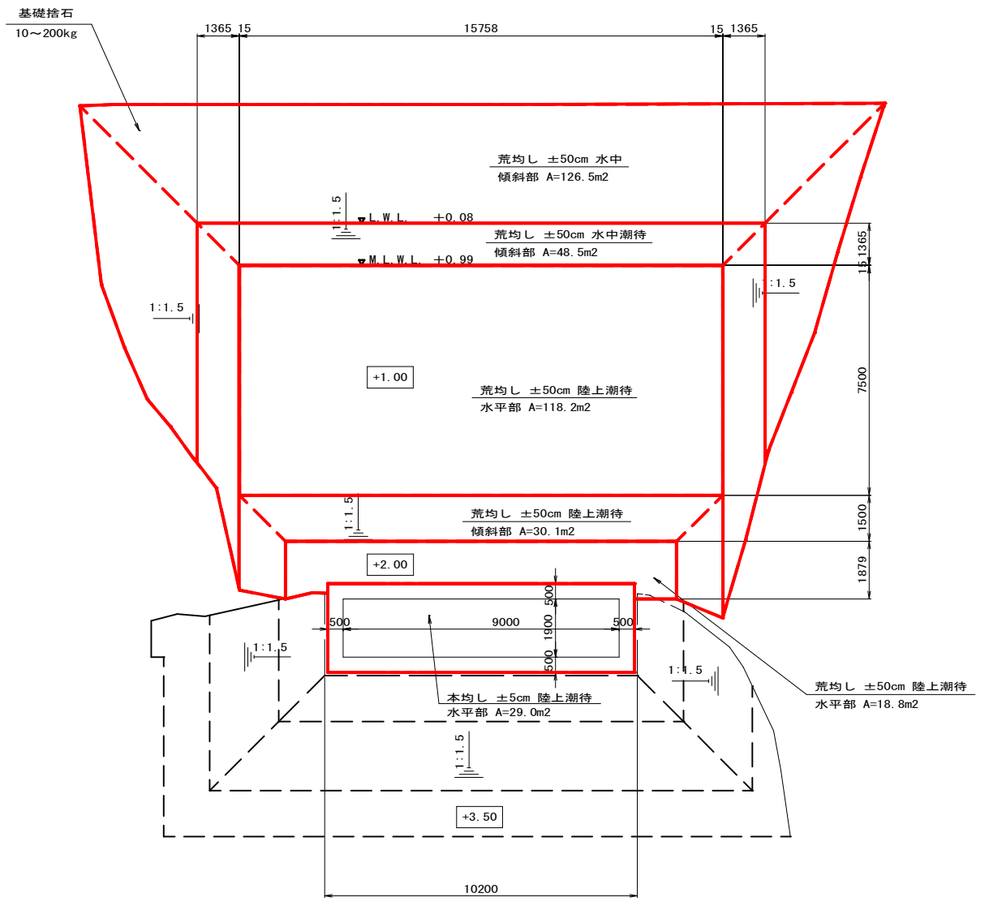
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工基礎詳細図		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	5 / 35
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

新設橋台工基礎捨石均し詳細図

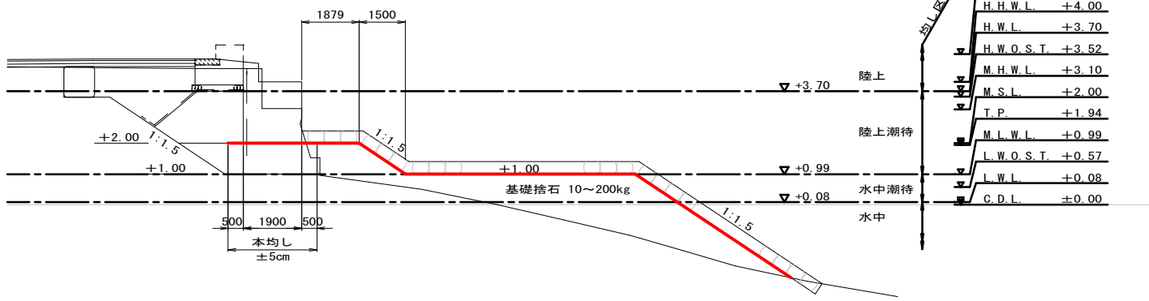
S=1/100

（新設橋台部）

平 面 図



数量区分図



基礎捨石均し 数量表

（1ヶ所当り）

種 別	細 別	規 格	計 算 式		単位	数 量
本 均 し	陸上潮待	±5cm		水平部	m2	29.0
荒 均 し	陸上潮待	±50cm	18.8+118.2 = 137.0	水平部		
			30.1×1.202 = 36.2	傾斜部(1:1.5)		
			137.0+36.2	合計	m2	173.2
	水中潮待	±50cm	48.5×1.202	傾斜部(1:1.5)	m2	58.3
	水 中	±50cm	126.5×1.202	傾斜部(1:1.5)	m2	152.1

※ 1.202は勾配1:1.5の斜率

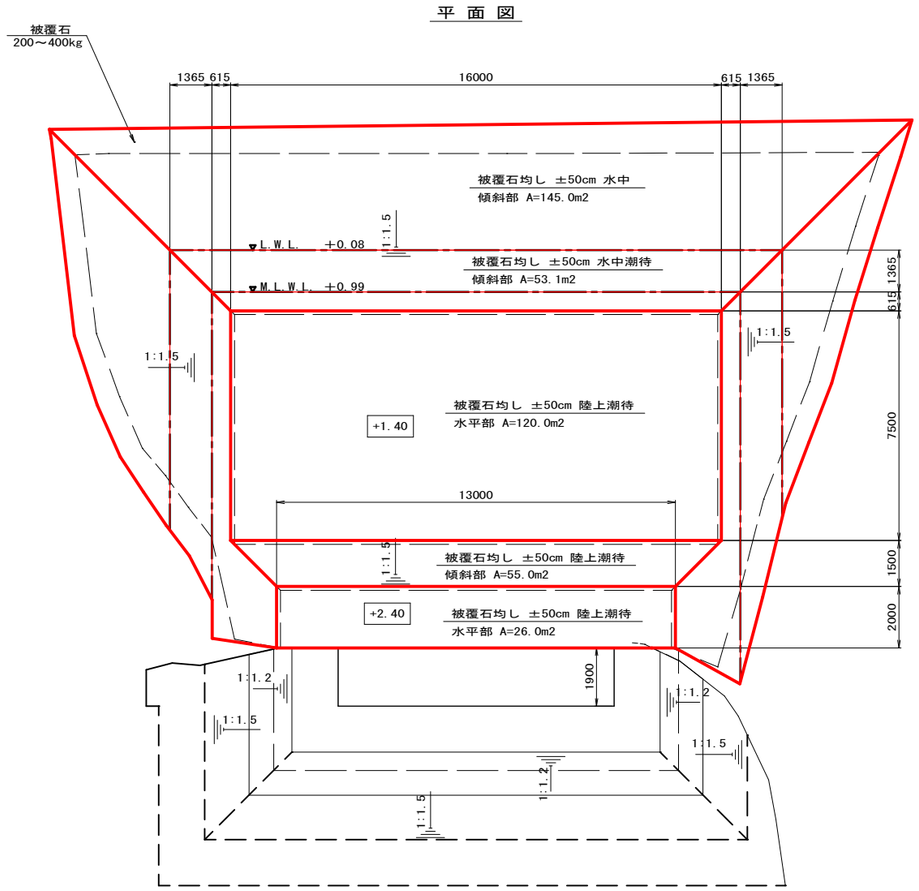
工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工基礎捨石均し詳細図		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	6 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

新設橋台工被覆石均し詳細図

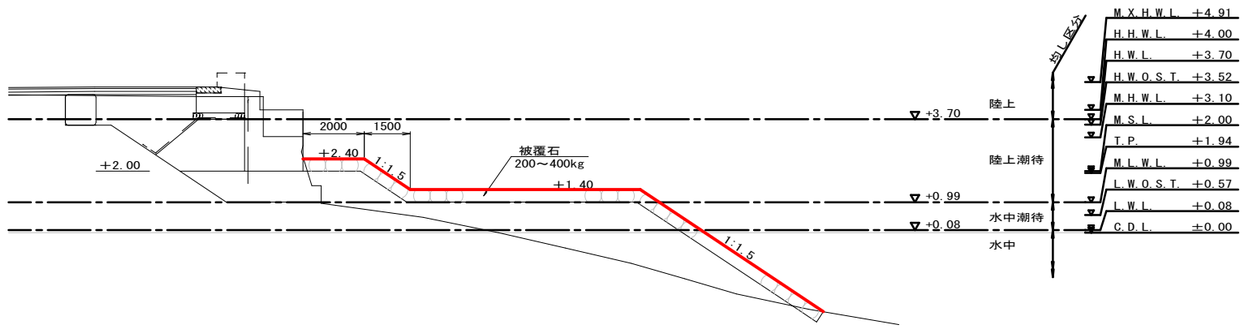
S=1/100

（新設橋台部）

平 面 図



数量区分図



被覆石均し 数量表

（1ヶ所当り）

種別	細別	規格	計算式		単位	数量
被覆石均し	陸上潮待	±50cm	26.0+120.0	= 146.0 水平部		
			55.0×1.202	= 66.1 傾斜部(1:1.5)		
			146.0+66.1	合計	m2	212.1
	水中潮待	〃	53.1×1.202	傾斜部(1:1.5)	m2	63.8
	水中	〃	145.0×1.202	傾斜部(1:1.5)	m2	174.3

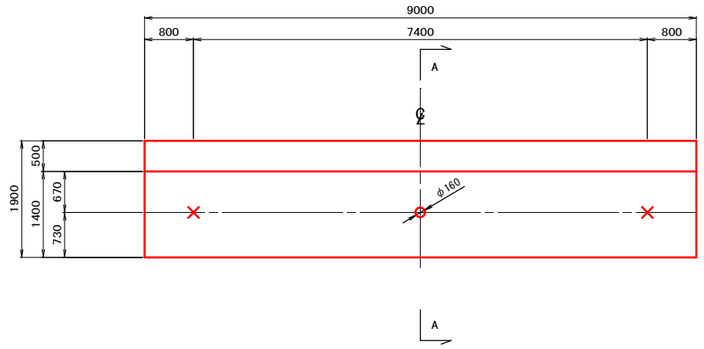
※ 1.202は勾配1:1.5の斜率

工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工被覆石均し詳細図		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	7 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

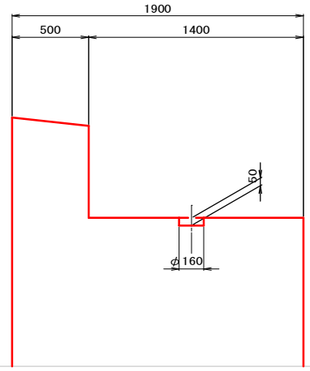
新設橋台工構造図

（新設橋台部）

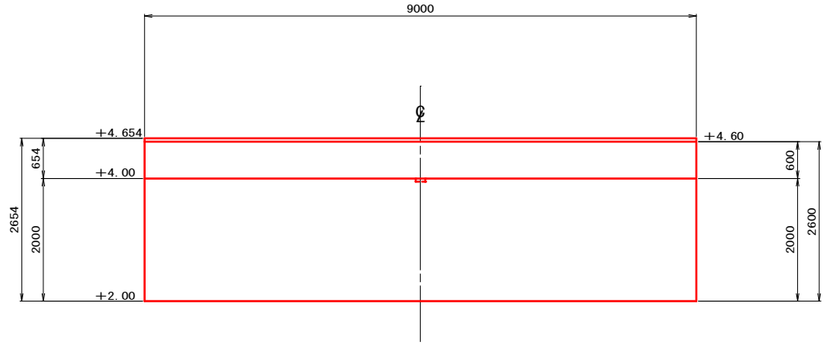
平 面 図 S=1/50



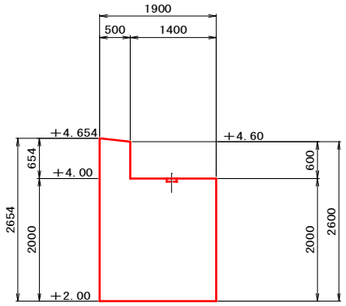
A–A断面 S=1/20



正 面 図 S=1/50



側 面 図 S=1/50



新設橋台工 数量表

（1ヶ所当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm2	{2.00×1.90+1/2×(0.60+0.654)×0.50}×9.00−0.16^2×π/4×0.05	m3	37.020
型　枠			(1.90+9.00)×2×2.00+(0.654+0.60)×9.00+1/2×(0.60+0.654)×0.50×2	m2	55.513
鉄　筋	D16	SD345		kg	575.11
	D13	SD345		kg	98.88
枠組足場	組立・組外		2.654×9.00×2	掛m2	47.8

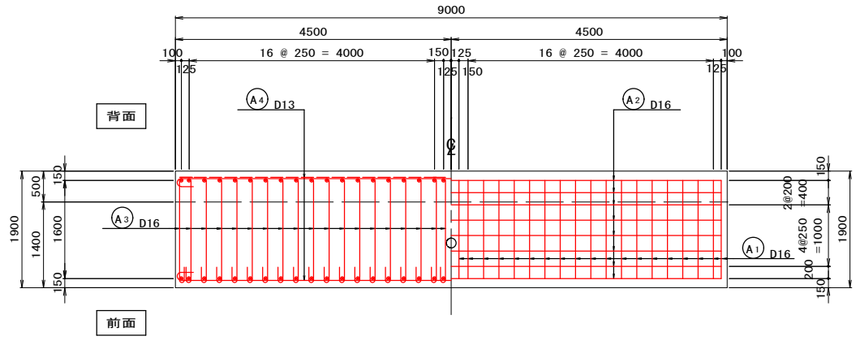
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事
図面名	新設橋台工構造図
作成年月	
縮　尺	図示　図面番号　8 / 34
会社名	
事業者名	広島県東広島市

新設橋台工配筋図（1）

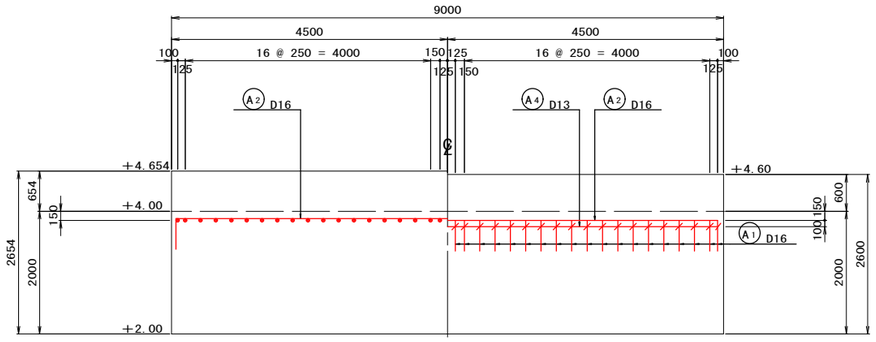
S=1/50

（仮設橋台部）

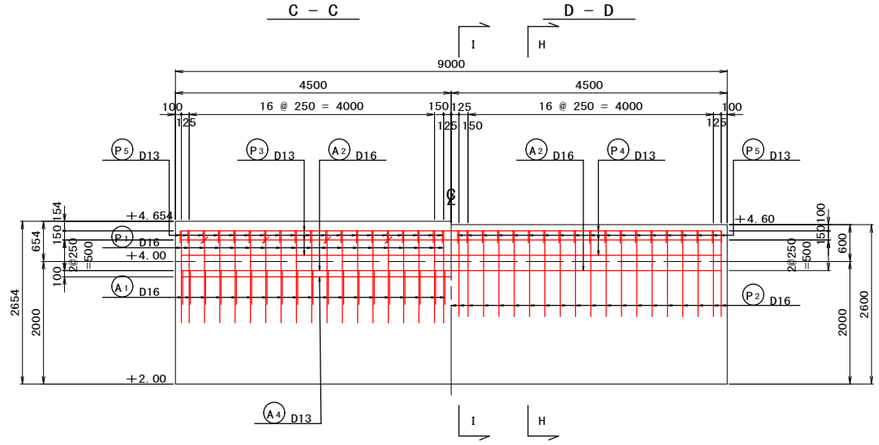
A － A　　B － B



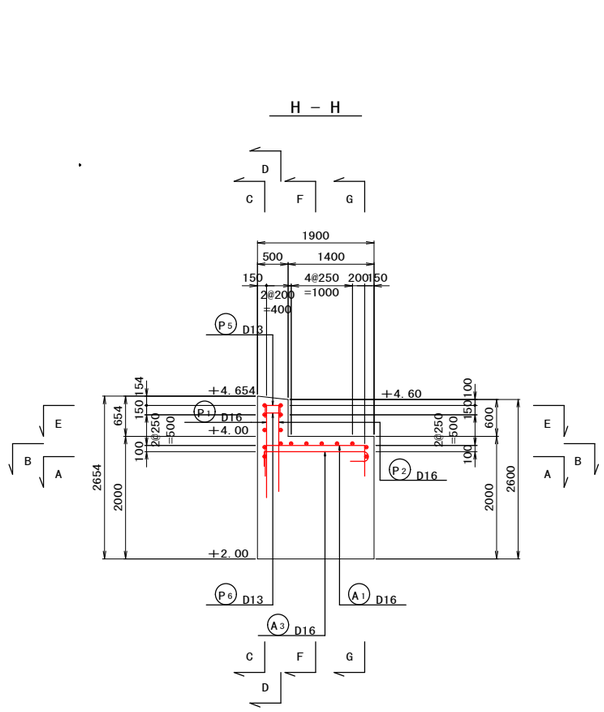
F － F　　G － G



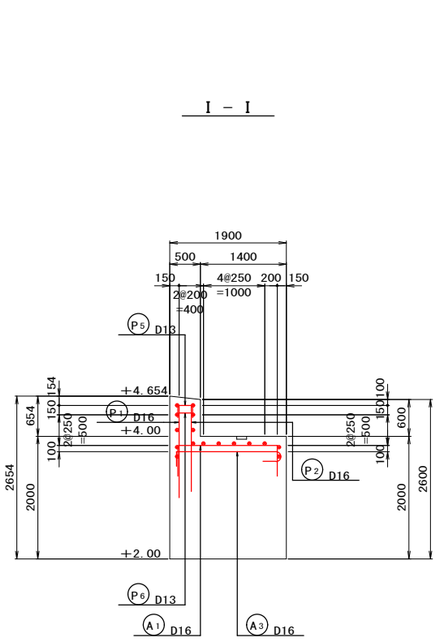
C － C



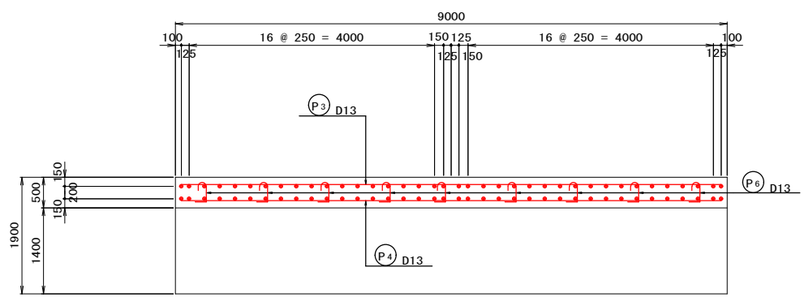
H － H



I － I



E － E

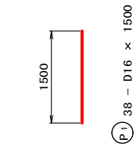


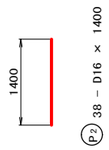
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工配筋図（1）		
作成年月			
縮　尺	1/50	図面番号	9 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

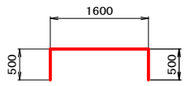
新設橋台工配筋図(2)

(仮設橋台部)

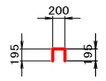
加工筋図　S=1/50



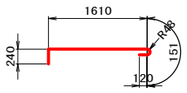




A1 38 － D16 × 2600

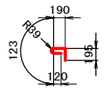


P5 38 － D13 × 590



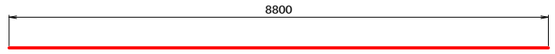
A3 38 － D16 × 2130

※ 半円形フックは前面側にかける。

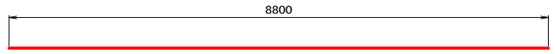


P6 9 － D13 × 630

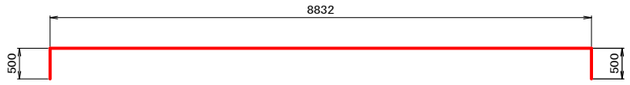
※ 半円形フックは背面側にかける。



P3 3 － D13 × 8800



P4 3 － D13 × 8800



A2 8 － D16 × 9840

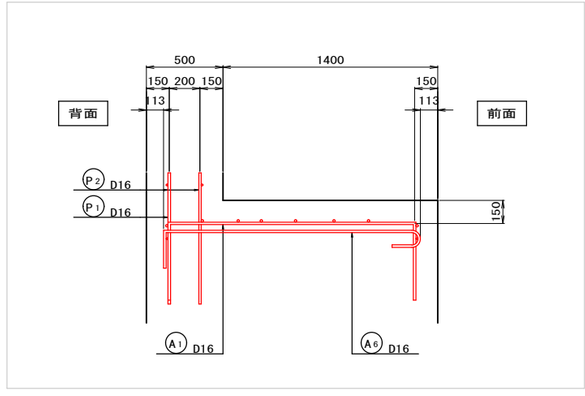


A4 2 － D13 × 9240

鉄 筋 表

記　号	径	1本長 (mm)	単位質量	1本当り質量	本　数	質　量 (kg)	摘 要
P 1	D16	1500	1. 56	2. 340	38	88. 92	
2	D16	1400	1. 56	2. 184	38	82. 99	
3	D13	8800	0. 995	8. 756	3	26. 27	
4	D13	8800	0. 995	8. 756	3	26. 27	
5	D13	590	0. 995	0. 587	38	22. 31	
6	D13	630	0. 995	0. 627	9	5. 64	
					小計	252. 40 kg	
A 1	D16	2600	1. 56	4. 056	38	154. 13	
2	D16	9840	1. 56	15. 350	8	122. 80	
3	D16	2130	1. 56	3. 323	38	126. 27	
4	D13	9240	0. 995	9. 194	2	18. 39	
					小計	421. 59 kg	
		SD － 345			D16	575. 11 kg	
					D13	98. 88 kg	
					合計	673. 99 kg	

かぶり詳細図　S=1/20



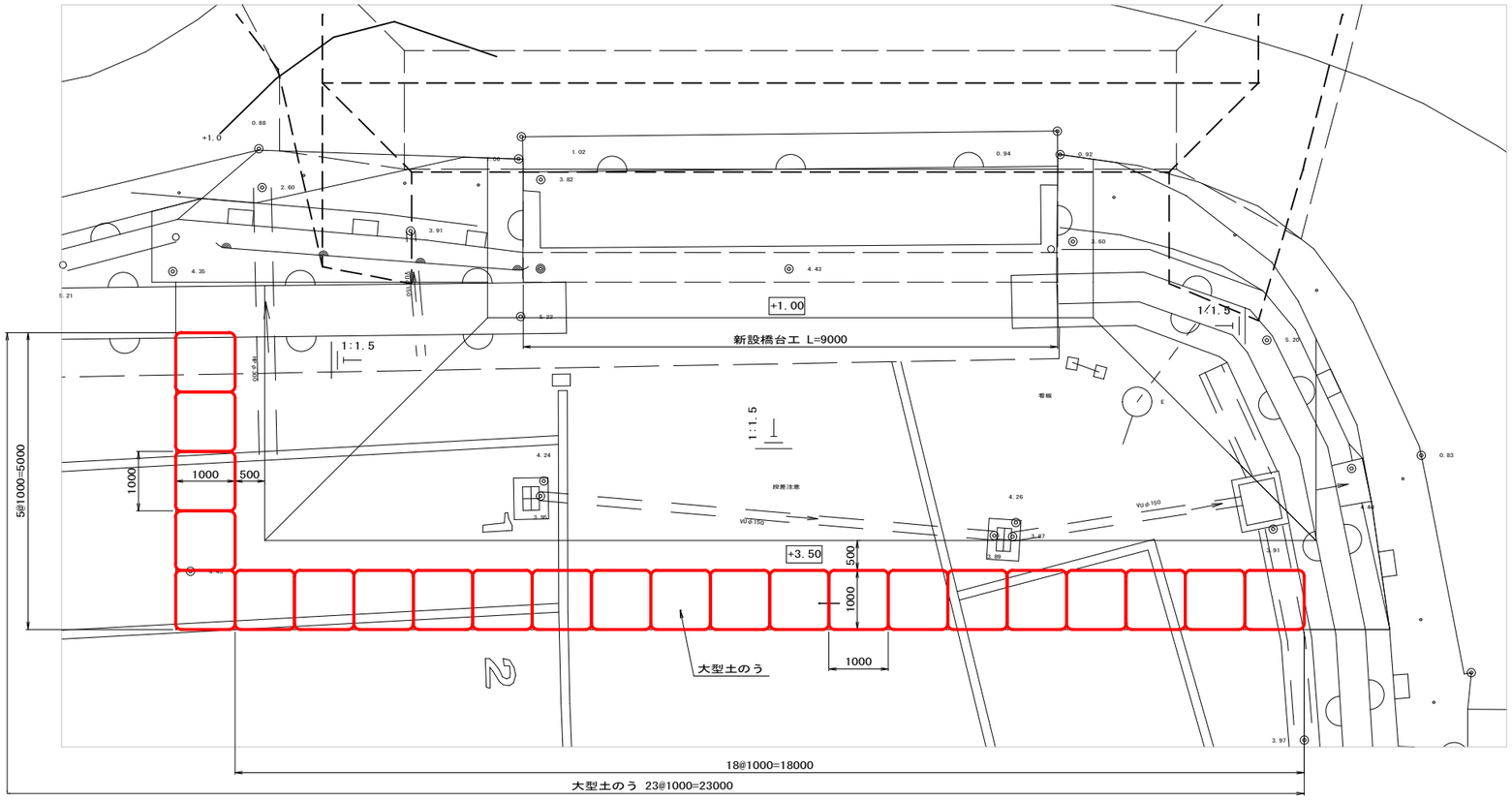
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工配筋図(2)		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	10 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

大型土のう配置図

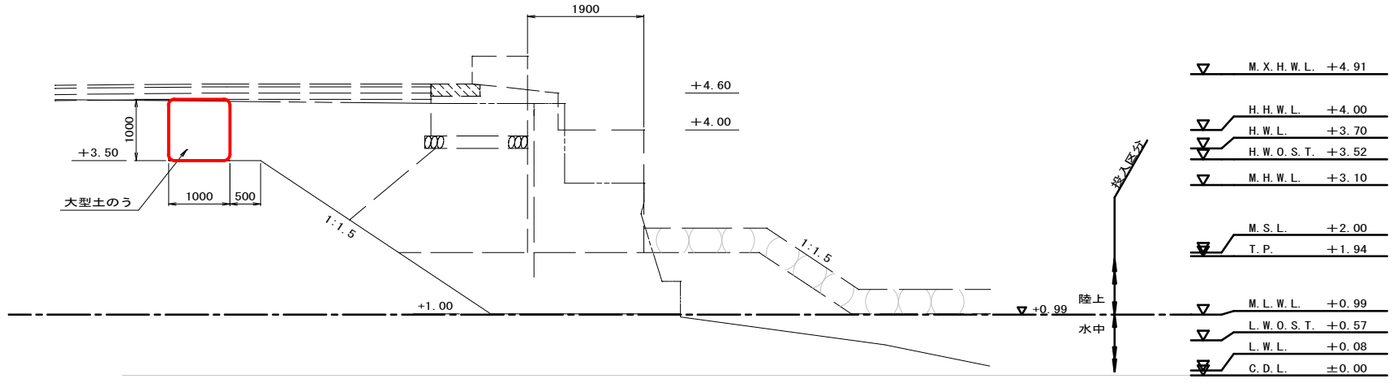
S=1/50

（新設橋台部）

平 面 図



断 面 図



大型土のう 数量表

（1ヶ所当り）

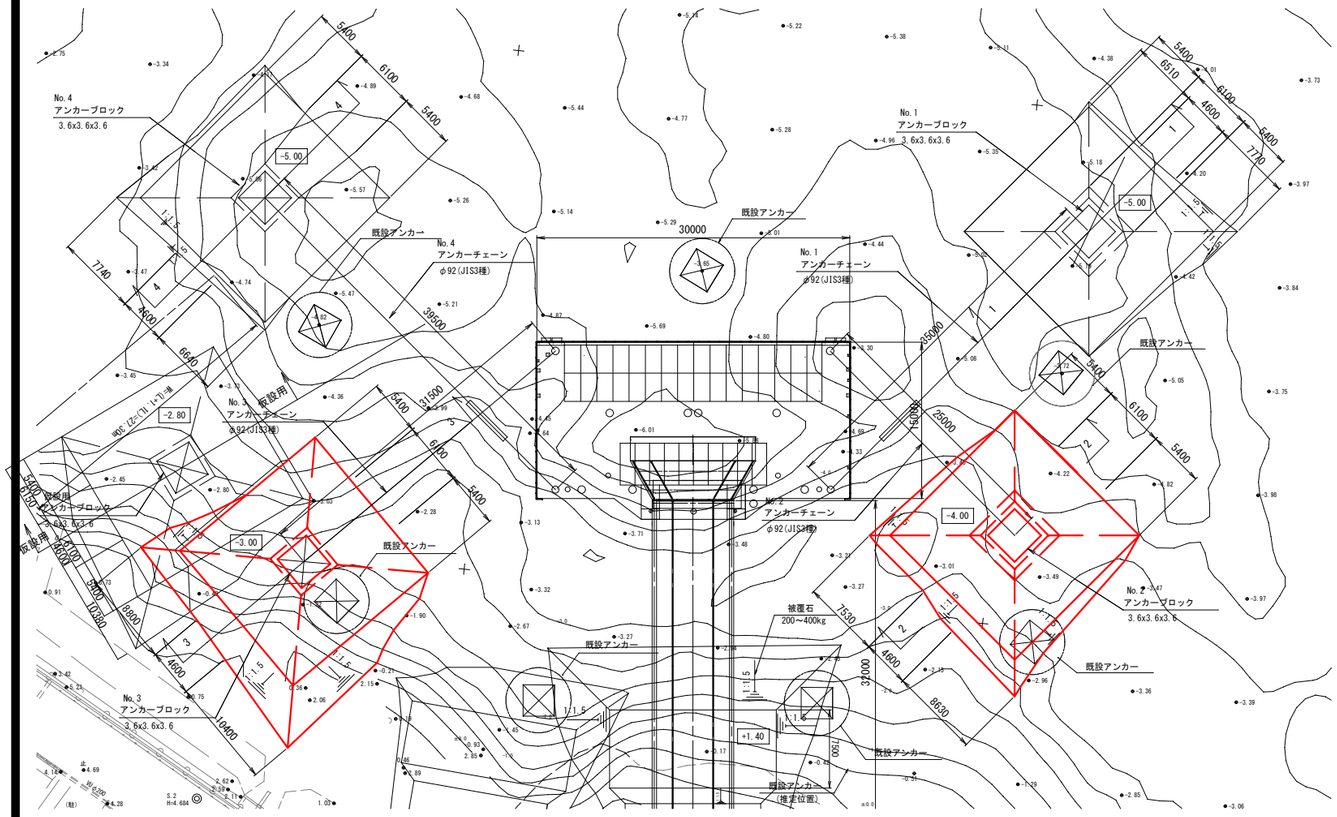
種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
大型土のう		B1.0m×W1.0m×H1.0m		個	23

工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	大型土のう配置図		
作成年月			
縮 尺	1/50	図面番号	11 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

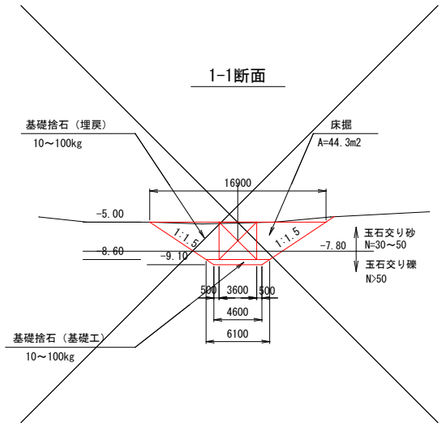
アンカーブロック基礎詳細図

S=1/300

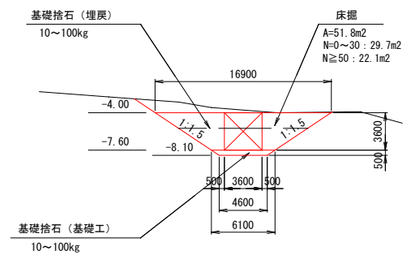
平面図

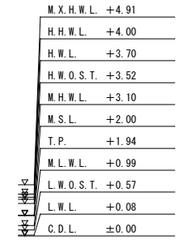


1-1断面

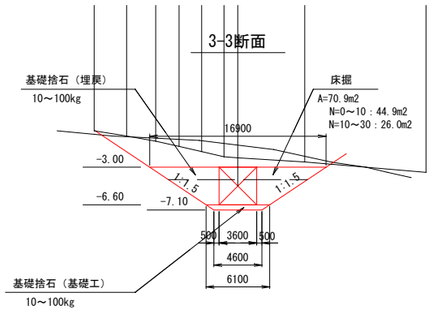


2-2断面

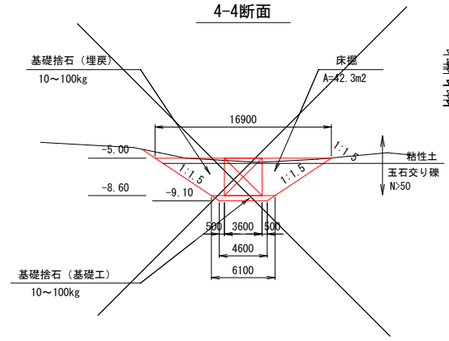


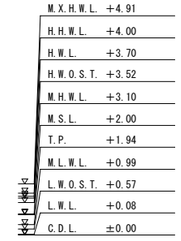


3-3断面

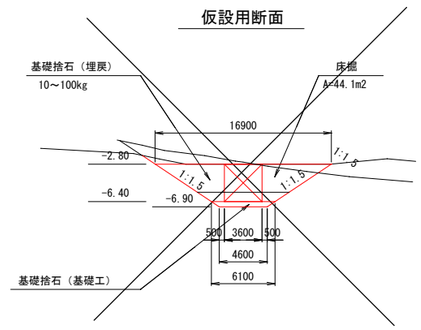


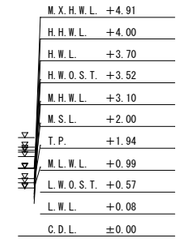
4-4断面





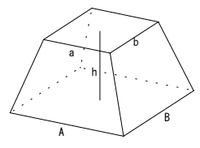
仮設用断面





※ 基礎捨石の数量は、オベリスクの式により算出。

V = h/6×{Ab+aB+2(ab+AB)}



アンカーブロックNo.1 数量表

(1ヶ所当り)

種別	細別	規格	計算式		単位	数量
床掘			44.3×1/2×(6.51+7.77)+44.3×4.60		m3	520.1
基礎捨石	水中	10～100kg	基礎工 0.50/6×{4.60×6.10×2+2×(4.60^2+6.10^2)}	= 14.4		
			埋戻し 3.60/6×{6.10×16.90×2+2×(6.10^2+16.90^2)}-3.60	= 464.4		
			合計 14.4+464.4		m3	478.8
本均し	水中	±5cm	4.60×4.60		m2	21.2

アンカーブロックNo.2 数量表

(1ヶ所当り)

種別	細別	規格	計算式		単位	数量
床掘			51.8×1/2×(7.53+8.63)+51.8×4.60		m3	656.8
基礎捨石	水中	10～100kg	基礎工 0.50/6×{4.60×6.10×2+2×(4.60^2+6.10^2)}	= 14.4		
			埋戻し 3.60/6×{6.10×16.90×2+2×(6.10^2+16.90^2)}-3.60	= 464.4		
			合計 14.4+464.4		m3	478.8
本均し	水中	±5cm	4.60×4.60		m2	21.2

アンカーブロックNo.3 数量表

(1ヶ所当り)

種別	細別	規格	計算式		単位	数量
床掘			70.9×1/2×(8.80+10.40)+70.9×4.60		m3	1006.8
基礎捨石	水中	10～100kg	基礎工 0.50/6×{4.60×6.10×2+2×(4.60^2+6.10^2)}	= 14.4		
			埋戻し 3.60/6×{6.10×16.90×2+2×(6.10^2+16.90^2)}-3.60	= 464.4		
			合計 14.4+464.4		m3	478.8
本均し	水中	±5cm	4.60×4.60		m2	21.2

アンカーブロックNo.4 数量表

(1ヶ所当り)

種別	細別	規格	計算式		単位	数量
床掘			42.3×1/2×(7.74+6.64)+42.3×4.60		m3	498.7
基礎捨石	水中	10～100kg	基礎工 0.50/6×{4.60×6.10×2+2×(4.60^2+6.10^2)}	= 14.4		
			埋戻し 3.60/6×{6.10×16.90×2+2×(6.10^2+16.90^2)}-3.60	= 464.4		
			合計 14.4+464.4		m3	478.8
本均し	水中	±5cm	4.60×4.60		m2	21.2

アンカーブロック仮設用 数量表

(1ヶ所当り)

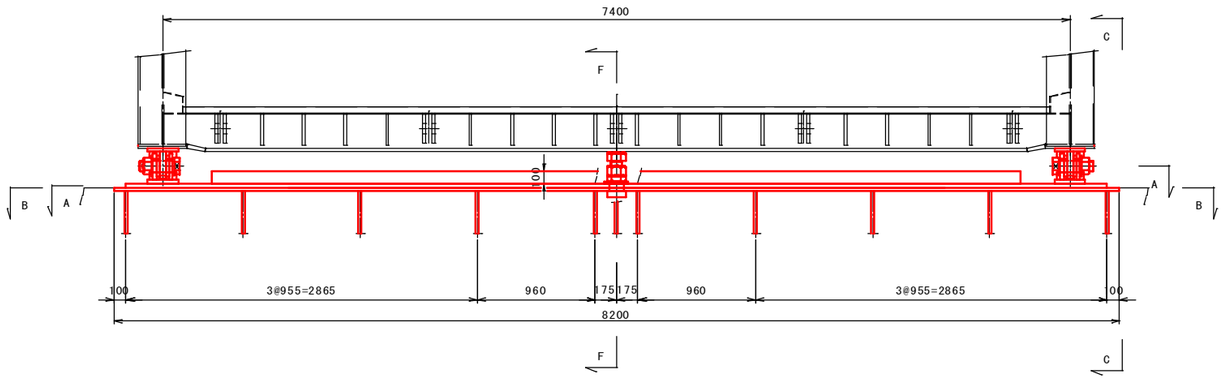
種別	細別	規格	計算式		単位	数量
床掘			44.1×1/2×(8.20+6.64)+44.1×4.60		m3	530.1
基礎捨石	水中	10～100kg	基礎工 0.50/6×{4.60×6.10×2+2×(4.60^2+6.10^2)}	= 14.4		
			埋戻し 3.60/6×{6.10×16.90×2+2×(6.10^2+16.90^2)}-3.60	= 464.4		
			合計 14.4+464.4		m3	478.8
本均し	水中	±5cm	4.60×4.60		m2	21.2

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	アンカーブロック基礎詳細図		
作成年月			
縮　尺	1/300	図面番号	12 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

連絡橋ヒンジ支承部詳細図(1)

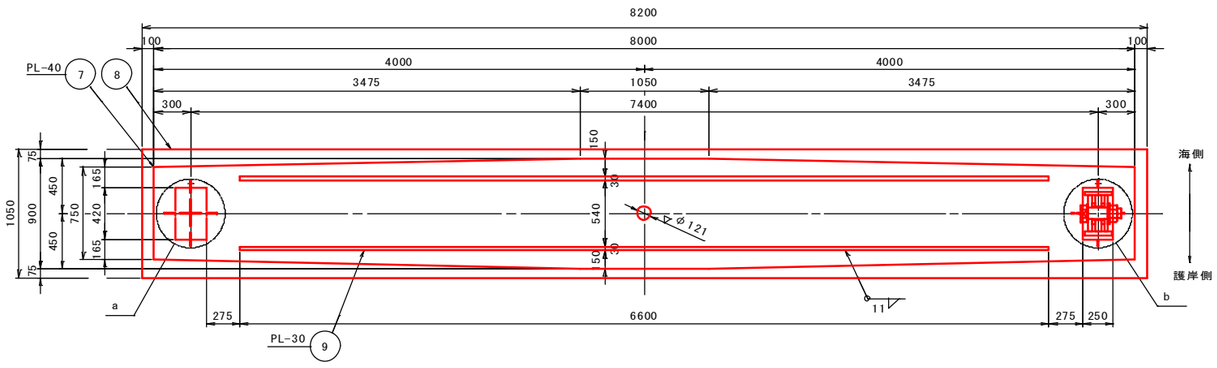
（仮設橋台部・新設橋台部）

正面図 S=1/25

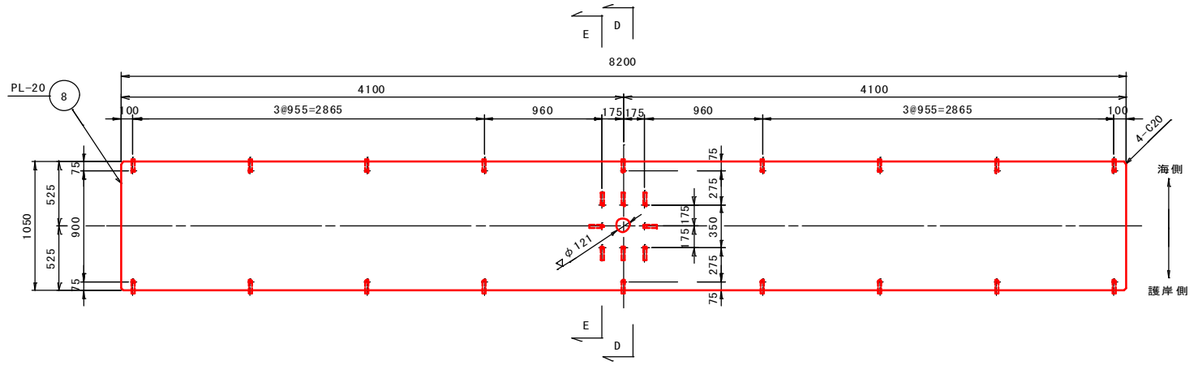


※ 護岸側より見る

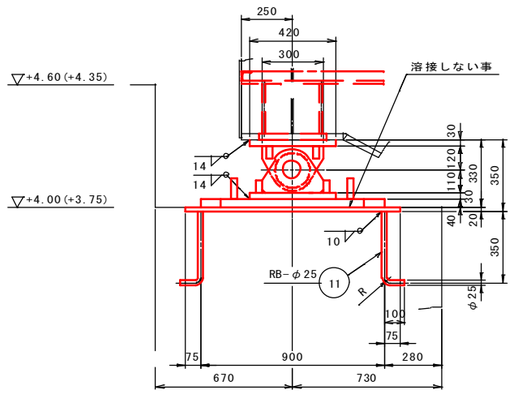
A － A 断面 S=1/25



B － B 断面 S=1/25

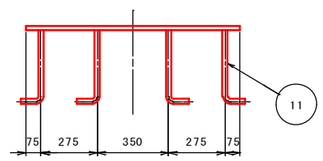


C － C 断面 S=1/15

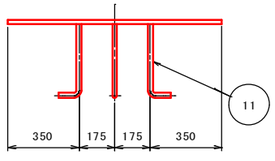


※( )内の数値は仮設橋台部の高さを表す

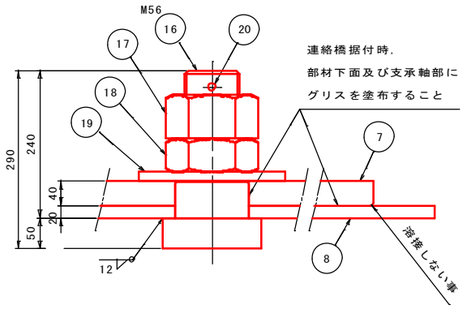
D － D 断面 S=1/15



E － E 断面 S=1/15



F － F 断面 S=1/5

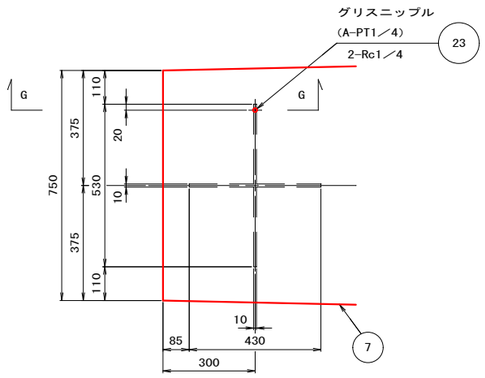


工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	連絡橋ヒンジ支承部詳細図(1)		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	13 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

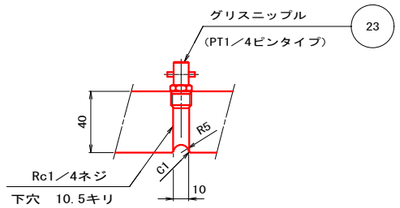
連絡橋ヒンジ支承部詳細図(2)

（仮設橋台部・新設橋台部）

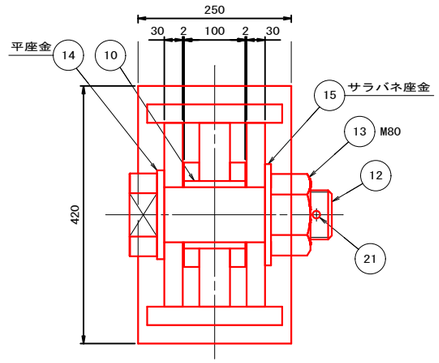
a 部詳細 S=1/10



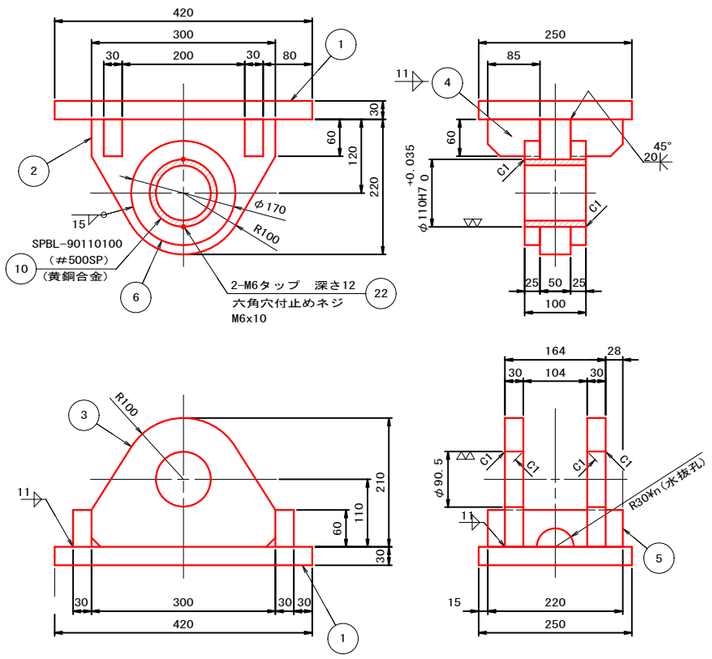
G － G 断面 S=1/2



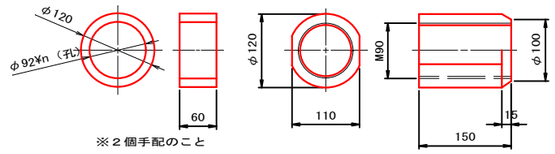
b 部詳細 S=1/5



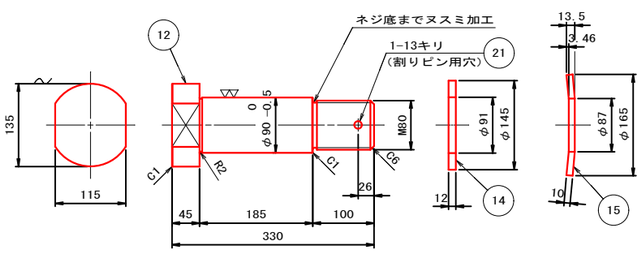
ヒンジ詳細 S=1/5



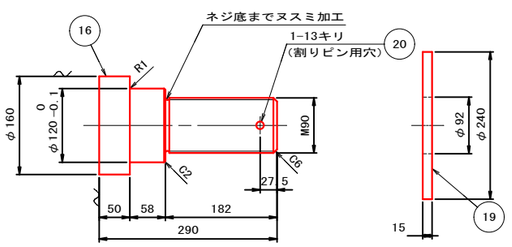
センターキャップ詳細 S=1/5



軸ボルト及び座金詳細 ▽（▽▽▽、⁀） S=1/5



センターピン及び座金詳細 ▽（⁀） S=1/5



ヒンジ支承部 材料表

（数量は１組分を示す 製作数１組）

符号	材型	規 格	寸 法	長 さ	数量
1	PL	SUS304	30x250	420	4
2	PL	SUS304	50x220	300	2
3	PL	SUS304	30x210	300	4
4	PL	SUS304	30x60	85	8
5	PL	SUS304	30x60	220	4
6	PL	SUS304	25x170	170	4
7	PL	SUS304	40x900	8000	1
8	PL	SUS304	20x1050	8200	1
9	PL	SUS304	30x100	6600	2
10		黄銅合金	SPBL-90110100		2
11	RB	SUS304	φ25	450	26
12	RB	SUS304	φ135（M80）	330	2
13	N	SUS304	M80（1種）		2
14	PL	SUS304	12x145	145	2
15	PL	SUS304	10x165	165	2
16	RB	SUS304	φ160（M90）	290	1
17	N	SUS304	M90（1種）		1
18	N	SUS304	M90（3種）		1
19	PL	SUS304	15x240	240	1
20	PIN	SUS304	呼び13x125L		1
21	PIN	SUS304	呼び13x125L		2
22		SUS304	M6x10		4
23		黄銅合金	PT1/4形 ピンタイプ		2

※ 図中，特記なきコーナーカットは，全てＣ１５とする。

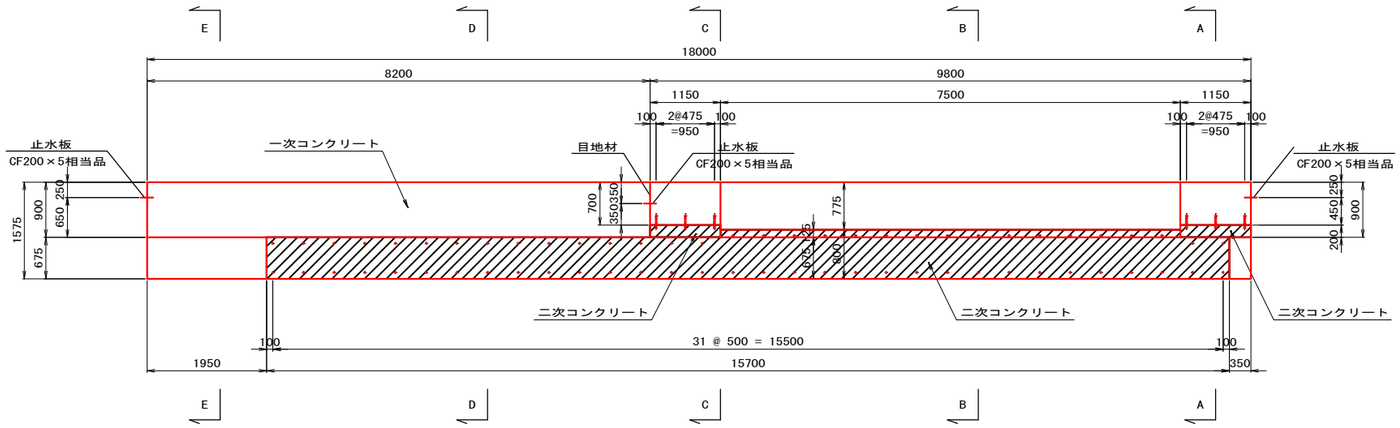
※ センターキャップは，連絡橋設置までのセンターピン保護の仮設材なので状況に応じ適宜手配のこと。（相当品でも可）

工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	連絡橋ヒンジ支承部詳細図(2)		
作成年月			
縮 尺	図示	図面番号	14 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

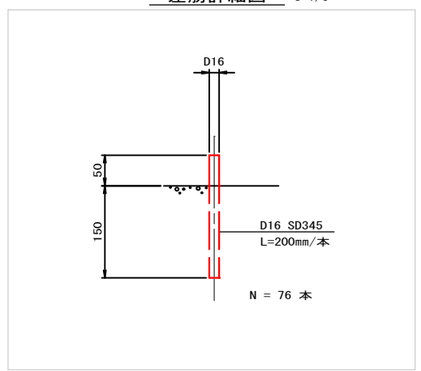
陸閘基礎一般図

（新設橋台部）

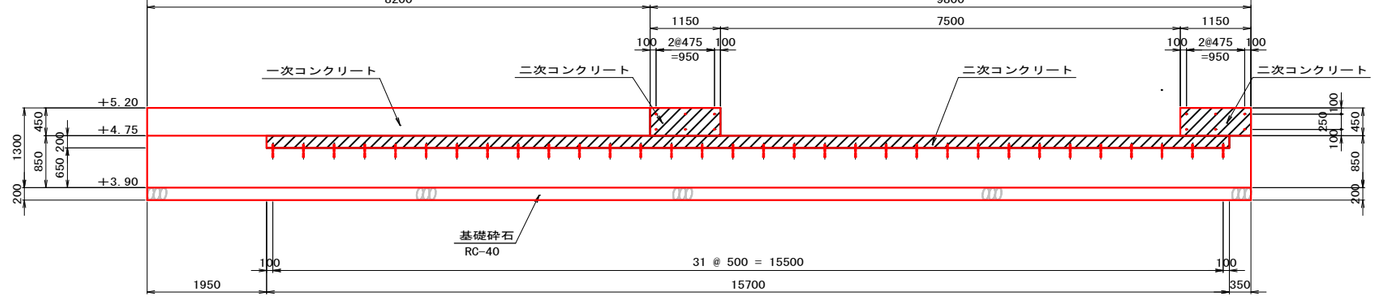
平 面 図　S=1/50



差筋詳細図　S=1/5



正 面 図　S=1/50



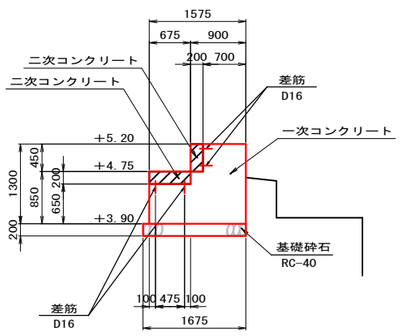
陸閘基礎工（新設橋台部） 数量表

（1ヶ所当り）

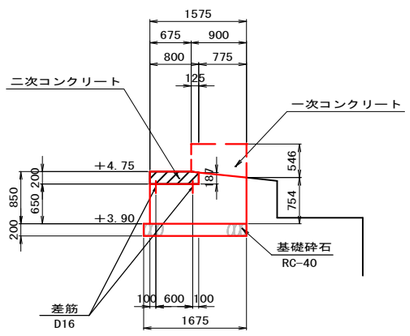
種別	細別	規格	計算式			単位	数量
一次コンクリート	陸上	σck=24N/mm2	(8.20+1.15×2)×1.575×0.85+1/2×(0.754+0.85)×0.90×7.50+0.85×0.675×7.50				
			−15.70×0.675×0.20−1/2×(0.187+0.20)×0.125×7.50	=	21.473	基礎部	
			8.20×0.90×0.45+1.15×0.70×0.45×2	=	4.046	胸壁部	
			21.473+4.046			合計	m3	25.519
二次コンクリート	陸上	σck=24N/mm2	15.70×0.675×0.20+1/2×(0.187+0.20)×0.125×7.50	=	2.301	基礎部	
			1.15×0.45×0.20×2	=	0.207	胸壁部	
			2.301+0.207			合計	m3	2.508
一次型枠			(18.00+1.575)×0.85×2−0.754×9.00−0.20×7.50+0.187×7.50				
			+0.675×2×0.20	=	26.664	基礎部	
			0.45×(18.00−7.50+0.90)×2+0.45×0.70				
			+1/2×(0.471+0.546)×0.70×2	=	11.287	胸壁部	
			26.664+11.287			合計	m2	37.951
二次型枠			15.70×0.20	=	3.140	基礎部	
			(1.15×2+0.20×3)×0.45	=	1.305	胸壁部	
			3.140+1.305			合計	m2	4.445
目地材	ｴﾗｽﾀｲﾄ相当品	t=10mm	0.70×0.45				m2	0.315
基礎砕石	t=20cm	RC-40	18.00×1.675				m2	30.150
鉄筋	D16	SD345					kg	342.58
	D13	SD345					kg	462.24
差筋	D16	SD345	N=2×32+3×2×2=76本 W=0.20×1.56×76=23.71kg				kg	23.71
止水板		CF200×5相当品	1.2×3				m	3.600

断 面 図　S=1/50

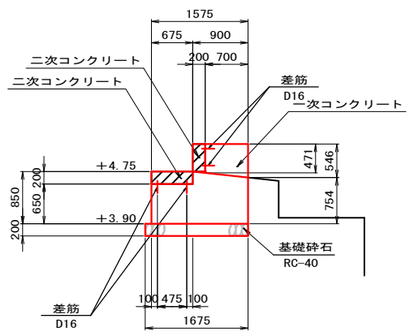
A − A



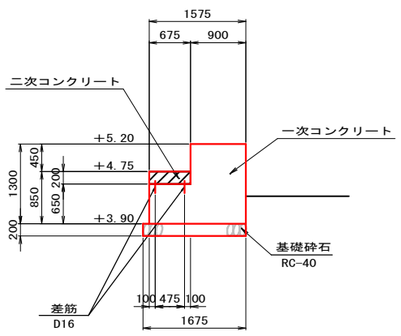
B − B



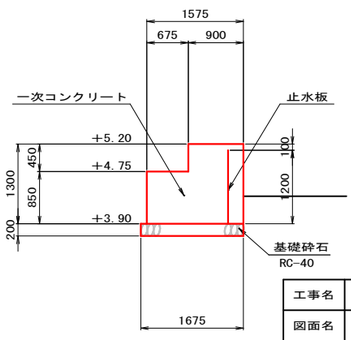
C − C



D − D



E − E



※　ハッチング部は二次コンクリートを示す。

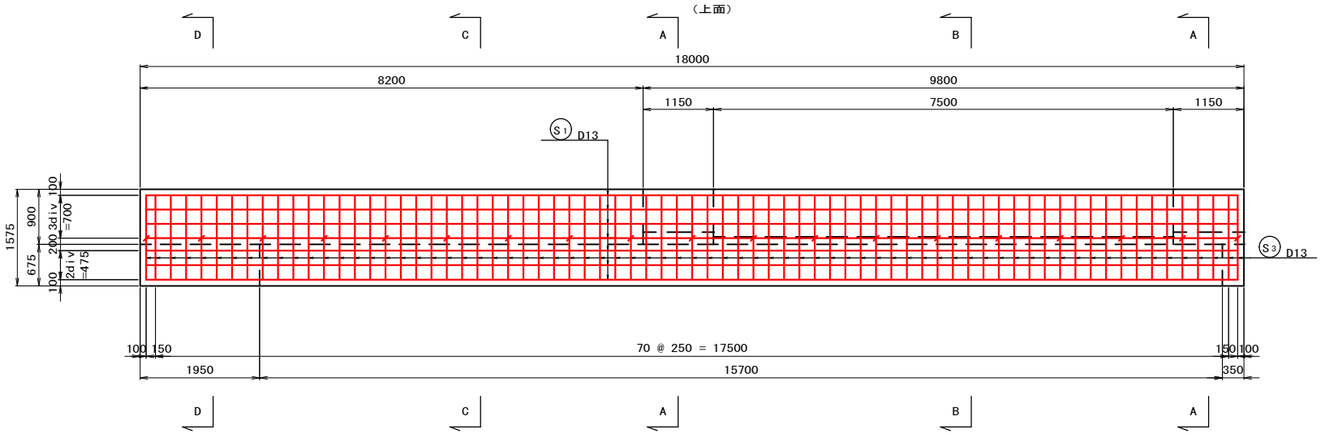
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事
図面名	陸閘基礎一般図
作成年月	
縮　尺	図示　図面番号　15 / 34
会社名	
事業者名	広島県東広島市

陸閘基礎配筋図（1）

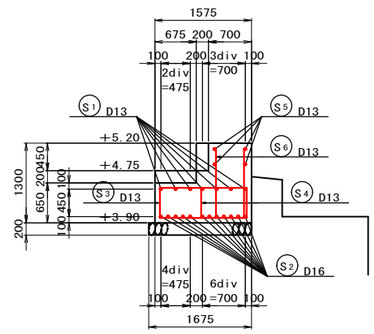
S=1/50

（新設橋台部）

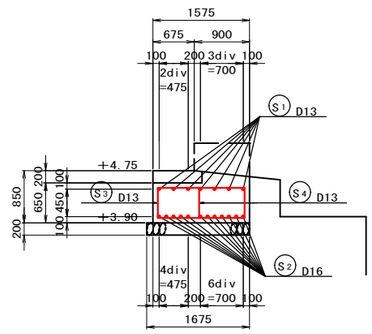
平 面 図
（上面）



A － A



B － B



平 面 図
（下面）

C － C

D － D

正 面 図

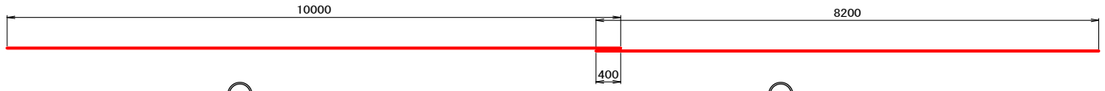
E － E

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	陸閘基礎配筋図（1）		
作成年月			
縮　尺	1/50	図面番号	16 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

陸閘基礎配筋図（2）

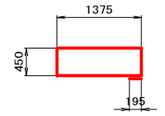
S=1/50

（新設橋台部）

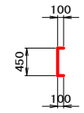


S1 -1　7 - D13 × 10000

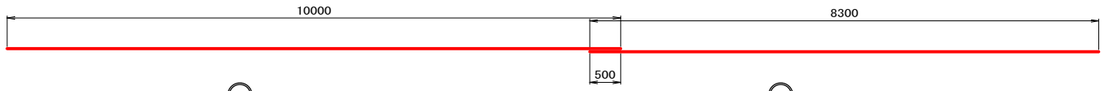
S1 -2　7 - D13 × 8200



S3　73 - D13 × 3850

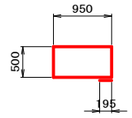


S4　19 - D13 × 650



S2 -1　12 - D16 × 10000

S2 -2　12 - D16 × 8300



S5　4 - D13 × 3100



S6　28 - D13 × 1120

鉄 筋 表

記　号	径	1本長（mm）	単位質量	1本当り質量	本　数	質　量（kg）	摘 要
S 1-1	D13	10000	0. 995	9. 950	7	69. 65	
1-2	D13	8200	0. 995	8. 159	7	57. 11	
2-1	D16	10000	1. 56	15. 600	12	187. 20	
2-2	D16	8300	1. 56	12. 948	12	155. 38	
3	D13	3850	0. 995	3. 831	73	279. 66	
4	D13	650	0. 995	0. 647	19	12. 29	
5	D13	3100	0. 995	3. 085	4	12. 34	
6	D13	1120	0. 995	1. 114	28	31. 19	
		SD - 345		D16		342. 58 kg	
				D13		462. 24 kg	
				合計		804. 82 kg	

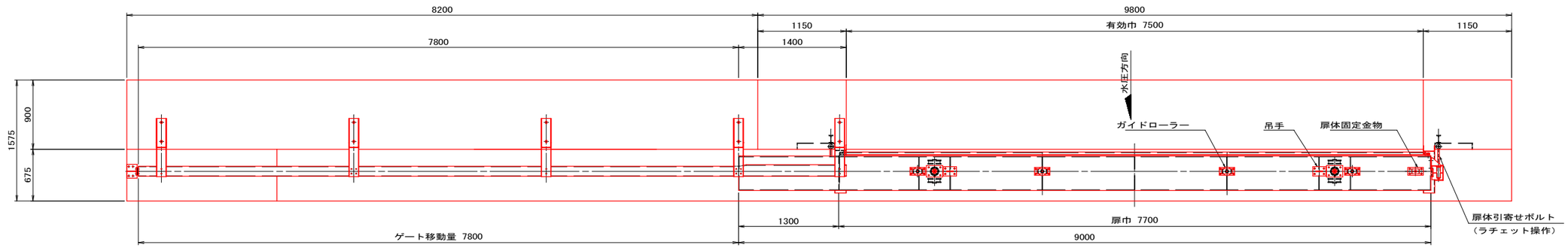
注）　◎は交互配筋を表示

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	陸閘基礎配筋図（2）		
作成年月			
縮　尺	1/50	図面番号	17 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

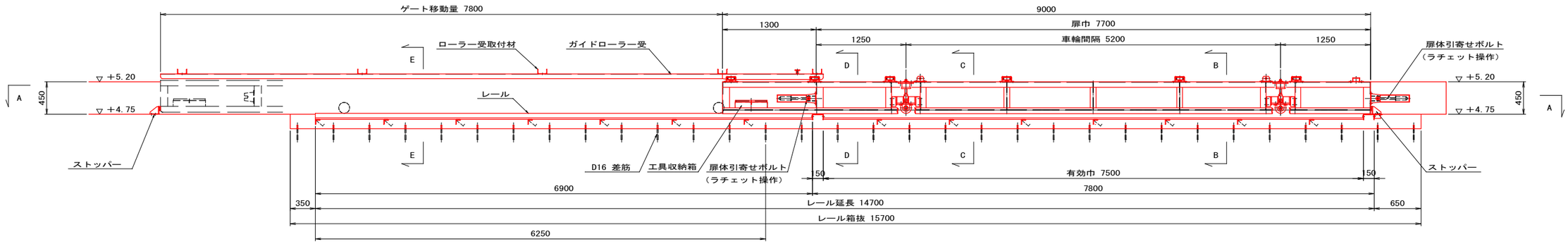
陸閘一般図（耐食アルミ合金製　引扉）（1）

（参考図）

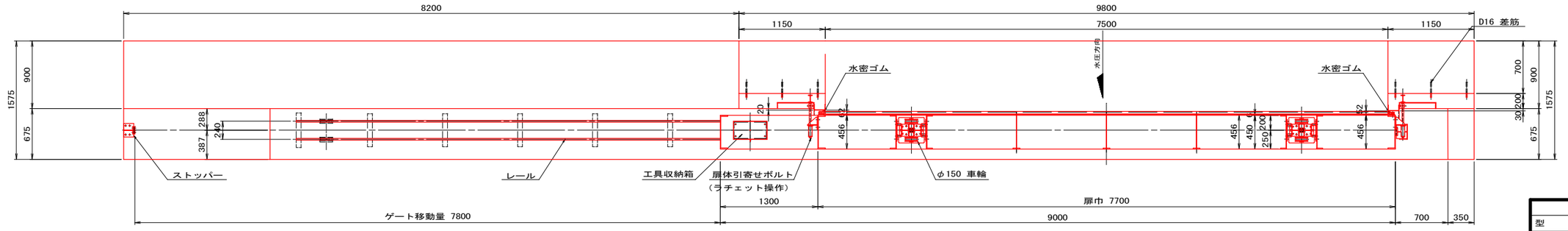
平面図　S=1/30



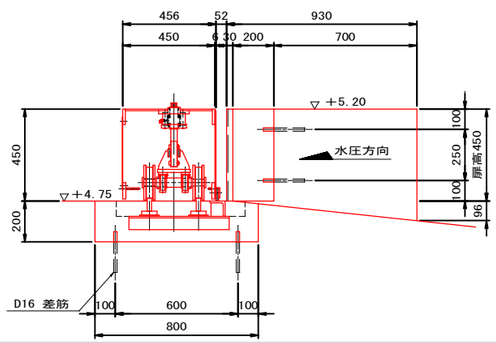
正面図　S=1/30



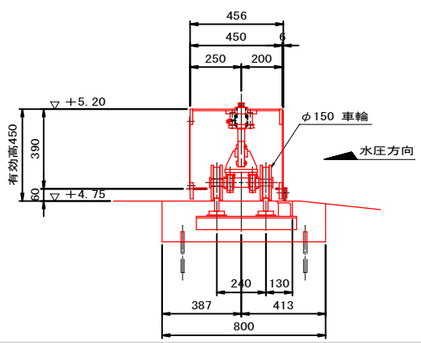
A － A　S=1/30



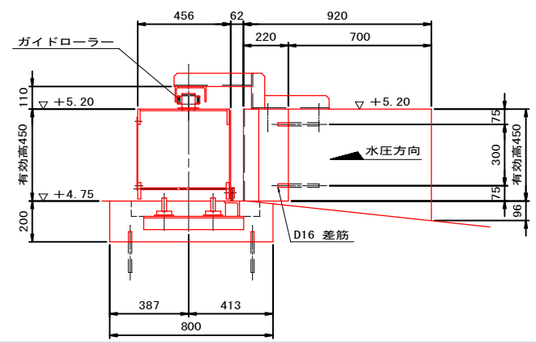
B － B　S=1/15



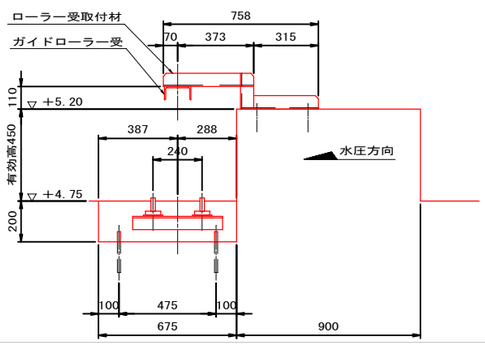
C － C　S=1/15



D － D　S=1/15



E － E　S=1/15



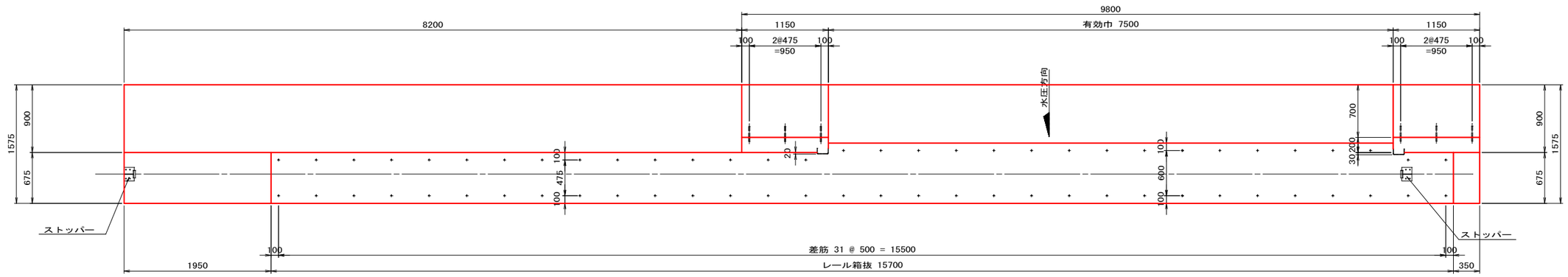
設　計　仕　様	
型　　式	耐食アルミ合金製　引扉
有　効　幅	7．500　M
有　効　高	0．450　M
設 計 荷 重	静水圧　＋　波圧荷重
水 密 方 式	三方ゴム水密
許 容 撓 度	1/600　以下
主 要 材 質	A5083
適 用 基 準	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製水門設計製作指針案

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	陸閘一般図（耐食ｱﾙﾐ合金製　引扉）（1）　参考図		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	18 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

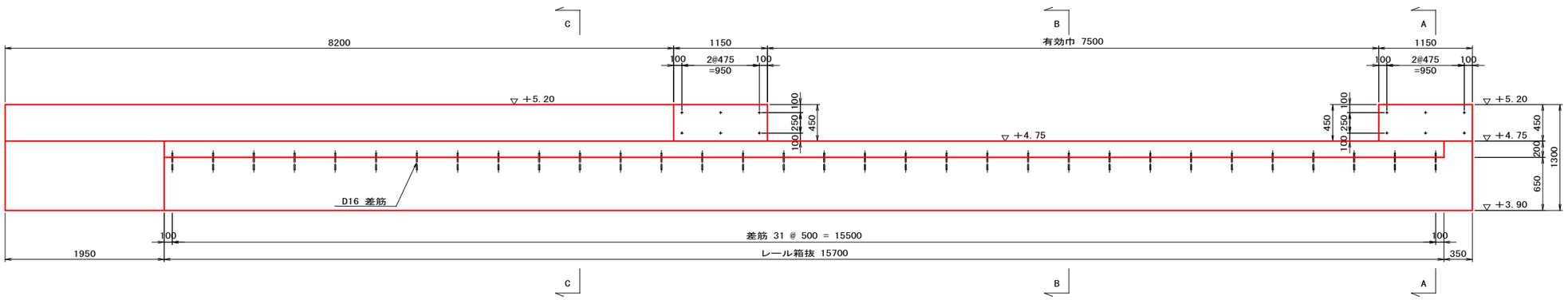
陸閘一般図（耐食アルミ合金製　引扉）(2)

（参考図）

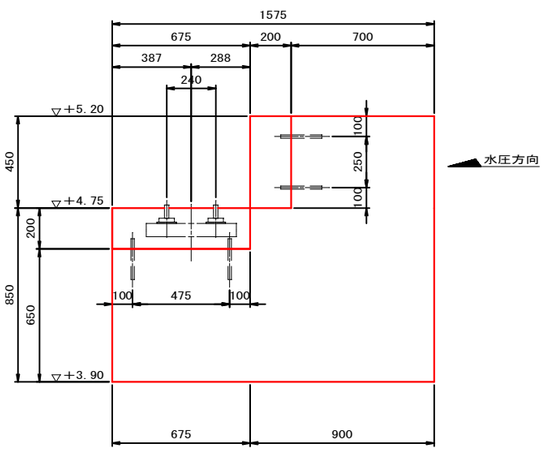
平面図 S=1/30



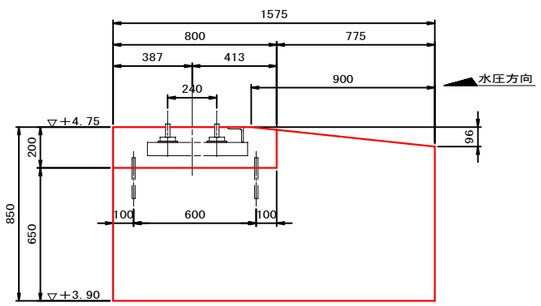
正面図 S=1/30



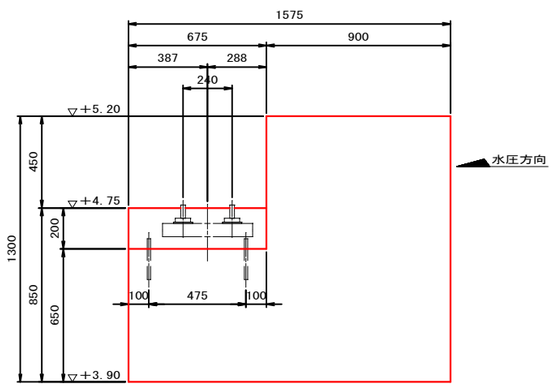
A － A S=1/15



B － B S=1/15



C － C S=1/15



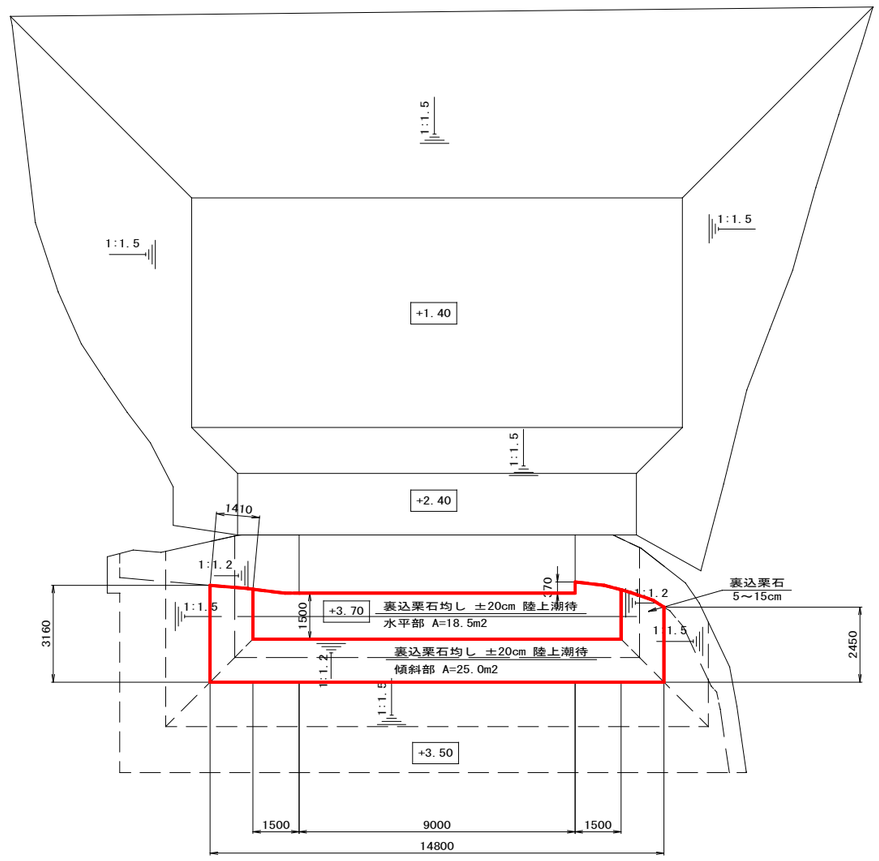
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	陸閘一般図（耐食ｱﾙﾐ合金製 引扉）(2) 参考図		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	19 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

新設橋台工裏込詳細図

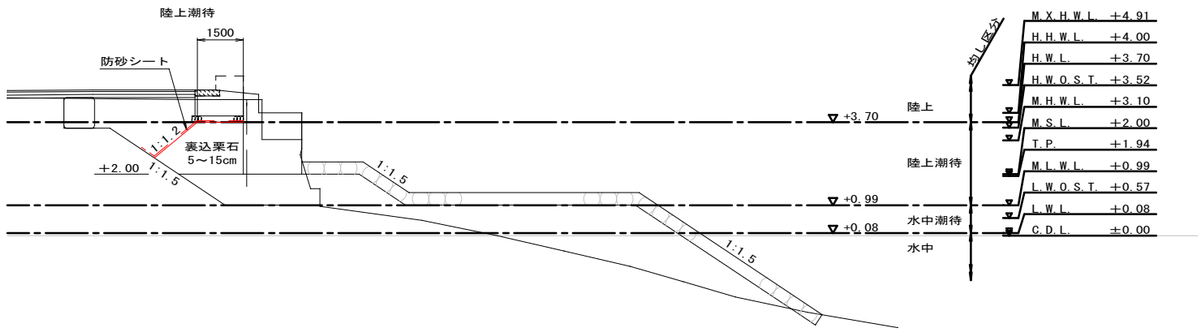
S=1/100

（新設橋台部）

平 面 図



数量区分図



裏込栗石均し 数量表

（1ヶ所当り）

種 別	細 別	規 格	計 算 式			単位	数 量
裏込栗石均し	陸上潮待	±20cm		=	18.5	水平部	m2	51.1
			25.0×1.302	=	32.6	傾斜部（1:1.2）		
			18.5+32.6			合計		

※ 1.302は勾配1:1.2の斜率

防砂シート 数量表

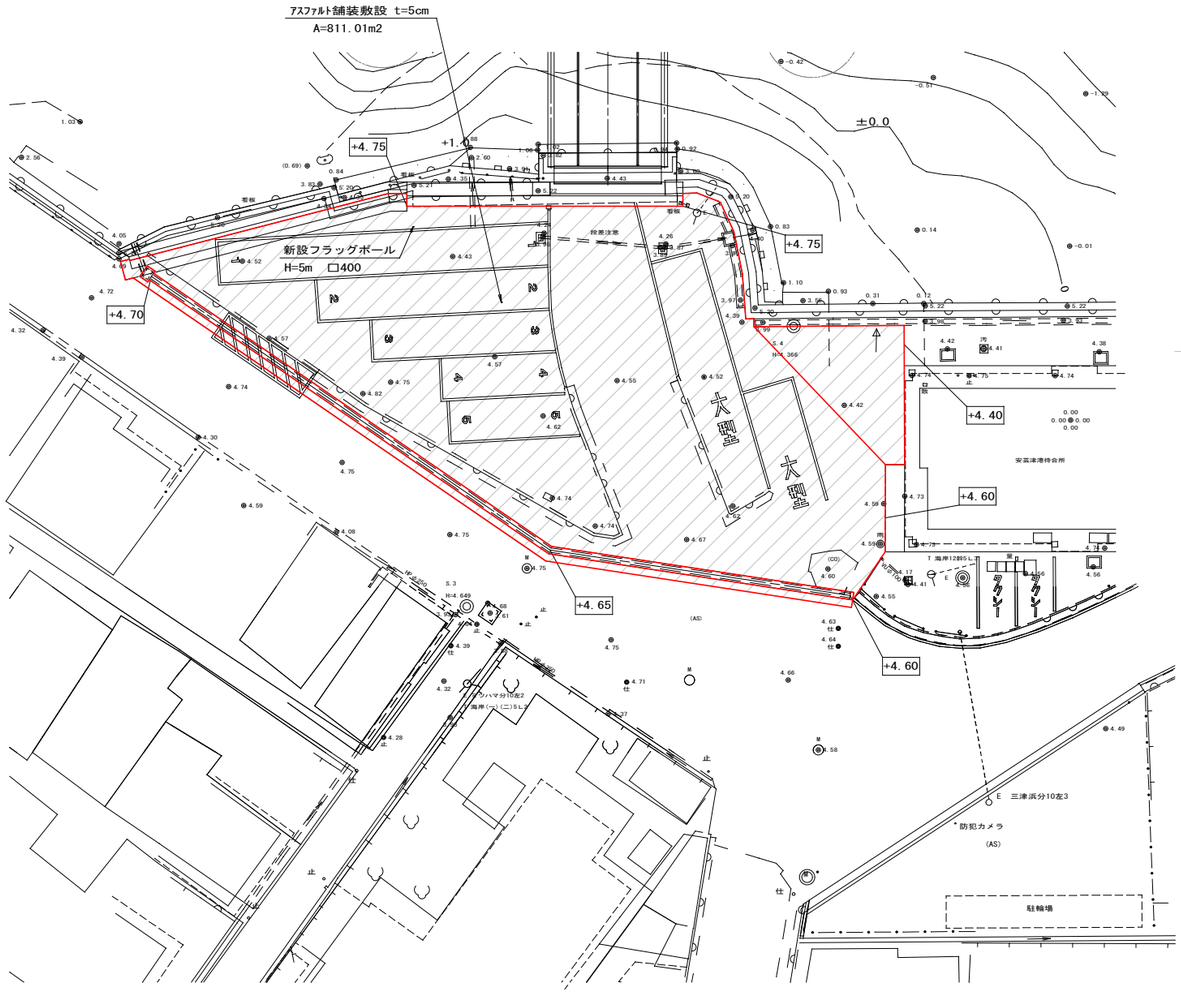
（1ヶ所当り）

種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
防砂シート			51.1+{3.16+14.80+2.45+1.53+0.37+9.00+1.51	m2	69.4
			+(1.52+1.41)×1.302}×0.50		

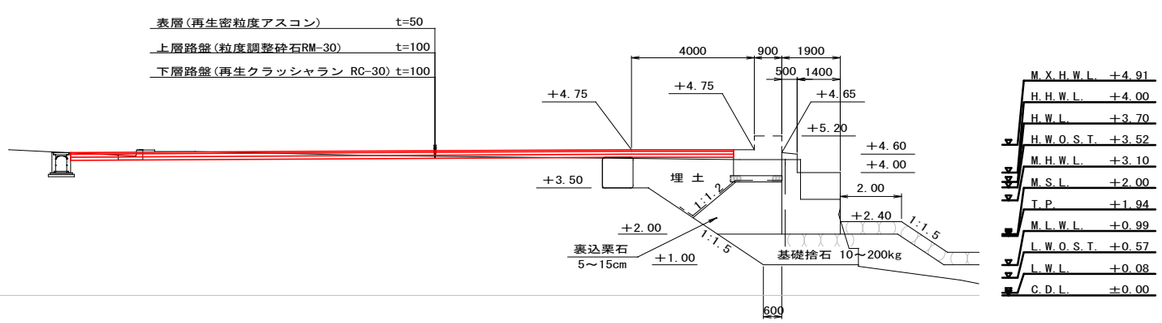
工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	新設橋台工裏込詳細図		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	20 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

舗装工詳細図

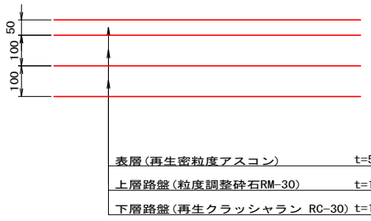
平 面 図　S=1/200



車道舗装側断面図　S=1/100



車道舗装　S=1/10



舗装工(新設橋台)数量表

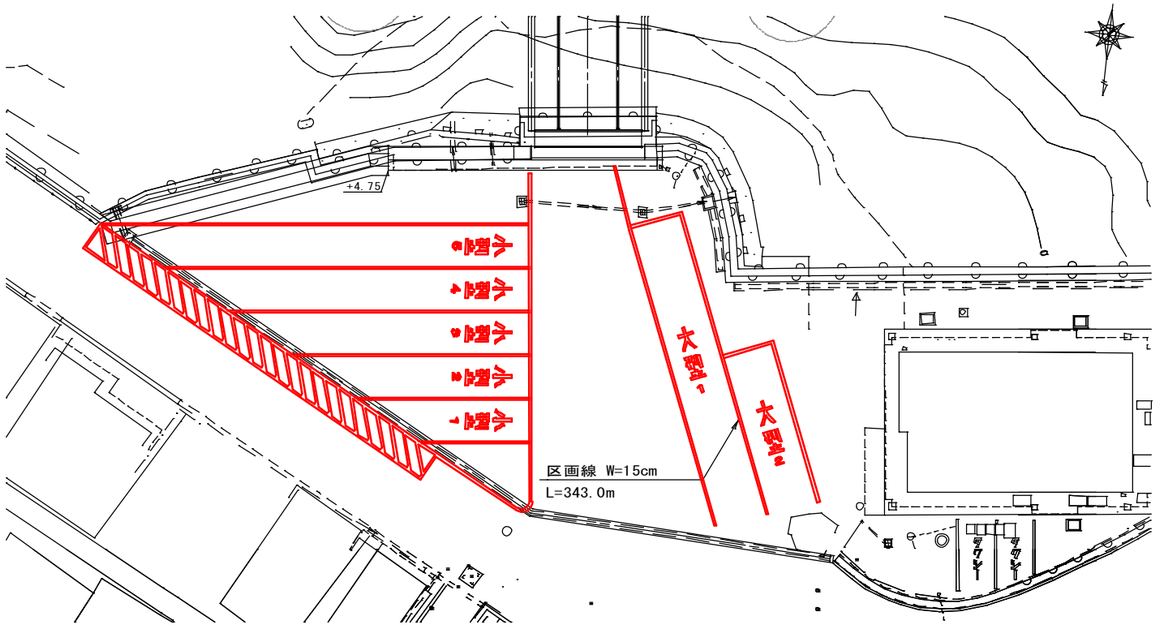
(1ヶ所当り)

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
アスファルト舗装	t=5cm			m2	811.01
	t=3cm			m2	–
上 層 路 盤	t=10cm	RM-30		m2	811.01
下 層 路 盤	t=10cm	RC-30		m2	811.01
路　盤	t=10cm	RC-30		m2	–

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	舗装工詳細図		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	21 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

区画線詳細図　S=1/200

完成時区画線



※完成時における「区画線消去」は、舗装改修時に一括で行うため発生しない。

完成時区画線　数量表

（1式当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
溶融式区画線(1)	実線15cm	白　色	307.0	m	307.0
溶融式区画線(2)	文字15cm換算	白　色	5.4/0.15	m	36.0

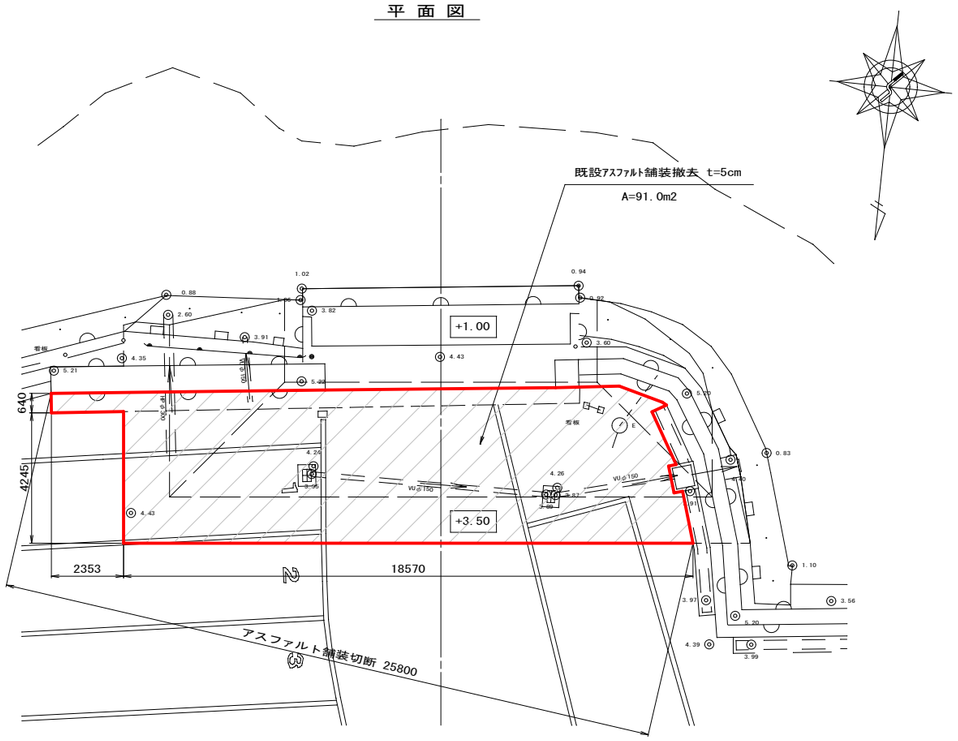
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事			
図面名	区画線詳細図			
作成年月				
縮　尺	S=1:200	図面番号	22 / 34	
会社名				
事業者名	広島県東広島市			

撤去工詳細図（1）

S=1/100

（新設橋台部）

平 面 図

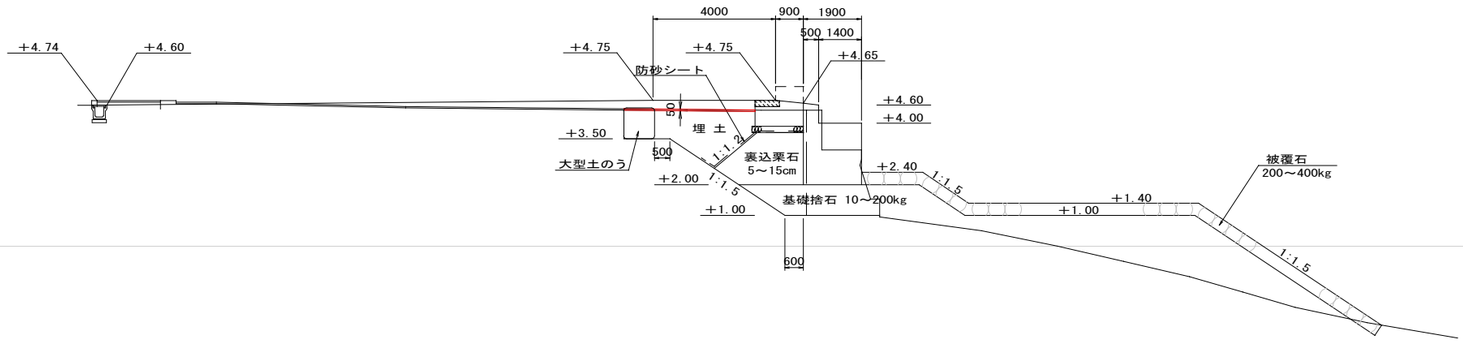


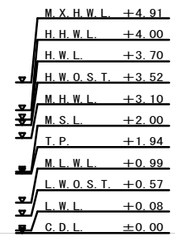
撤去工（新設橋台部） 数量表

（1ヶ所当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm			m	25.8
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	t=5cm		91.0×0.05	m3	4.6

断面図



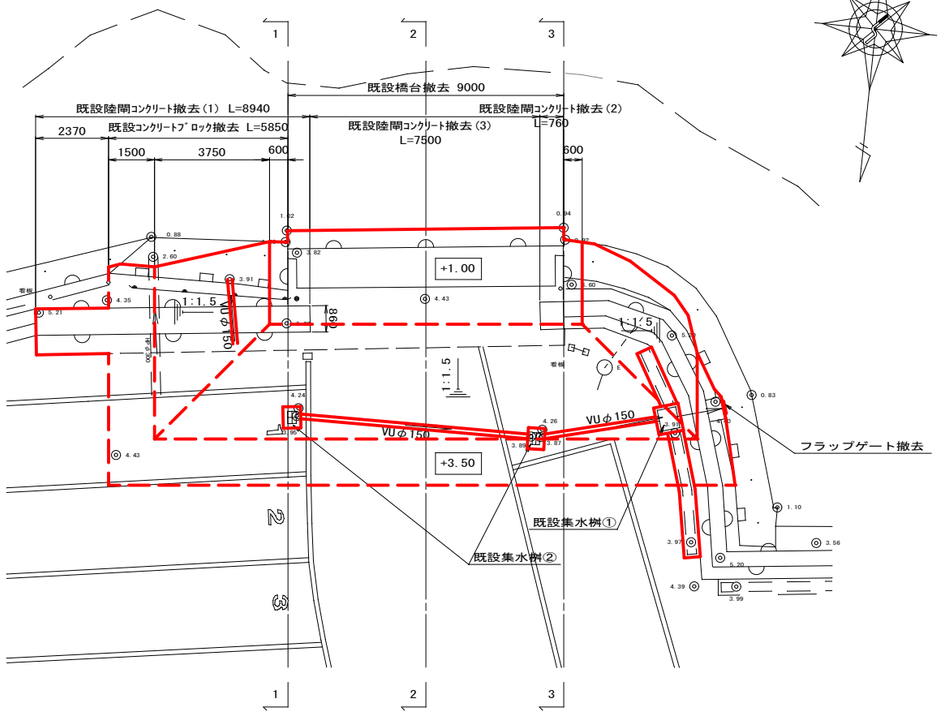


工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	撤去工詳細図（1）		
作成年月			
縮　尺	1/100	図面番号	23 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

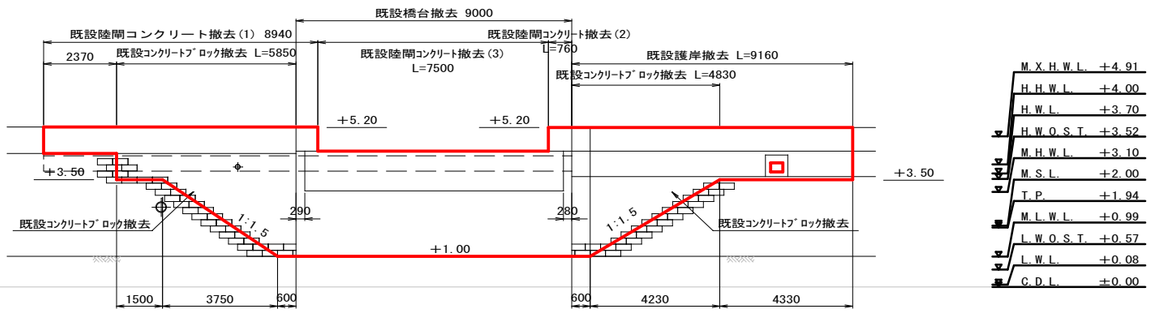
撤去工詳細図（2）

（新設橋台部）

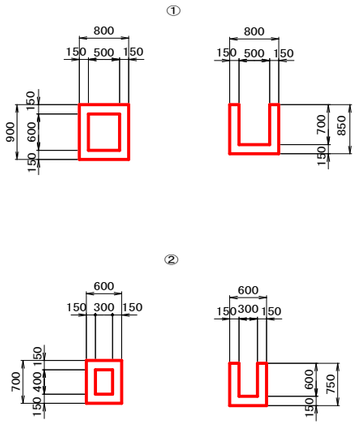
平 面 図 S=1/100



縦 断 図 S=1/100



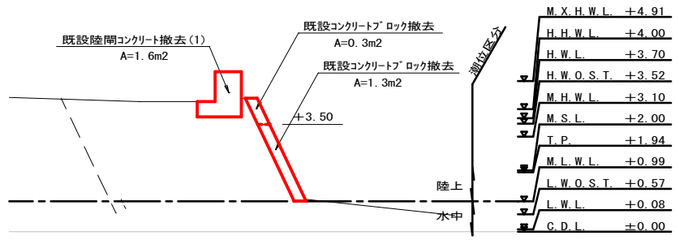
既設集水桝 S=1/50



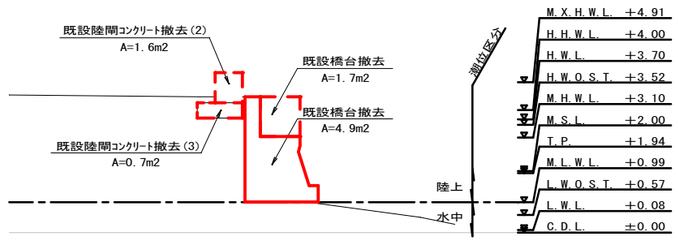
既設コンクリート側溝 S=1/50



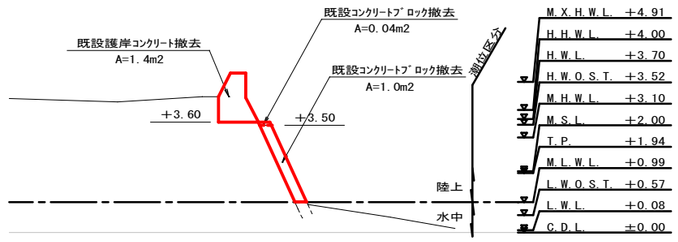
1–1断面 S=1/100



2–2断面 S=1/100



3–3断面 S=1/100



撤去工（新設橋台部） 数量表

（1ヶ所当り）

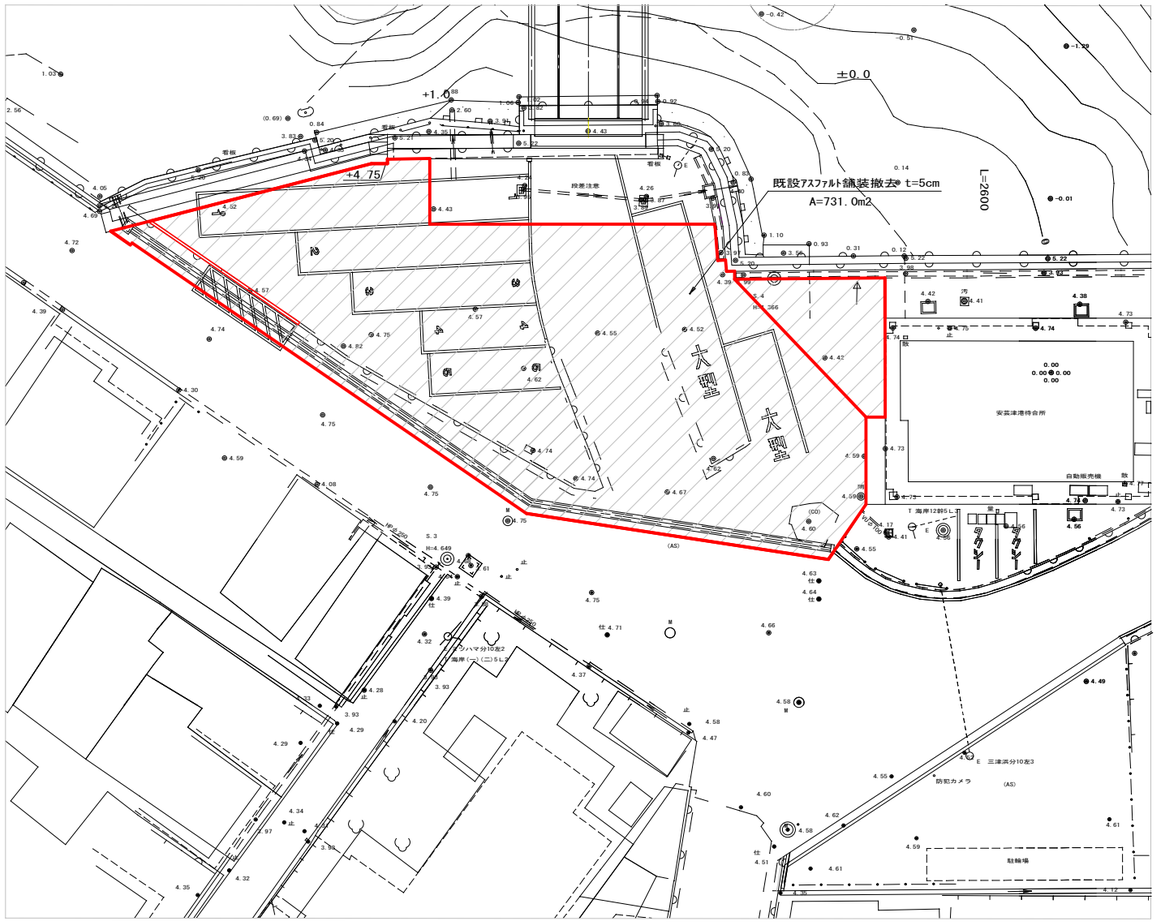
種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
既設橋台撤去	陸 上	鉄 筋	4.9×9.00+1.7×(0.29+0.28)	m3	45.1
既設護岸撤去	陸 上	無 筋	1.4×9.16	m3	12.8
既設ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去	陸 上	無 筋	1.3×0.60+1/2×(1.3+0.3)×3.75+0.3×1.50+1.0×0.60		
			+1/2×(1.0+0.04)×4.23+0.04×4.33	m3	7.2
既設陸閘ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	陸 上	鉄 筋	1.6×8.94+1.6×0.76+0.7×7.50	m3	20.8
既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄ撤去		350×350		個	1
既設集水桝撤去	陸 上	無 筋	0.80×0.90×0.85−0.50×0.60×0.70+(0.60×0.70×0.75−0.30×0.40×0.60)×2	m3	0.9
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝撤去	陸 上	無 筋	(1.96+4.14)×0.1	m3	0.6
既設塩化ビニル管撤去		Φ150	2.11+7.44+3.68	m	13.2

※ コンクリートブロックの厚さは想定値である。
※ 既設護岸の撤去範囲は現状不明のため、想定である。
※ 床掘の影響に合わせて、既設コンクリートブロックを階段形状に撤去すること。
※ 既設集水桝と既設ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝の規格は想定である。
※ 南側既設排水管VUφ150(L=2.11m)は、現在使用していないものと想定し復旧は行わないものとする。
但し、使用している場合は施工時に復旧すること。

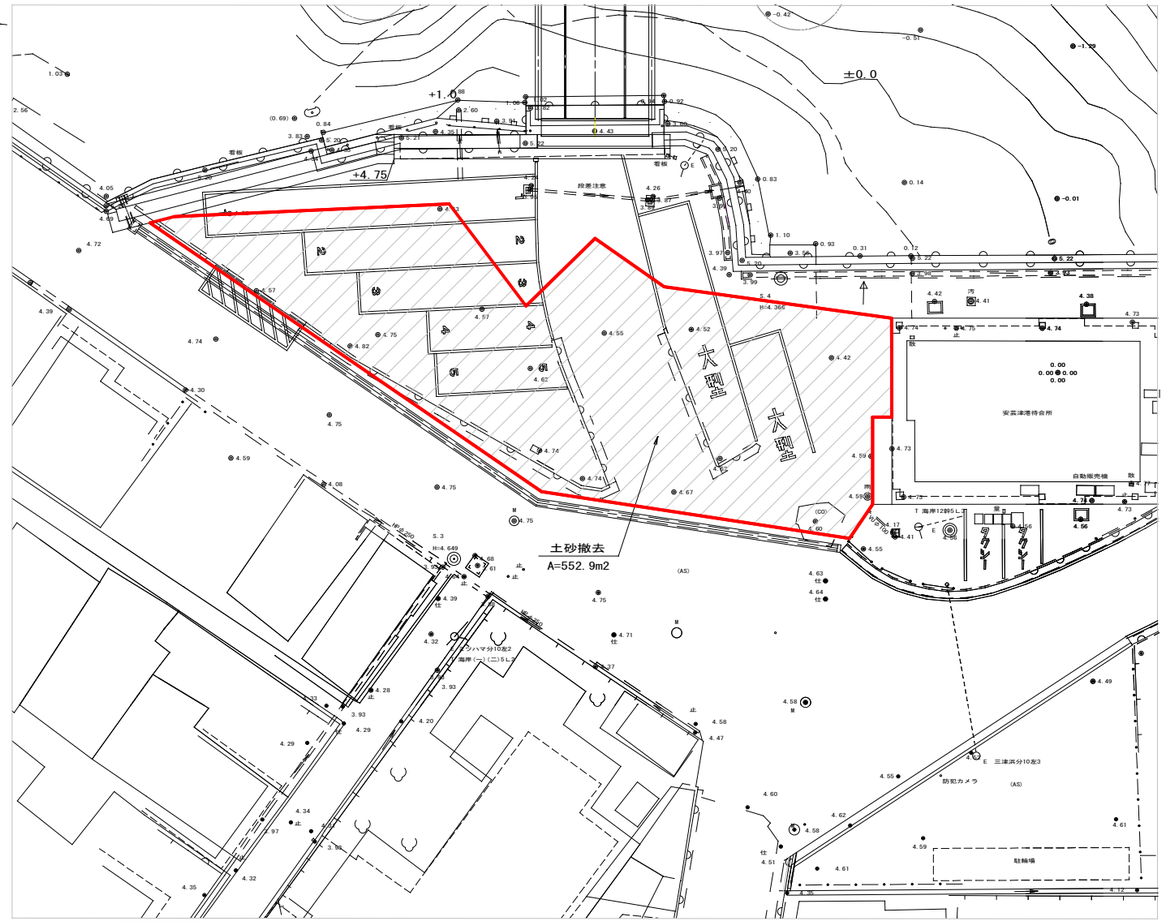
工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	撤去工詳細図（2）		
作成年月			
縮 尺	図示	図面番号	24 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

既設舗装撤去詳細図

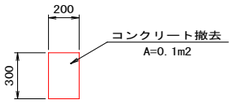
舗装撤去平面図　S=1/200



土砂撤去平面図　S=1/200

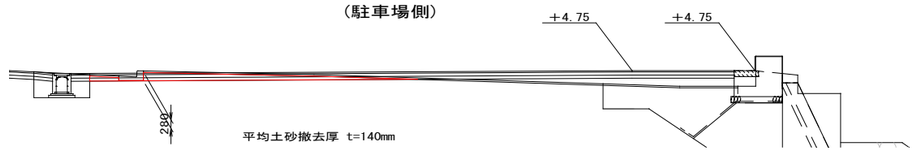


止　壁　（想定図）　S=1/20



※ 既設構造物の形状は想定。

土砂撤去断面図（駐車場側）　S=1/100



既設舗装撤去（新設桟橋）数量表

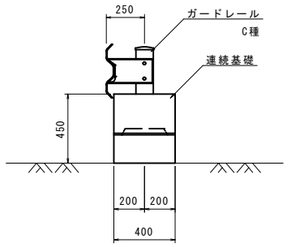
（1ヶ所当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm		53.4+2.6	m	56.0
	t=3cm			m	–
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去			731.0×0.05	m3	36.6
既設止壁撤去		無　筋	0.1×13.48	m3	1.3
土砂撤去			552.9×0.14	m3	77.4
土砂埋戻				m3	–

工事名	令和８年度港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	既設舗装撤去詳細図		
作成年月			
縮　尺	図示	図面番号	25 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

置き式ガードレール
（参考図）

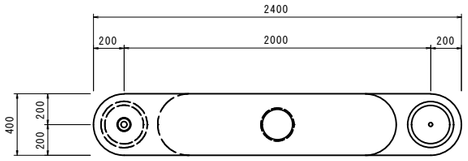
構造図
S=1/20

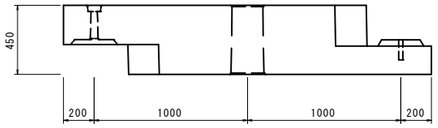


材料表

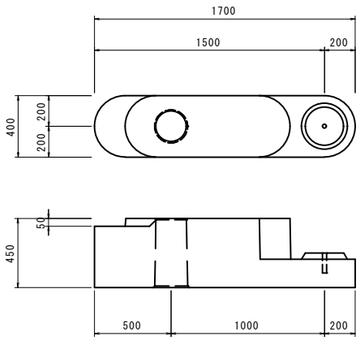
符 号	延長	基礎(B400H450)	ガードレール(C種)	摘要
左①	6.00	6.00	6.00	
左②	6.00	6.00	6.00	
右①	3.00	3.00	3.00	曲げ加工
右②	5.00	5.00	5.00	

標準

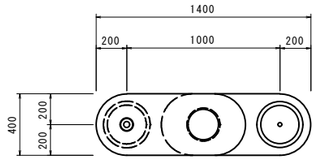


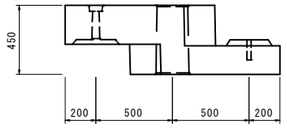


端部A

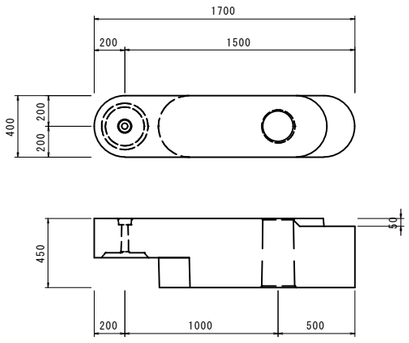


標準(1m)

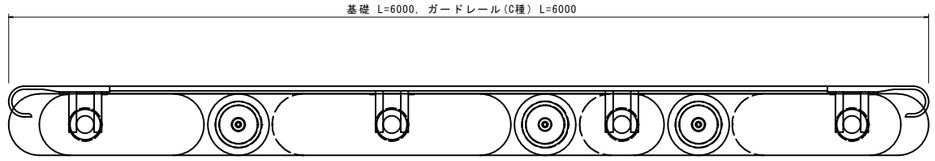




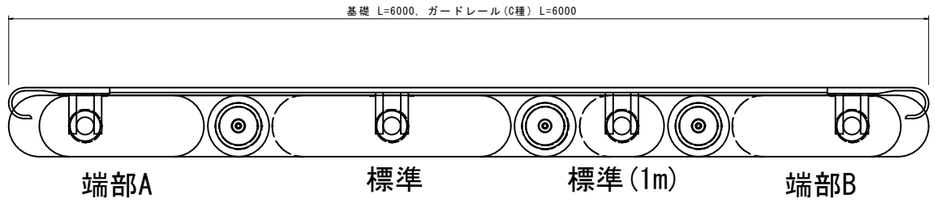
端部B



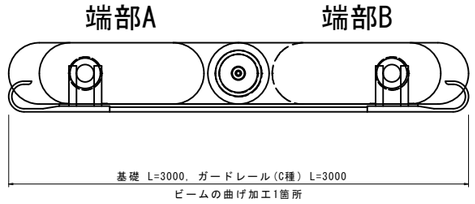
左①



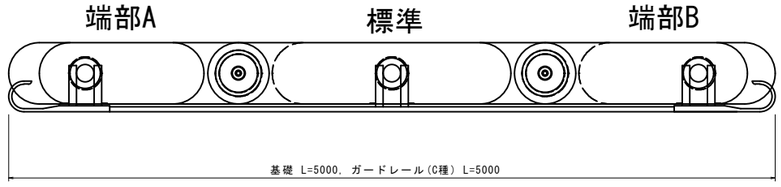
左②



右①



右②

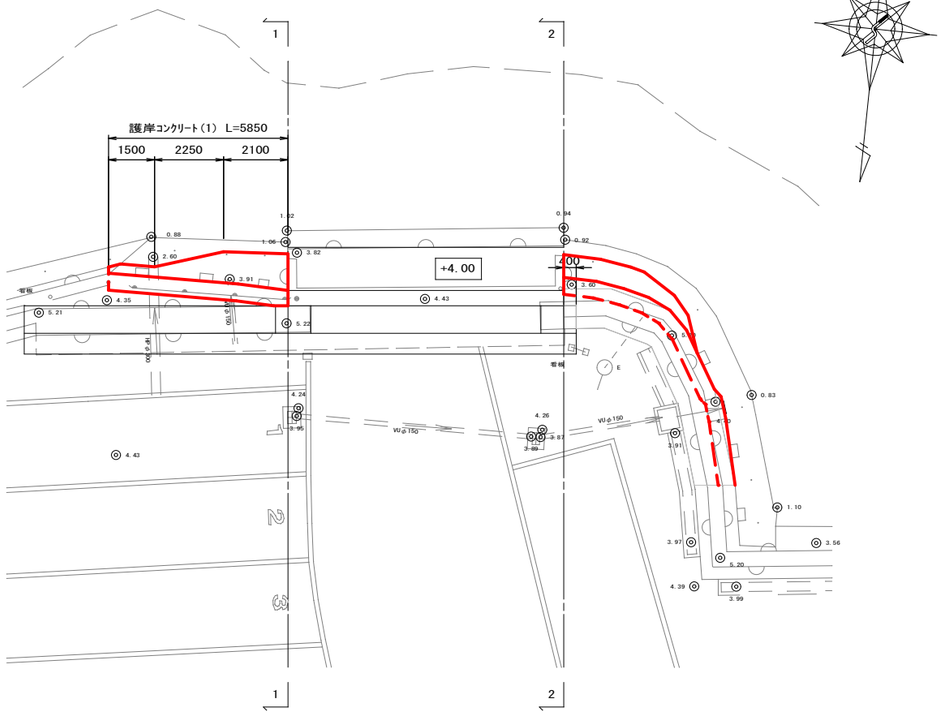


工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	置き式ガードレール（参考図）		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	26 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

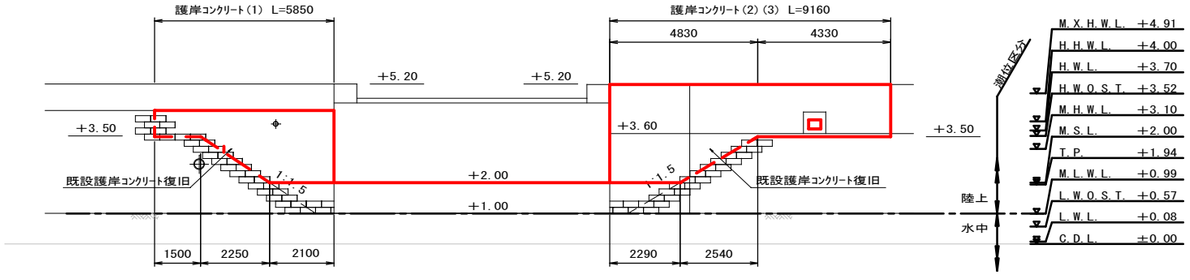
復旧工詳細図（1）

（新設橋台部）

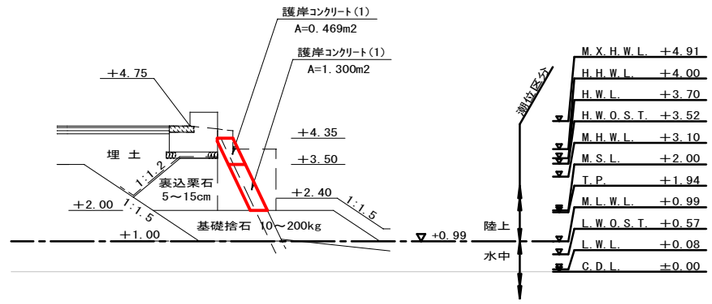
平 面 図 S=1/100



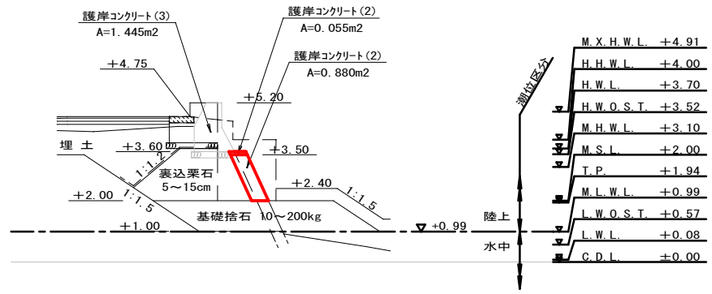
縦 断 図 S=1/100



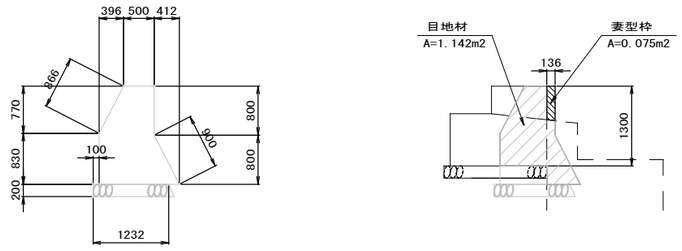
1−1断面 S=1/100



2−2断面 S=1/100



護岸コンクリート（3） S=1/50



※ 既設護岸の復旧断面は想定であり、既設との接続は現場合わせとする。

既設護岸復旧 数量表

（1ヶ所当り）

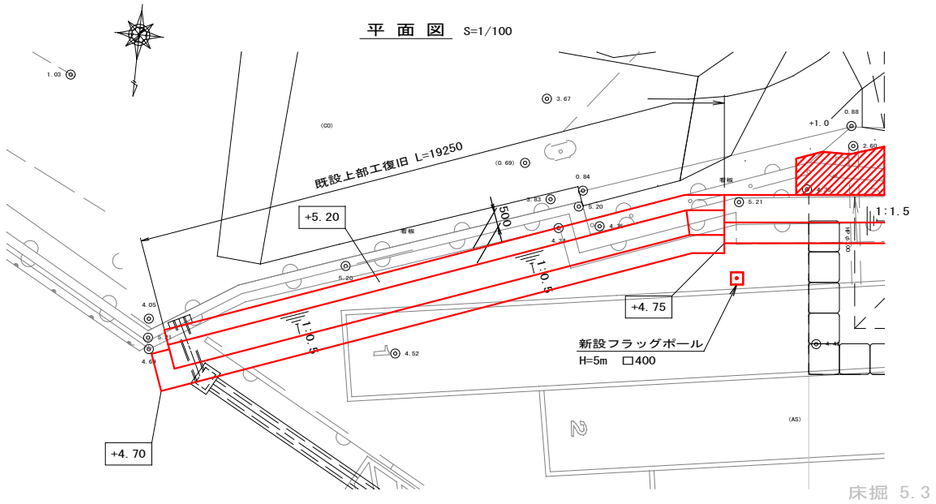
種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm2	1.300×2.10+1/2×（1.300+0.469）×2.25+0.469×1.50+0.880×2.29		
			+1/2×（0.880+0.055）×2.54+0.055×4.33+1.445×9.16	m3	22.101
型 枠			{2.604×2.10+1/2×（2.604+0.942）×2.25+0.942×1.50		
			+1.761×2.29+1/2×（1.761+0.11）×2.54+0.11×4.33}×2		
			+(0.80+0.90+0.83+0.866)×9.16	m2	66.619
妻 型 枠				m2	0.075
目 地 材	ｴﾗｽﾀｲﾄ相当品	t=10mm	1.300+0.880+1.142	m2	3.322
基礎砕石	t=20cm	RC−40	1.232×9.16	m2	11.285

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	復旧工詳細図（1）		
作成年月			
縮 尺	図示	図面番号	27 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

復旧工詳細図(2)

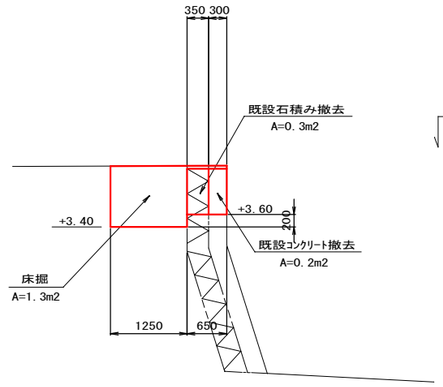
(仮設橋台部)

平 面 図 S=1/100

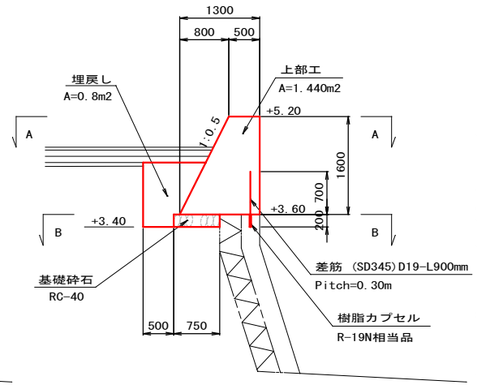


断 面 図 S=1/50

撤去時

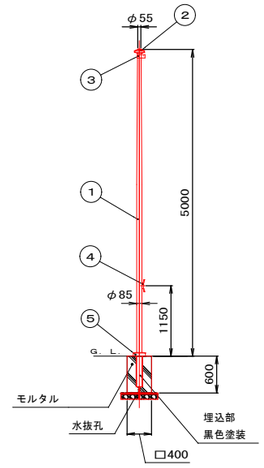


完成時

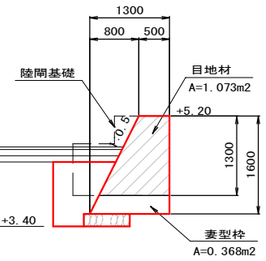


M.X.H.W.L.	+4.91	
H.H.W.L.	+4.00	
H.W.L.	+3.70	
H.W.O.S.T.	+3.52	
M.H.W.L.	+3.10	
M.S.L.	+2.00	
T.P.	+1.94	
M.L.W.L.	+0.99	
L.W.O.S.T.	+0.57	
L.W.L.	+0.08	
C.D.L.	±0.00	

フラッグポール詳細図



C-C断面

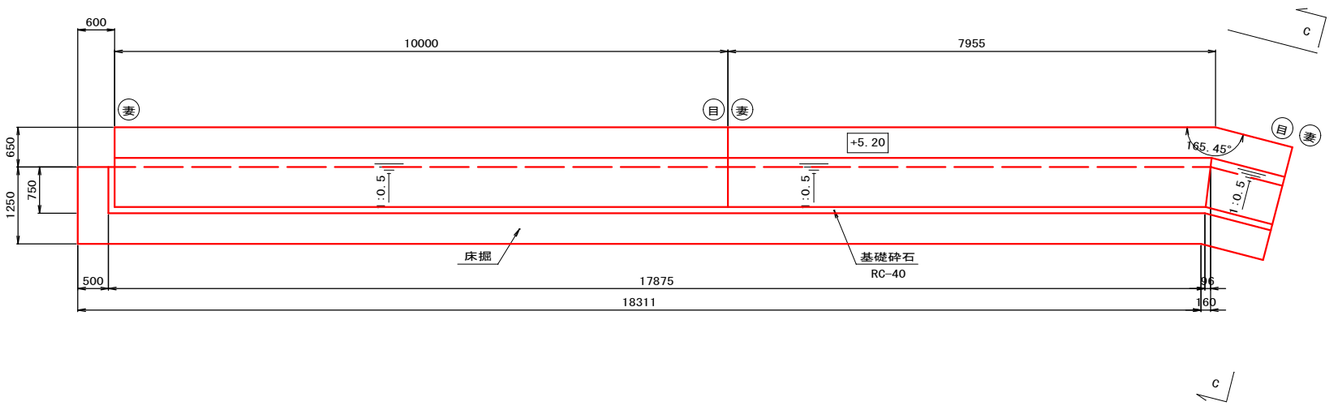


凡例

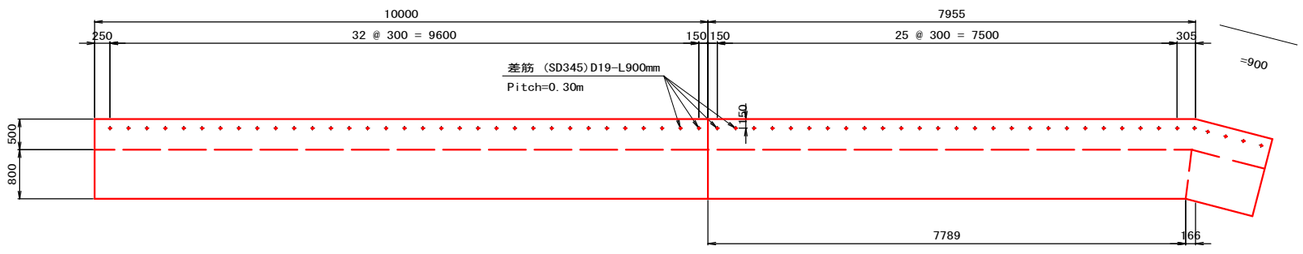
目 ・・・ 目地材

妻 ・・・ 妻型枠

A-A断面 S=1/50



B-B断面 S=1/50



フラッグポール数量表

番号	品 名	数量	材 質	備 考
1	ポール	1	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8	φ85×t2.0 H.L.後アルマイト処理クリアー電着塗装
2	キャップ	1	アルミ合金／ポリプロピレン A1050P/PP	アルマイト処理
3	滑車ホルダー	1	アルミ合金 A6063S-T5	焼付塗装
4	クリート	1	アルミ合金ダイカスト ADC6	バフ研磨後クリアー焼付塗装
5	グランドセット	1	アルミ合金ダイカスト ADC12	塗装仕上げ

※ 安全上、風速15m/sec以上での旗の使用は避けてください。
※ 設計条件：地表面粗度区分Ⅱ、地域区分風速34m/sec
※ 設置位置は、護岸及び駐機場の支障のない位置にて、フェリー利用者に確認の上で決定すること。

既設上部工復旧数量表

(1ヶ所当り)

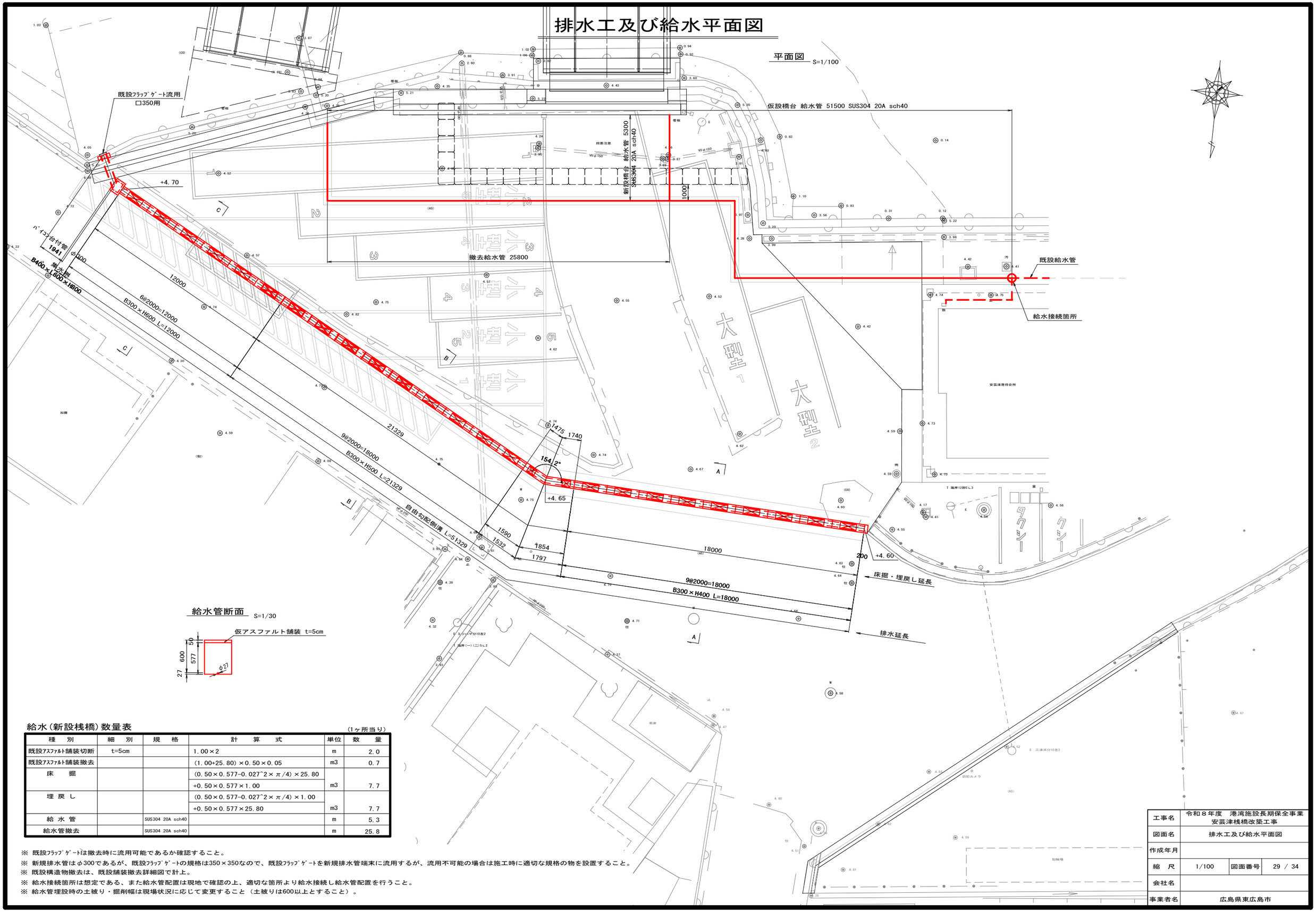
種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm		1.25+18.311+1.052	m	20.6
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ撤去			(18.311+1.052+1/2×0.16×2)×1.25×0.05	m3	1.2
床 掘			1.3×(18.311+1.052+1/2×0.16×2)	m3	25.4
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	陸 上	無 筋	0.2×19.25	m3	3.9
既設石積み撤去			0.3×19.25	m3	5.8
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm2	1.440×(10.00+7.789+1.129+1/2×0.166×2)	m3	27.481
型 枠			1.60×19.25+1.789×(10.00+7.789+1.129+1/2×0.166×2)	m2	64.941
妻 型 枠			0.368+1.440×2	m2	3.248
目 地 材	ｴﾗｽﾀｲﾄ相当品	t=10mm	1.073+1.440	m2	2.513
削 孔	l=200mm	Φ24mm		孔	64
樹脂カプセル		R-19N相当品		個	64
差 筋	D19	SD345	0.90×2.25kg/m×64	kg	129.60
基 礎 砕 石	t=20cm	RC-40	(17.875+1.116+1/2×0.096×2)×0.75	m2	14.315
埋 戻 し			0.8×(19.25+0.60)	m3	15.9

※ 現状不明のため既設護岸の位置・形状は想定である。
上部工復旧に際して法線を現場で調整し、差筋が既設護岸コンクリートに定着されるように施工すること。
※ 既設上部工とのすり合わせは、現地にて適宜行うこと。

工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	復旧工詳細図(2)		
作成年月			
縮 尺	図示	図面番号	28 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

排水工及び給水平面図

平面図 S=1/100



給水管断面 S=1/30

給水(新設桟橋)数量表

(1ヶ所当り)

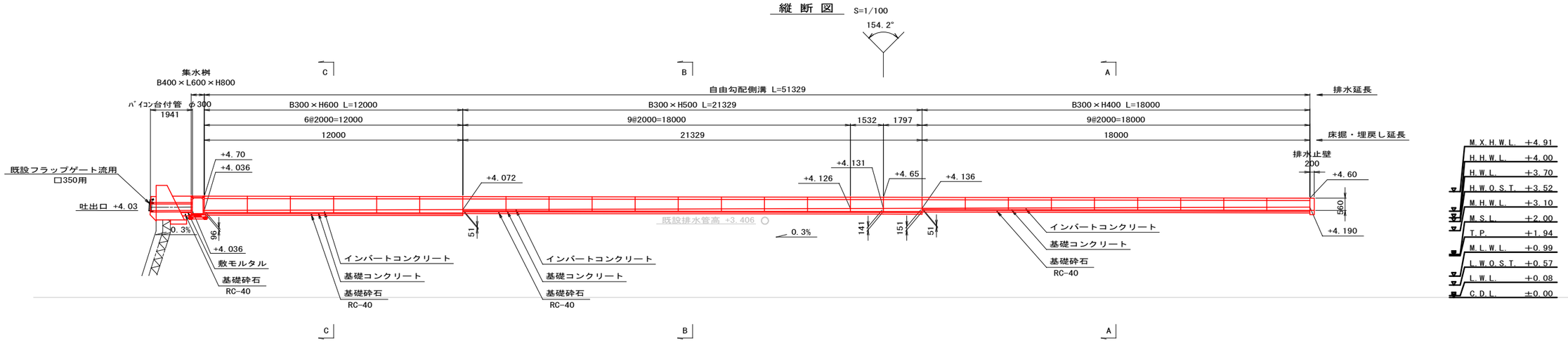
種別	細別	規格	計算式	単位	数量
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm		1.00×2	m	2.0
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去			(1.00+25.80)×0.50×0.05	m3	0.7
床掘			(0.50×0.577−0.027^2×π/4)×25.80	m3	7.7
			+0.50×0.577×1.00		
埋戻し			(0.50×0.577−0.027^2×π/4)×1.00	m3	7.7
			+0.50×0.577×25.80		
給水管		SUS304 20A sch40		m	5.3
給水管撤去		SUS304 20A sch40		m	25.8

※ 既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄは撤去時に流用可能であるか確認すること。
※ 新規排水管はφ300であるが、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄの規格は350×350なので、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄを新規排水管端末に流用するが、流用不可能の場合は施工時に適切な規格の物を設置すること。
※ 既設構造物撤去は、既設舗装撤去詳細図で計上。
※ 給水接続箇所は想定である、また給水管配置は現地で確認の上、適切な箇所より給水接続し給水管配置を行うこと。
※ 給水管埋設時の土被り・掘削幅は現場状況に応じて変更すること（土被りは600以上とすること）。

工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	排水工及び給水平面図		
作成年月			
縮尺	1/100	図面番号	29 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

排水工詳細図（1）

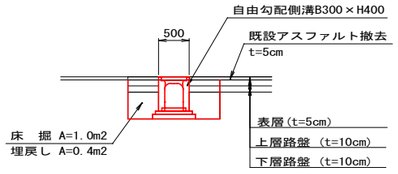
縦 断 図 S=1/100



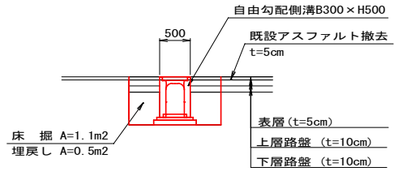
※ 既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄは撤去時に流用可能であるか確認すること。
※ 新規排水管はφ300であるが、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄの規格は350×350なので、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄを新規排水管端末に流用するが流用不可能の場合は施工時に適切な規格の物を設置すること。
※ 既設構造物撤去は、既設舗装撤去詳細図で計上。

断 面 図 S=1/50

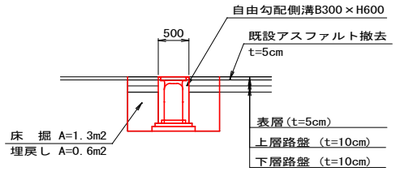
A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図



土工 数量表

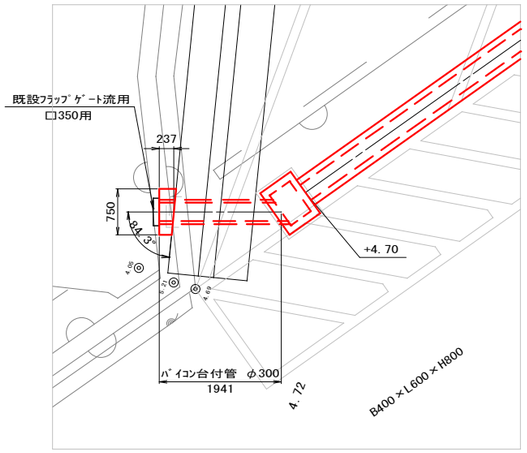
（1ヶ所当り）

種 別	細 別	規 格	計 算 式	単位	数 量
床 掘			1.0×18.00+1.1×21.329+1.3×12.00	m3	57.1
埋 戻 し			0.4×18.00+0.5×21.329+0.6×12.00	m3	25.1

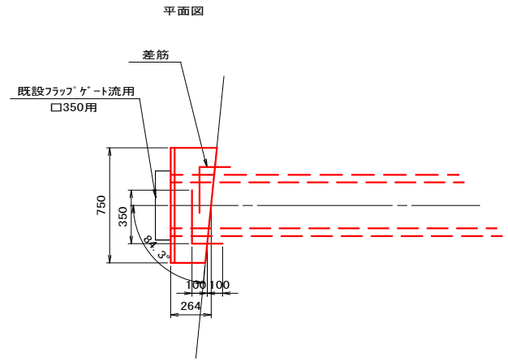
工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	排水工詳細図（1）		
作成年月			
縮 尺	図示	図面番号	30 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

排水工詳細図(2)

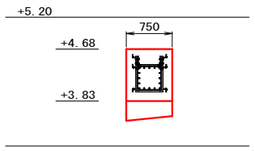
平 面 図　S=1/50



場所打ちコンクリート　S=1/20

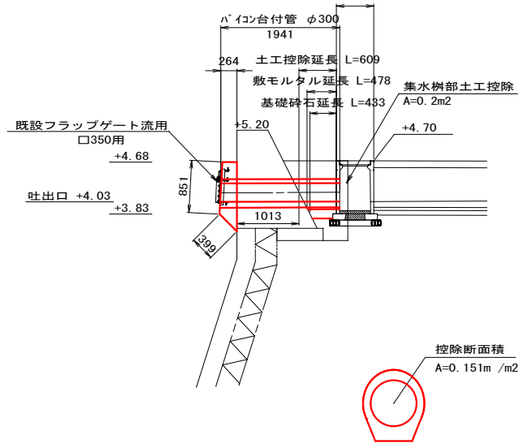


正 面 図　S=1/50



M.X.H.W.L. +4.91
H.H.W.L. +4.00
H.W.L. +3.70
H.W.O.S.T. +3.52
M.H.W.L. +3.10
M.S.L. +2.00
T.P. +1.94
M.L.W.L. +0.99
L.W.O.S.T. +0.57
L.W.L. +0.08
C.D.L. ±0.00

断 面 図　S=1/50



既設上部工復旧控除 数量表

(1ヶ所当り)

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm²	0.151×1.013	m3	0.153
型　枠			0.151/sin84.3° ×(1+1.118)	m2	0.321
埋 戻 し			0.151×0.609+0.072/10.00×0.478+4.40/10.00×0.15×0.433+0.2×0.83	m3	0.3

※ 1.118は1:0.5の斜率。

吐出口基礎 数量表

(1ヶ所当り)

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm²	0.261×0.75-0.151×0.264	m3	0.156
型　枠			0.261×2+(0.851+0.399)×0.75-0.151	m2	1.309
削　孔	l=100mm	φ16mm		孔	6
樹脂カプセル		R-12N相当品		個	6
差　筋	D13	SD345	0.55×0.995kg/m×6本	kg	3.28
既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄ	流 用	350×350		個	1

※ 既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄは撤去時に流用可能であるか確認すること。

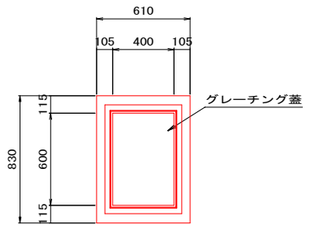
※ 新規排水管はφ300であるが、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄの規格は350×350なので、既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄを新規排水管端末に流用するが流用不可能の場合は施工時に適切な規格の物を設置すること。

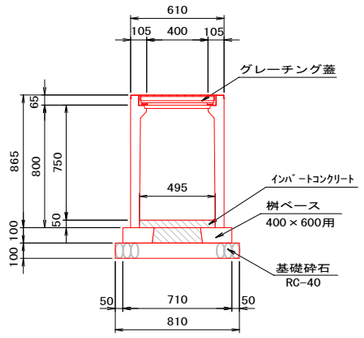
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事
図面名	排水工詳細図(2)
作成年月	
縮　尺	図示　図面番号　31 / 34
会社名	
事業者名	広島県東広島市

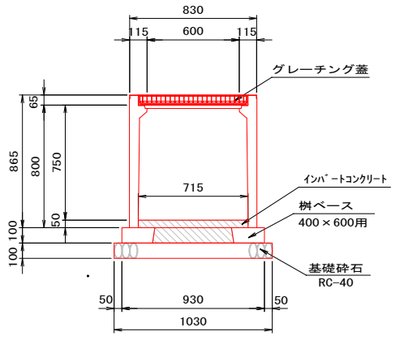
排水工構造図

S=1/20

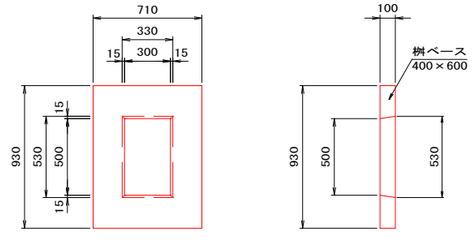
集水桝
B400×L600×H800







桝ベース

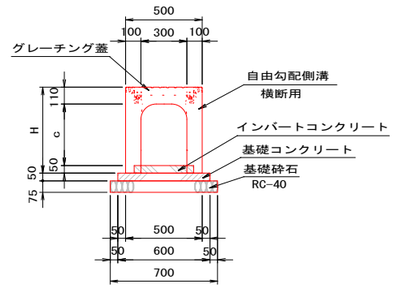


集水桝 数量表

（1ヶ所当り）

種　別	細 別	規 格	計　算　式	単位	数　量
集水桝	B400×L600×H800	T-25		個	1
ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	陸 上	σck=18N/mm2	0.495×0.715×0.05+1/2×(0.30×0.50	m3	0.034
			+0.33×0.53)×0.10		
桝ベース	400×600用			個	1
基礎砕石	t=10cm	RC-40	0.81×1.03	m2	0.834
グレーチング蓋	400×600用	T-25		枚	1

自由勾配側溝



寸法表(mm)

規　格	H	C
300×　400	560	400
300×　500	660	500
300×　600	760	600

自由勾配側溝(横断用)　数量表

（10m当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
側　溝	300×400～600	横断用 T-25	10.00/2.00	個	5
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	陸 上	σck=18N/mm2	0.60×0.05×10.00	m3	0.300
型　枠			0.05×2×10.00	m2	1.000
基礎砕石	t=7.5cm	RC-40	0.70×10.00	m2	7.000
グレーチング蓋		横断用 T-25		枚	5

自由勾配側溝(横断用)　数量表

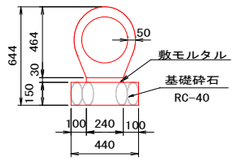
（1ヶ所当り）

種別	サイズ	細別	規格	単位	数量	備　考
自由勾配側溝	300×400	L=2000	横断用 T-25	個	9	標準品
		延長		m	18.000	
	300×500	L=2000	横断用 T-25	個	9	標準品
		L=1475/1590	横断用 T-25	個	1	調整用(斜切)
		L=1854/1740		個	1	
		延長		m	21.329	
	300×600	L=2000	横断用 T-25	個	6	標準品
		延長		m	12.000	
グレーチング蓋		300 L=500	横断用 T-25	枚	2	
		300 L=1000	横断用 T-25	枚	24	
ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		陸上	σck=18N/mm2	m3	1.635	
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ		陸上	σck=18N/mm2	m3	1.540	
同上型枠				m2	5.133	
基礎砕石		t=7.5cm	RC-40	m2	35.930	

※ グレーチング蓋の格子間隔については、利用状況を考慮し協議のうえ決定すること。

※ 自由勾配側溝(横断用)数量表は、数量計算書[新設桟橋 橋台工]の排水工より。

排水工
バイコン台付φ300

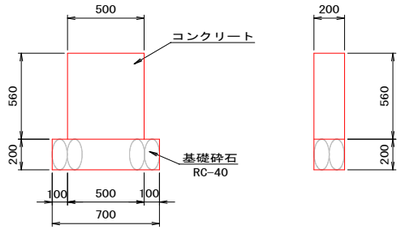


排水工(バイコン台付)数量表

（10m当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
バイコン台付		PVC-300	10.00/2.00	本	5
敷モルタル			0.24×0.03×10.00	m3	0.072
基礎砕石	t=15cm	RC-40	0.44×10.00	m2	4.400

止 壁 工

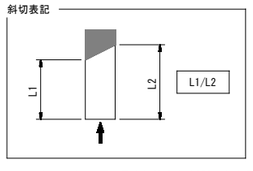


止壁工 数量表

（1ヶ所当り）

種　別	細　別	規　格	計　算　式	単位	数　量
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm2	0.50×0.56×0.20	m3	0.056
型　枠			(0.50+0.20)×0.56×2	m2	0.784
基礎砕石	t=20cm	RC-40	0.70×0.20	m2	0.140

斜切表記



※ インバートコンクリートの1回の最大打設高さは250mmとする。

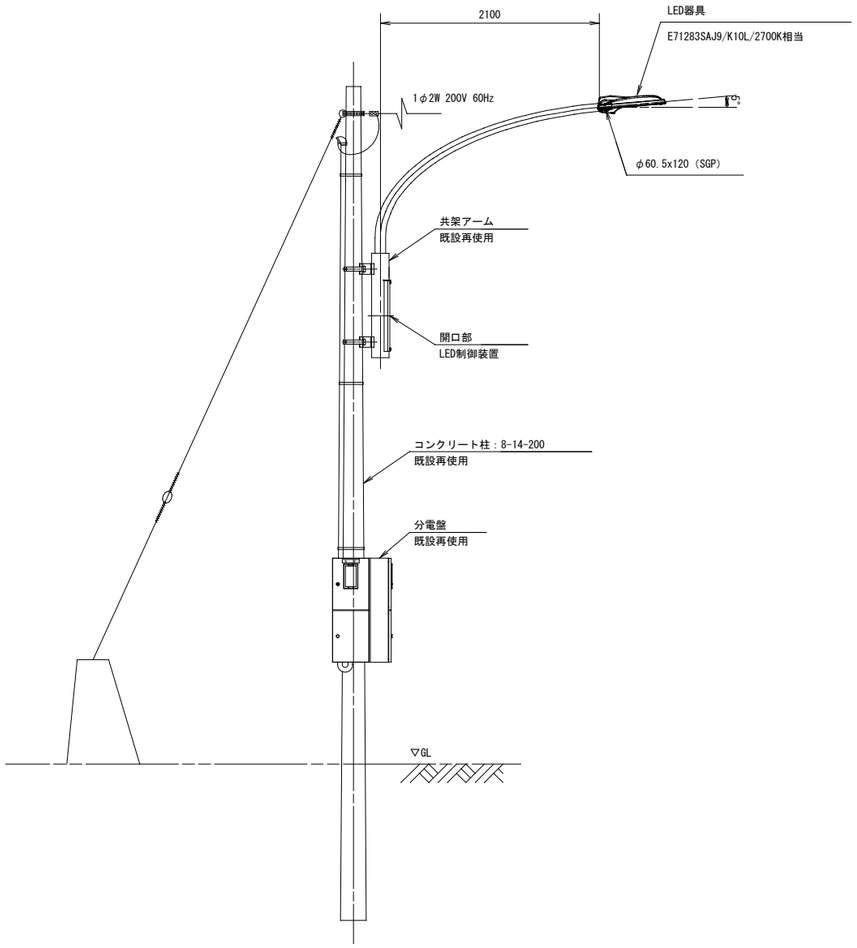
工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事
図面名	排水工構造図
作成年月	
縮　尺	1/20　図面番号　32 / 34
会社名	
事業者名	広島県東広島市

照 明 設 備 詳 細 図

(S=図示)

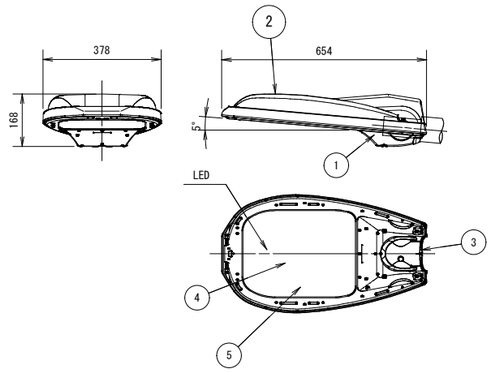
(参考図)

照明柱姿図　S=1:30



LED器具詳細図　S=1:10

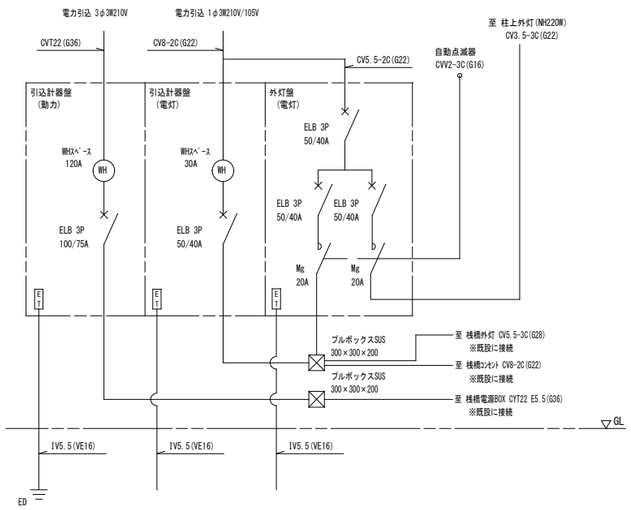
E71283SAJ9/K10L/2700K相当



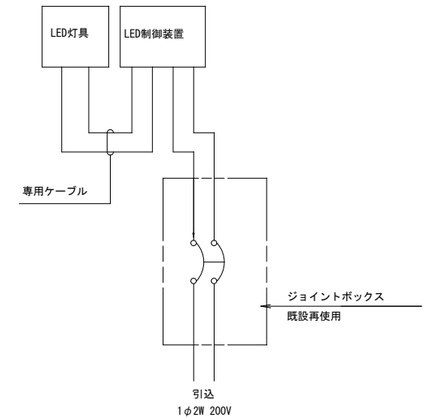
部番	部　品　名	材質・材厚	数	備　　考
1	本　体	アルミダイカスト	1	塗装
2	カバー	アルミダイカスト	1	塗装
3	クランプ	アルミダイカスト	1	塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明
5	電源装置	組立品	1	

分電盤単線結線図　S=NON

既設再使用



配 線 系 統 図　S=NON

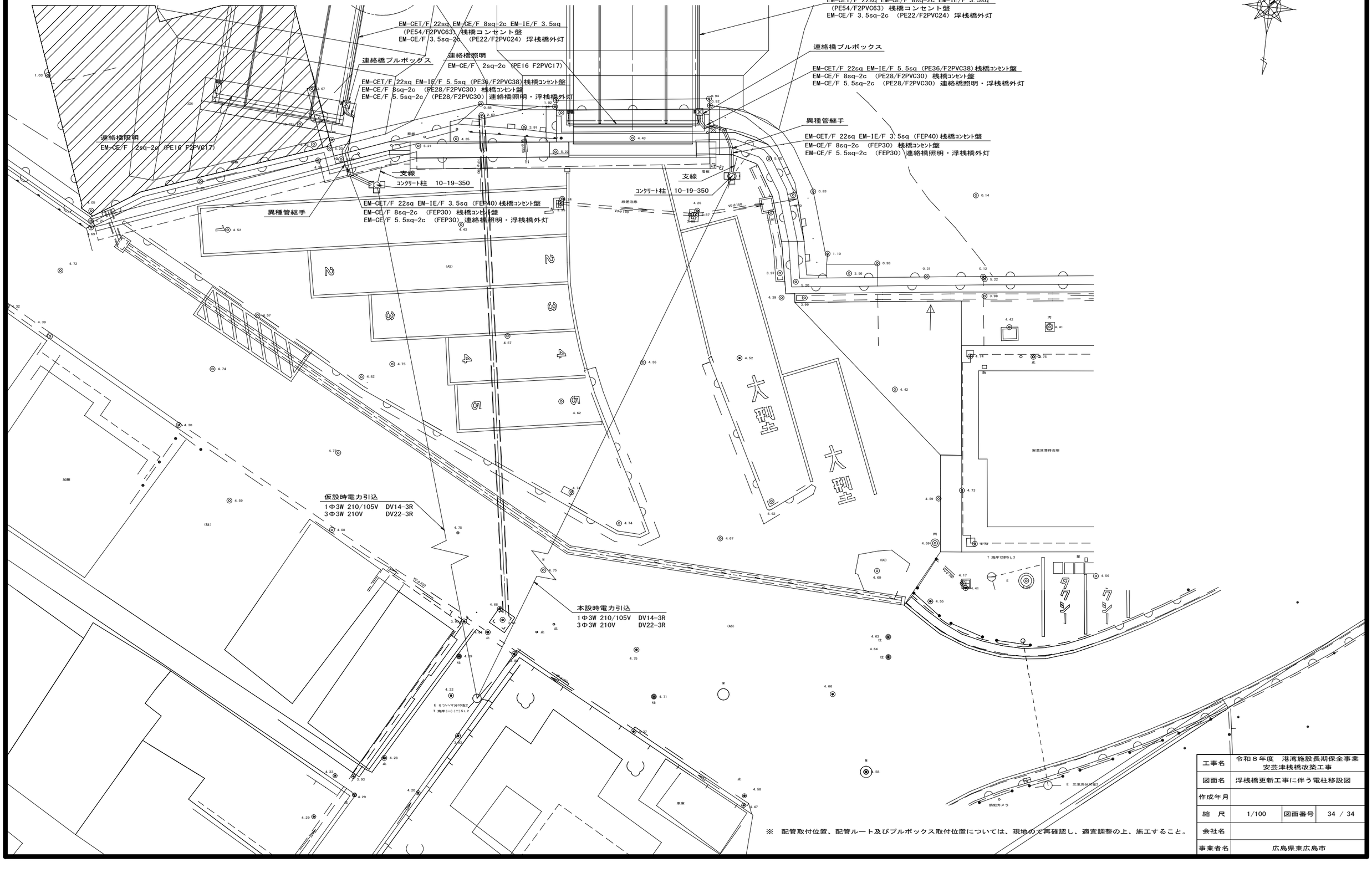


工事名	令和８年度　港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	照明設備詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	33 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

浮桟橋更新工事に伴う電柱移設図

S=1/100

（ 参 考 図 ）



※ 配管取付位置、配管ルート及びプルボックス取付位置については、現地のて再確認し、適宜調整の上、施工すること。

工事名	令和８年度 港湾施設長期保全事業 安芸津桟橋改築工事		
図面名	浮桟橋更新工事に伴う電柱移設図		
作成年月			
縮 尺	1/100	図面番号	34 / 34
会社名			
事業者名	広島県東広島市		

参　考　図　書

工 事 名 称 ：　令和8年度　港湾施設長期保全事業
安芸津桟橋改築工事

＜注意事項＞

1　　本工事は、数量公開の対象工事です。

2　　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

3　　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）等のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
砂質土	㈲エス・エス大南山残土処理場	竹原市 下野町字大南山1372-1	6.8
床掘土砂	深江藻場造成事業 【第2地区】	江田島市大柿町深江地先	49.0

・当該工事により発生するCo殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
Co殻(有筋)	㈱中岡建設　ﾘｻｲｸﾙ施設	東広島市 安芸津町木谷字湯盛37-1	1.5
Co殻(無筋)	㈱中岡建設　ﾘｻｲｸﾙ施設	東広島市 安芸津町木谷字湯盛37-1	1.5
アスファルト殻	光陽産業㈱　安芸津工場	東広島市 安芸津町大田180-1	4.6

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	51 東広島市(安芸津)
単価適用日	00-08.10.01(0)
諸経費体系	M 公共(港湾)

	当世代	前世代
工種	19 港湾構造物工事	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
施工地域・工事場所区分	11 重要港湾・地方港湾（１）	
港湾輸送補正区分	00 海上輸送補正なし	
復興係数区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
護岸・岸壁・物揚場	1	式			Y1M04　　レベル1
基礎工	1	式			Y1M0402　　レベル2
基礎捨石工	1	式			Y1M040203　レベル3
基礎捨石 捨石：１０kg～２００kg	393	m3			Y1M04020301レベル4 D=2
捨石投入 捨石：１０kg～２００kg 瀬取り投入（自積方式）	393	m3			V5062　　00 単第0 -0001　表
捨石本均し	29	m2			Y1M04020302レベル4
捨石本均し・荒均し(陸上) 本均し（±5cm） 陸上施工潮待ち部	29	m2			S5066　　00 単第0 -0005　表
捨石荒均し	383	m2			Y1M04020303レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
捨石本均し・荒均し(陸上) 荒均し（±50cm) 陸上施工潮待ち部	173	m2			S5066 00 単第0 -0007 表
捨石本均し・荒均し(水中) 荒均し:±50cm 潮待ち部	58	m2			S5064 00 単第0 -0008 表
捨石本均し・荒均し(水中) 荒均し:±50cm 潮待ち部以外	152	m2			S5064 00 単第0 -0010 表
被覆・根固工	1	式			Y1M0411 レベル2
被覆石工	1	式			Y1M041101 レベル3
被覆石 ２００kg以上～４００kg未満	167	m3			Y1M04110101レベル4 D=2
被覆捨石 ２００kg以上～４００kg未満 瀬取り投入（自積方式）	167	m3			V5260 00 単第0 -0011 表
被覆均し	450	m2			Y1M04110102レベル4
被覆均し(陸上) 精度:±50cm 割石:200kg/個以上	212	m2			S5264 00 単第0 -0012 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
被覆均し(水中) 精度:±50cm 割石:200～1000kg/個	64	m2			S5262 00 単第0 -0013 表
被覆均し(水中) 精度:±50cm 割石:200～1000kg/個	174	m2			S5262 00 単第0 -0014 表
上部工	1	式			Y1M0412 レベル2
上部コンクリート工 本設連絡橋橋台	1	式			Y1M041201 レベル3
足場	48	m2			Y1M04120102レベル4
鋼製枠組足場架払(重力式) ラフテレーンクレーン（油）:16t吊	48	m2			S5294 00 単第0 -0015 表
鉄筋 SD345	674	kg			Y1M04120103レベル4
鉄筋加工組立(重力式) SD345 16～25mm	575	kg			S5298 00 単第0 -0016 表
鉄筋加工組立(重力式) SD345 13mm	99	kg			S5298 00 単第0 -0017 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	56	m2			Y1M04120104レベル4
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:16t吊	56	m2			S5300 00 単第0 -0018 表
コンクリート 18-8-40BB	37	m3			Y1M04120106レベル4
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ポンプ車	37	m3			S5060003 00 単第0 -0019 表
土のう	23	袋			Y1A01150111レベル4
大型土のう製作・設置(BH設置)	23	袋			SHD10003 00 単第0 -0020 表
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m≦H≦2m	23	袋			S1050057 00 単第0 -0022 表
碇けい工	1	式			Y2999 レベル2
床掘り	1	式			Y3999 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ床掘	1,664	m3			Y1M02010106レベル4
バックホウ浚渫 鋼Ｄ　３．０m3　３９７ｋW 礫混り土砂　Ｎ値：50以上	1,664	m3			V5007　00 単第0 -0024　表
バックホウ浚渫船拘束 鋼D　3.0m3	1	式			V5008　00 単第0 -0026　表
ガット船瀬取・運搬・土捨	1,664	m3			V5009　00 単第0 -0028　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 建設発生土 床掘土砂　深江処分場	1,664	m3			F16009　00
基礎捨石工	1	式			Y1M040203　レベル3
基礎捨石 10kg～100kg	29	m3			Y1M04020301レベル4
捨石投入 捨石：１０kg～１００kg	29	m3			S5062　00 単第0 -0030　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
捨石本均し 本均し:±5cm	42	m2			Y1M04020302レベル4
捨石本均し・荒均し(水中) 本均し:±5cm 潮待ち部以外	42	m2			S5064 00 単第0 -0031 表
アンカーブロック据付工	1	式			Y3999 レベル3
アンカーブロック据付 ブロック運搬据付（海上一連方式）	2	個			Y4999 レベル4
大型ブロック運搬据付（海上一連方式) 本体方塊・直立消波・蓋ブロック ブロック質量:100～200t未満	2	個			S5178 00 単第0 -0032 表
置換材投入 10kg～100kg	1	式			Y4999 レベル4
捨石投入 捨石：１０kg～１００kg	929	m3			S5062 00 単第0 -0030 表
付属工	1	式			Y1M0413 レベル2
付属設備工	1	式			Y1M041305 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋台支承設置 仮設橋台支承流用	1	組			Y4999 レベル4
支承取付・撤去	1	組			V1501 00 単第0 -0035 表
陸閘工	1	式			Y3999 レベル3
陸閘製作設置・撤去工	1	式			Y4999 レベル4
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
陸閘製作、設置・撤去工	1	式			F2400 00
現場発生品運搬 アルミ込みガラ	1	回			Y1A01141603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離14.0㎞以下(11.0㎞超)	3	t			SPK26040410 00 単第0 -0036 表
スクラップ処分費	2,861	kg			Y1A01080408レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
処分費 スクラップ アルミ込みガラ	2,861	kg			F0009　　00
鉄筋 SD345	829	ｋｇ			Y1M04120103レベル4
鉄筋加工組立(重力式) SD345 16～25㎜	343	kg			S5298　　00 単第0 -0037　表
鉄筋加工組立(重力式) SD345　　13㎜	462	kg			S5298　　00 単第0 -0017　表
鉄筋加工組立(重力式) SD345　　16～25㎜ 差筋	24	kg			S5298　　00 単第0 -0038　表
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	0.3	m2			Y1M04120105レベル4
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	0.3	㎡			S5316　　00 単第0 -0039　表
型枠	42	m2			Y1M04120104レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	38	m2			S5300　　00 一次コンクリート 単第0 -0040　表
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	4	m2			S5300　　00 二次コンクリート 単第0 -0040　表
コンクリート 24-12-20(25)BB	29	m3			Y1M04120106レベル4
コンクリート打設(陸上) 24-12-20(25)BB ミキサー車	26	m3			S5060003　　00 一次コンクリート 単第0 -0041　表
コンクリート打設(陸上) 24-12-20(25)BB ミキサー車	3	m3			S5060003　　00 二次コンクリート 単第0 -0041　表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	30	m2			SPK26040033 00 単第0 -0042　表
止水板 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)	4	m			SPK26040119 00 単第0 -0043　表
裏込・裏埋工	1	式			Y1M0415　　レベル2
裏込工	1	式			Y1M041501　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
裏込材 150～50mm	72	m3			Y1M04150102レベル4
積込(ルーズ) 破砕岩 土量50,000m3未満	72	m3			SPK26040007 00 単第0 -0044 表
割ぐり石 150～50mm	72	m3			T0220 00
裏込均し	51	m2			Y1M04150103レベル4
裏込均し（II）（陸上） 精度±20cm 陸上施工	51	m2			S5410 00 単第0 -0045 表
防砂シート敷設	69	m2			Y4999 レベル4
防砂シート敷設 10m未満 陸上施工：クレーン抜き	69	m2			V54141 00 単第0 -0046 表
土工	1	式			Y1M0417 レベル2
作業土工	1	式			Y1A010201 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂	215	m3			Y1A01020102レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	190	m3			SPK26040014 00 単第0 -0047 表
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	25	m3			SPK26040014 00 単第0 -0047 表
埋戻し 土砂	116	m3			Y1A01020103レベル4
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	116	m3			SPK26040019 00 単第0 -0048 表
舗装工	1	式			Y1M0418 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1M041803 レベル3
下層路盤 RC-30,t=100	811	m2			Y1M04180301レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	811	m2			SPK26040232 00 単第0 -0049 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤 RM-30,t=100	811	m2			Y1M04180302レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	811	m2			SPK26040234 00 単第0 -0050 表
表層 再生密粒度As,t=50	811	m2			Y1M04180304レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	811	m2			SPK26040241 00 単第0 -0051 表
区画線工	1	式			Y2999 レベル2
区画線工	1	式			Y3999 レベル3
溶融式区画線 実線・白・15cm	307	m			Y4999 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	307	m			SDT00001 00 単第0 -0052 表
溶融式区画線 矢印・記号・文字_15cm換算	36	m			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	36	m			SDT00001　00 単第0 -0053　表
構造物撤去工	1	式			Y1M0420　レベル2
撤去工	1	式			Y1M042002　レベル3
石材撤去 石積み	6	m3			Y1M04200201レベル4
構造物とりこわし工 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	6	m3			SDT00031　00 単第0 -0054　表
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物,機械施工	27	m3			Y1A01140601レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	22	m3			SDT00031　00 一次施工 単第0 -0055　表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	5	m3			SDT00031　00 二次施工 単第0 -0055　表
殻運搬（無筋） コンクリート殻	27	m3			Y1A01141601レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	22	m3			SPK26040155 00 一次施工 単第0 -0056 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	5	m3			SPK26040155 00 二次施工 単第0 -0056 表
殻処分（無筋） コンクリート殻	63	t			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 Co殻 無筋	51	t			F22002 00 一次施工
処分費 Co殻 無筋	12	t			F22002 00 二次施工
コンクリート構造物取壊し 鉄筋構造物,機械施工	66	m3			Y1A01140601レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	66	m3			SDT00033 00 一次施工 単第0 -0057 表
殻運搬（鉄筋） コンクリート殻	66	m3			Y1A01141601レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	66	m3			SPK26040155 00 一次施工 単第0 -0058 表
殻処分（鉄筋） コンクリート殻	165	t			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 Co殻 鉄筋	165	t			F22001 00 一次施工
舗装版撤去	811	m2			Y1M04200207レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	26	m			SPK26040304 00 一次施工 単第0 -0059 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	77	m			SPK26040304 00 二次施工 単第0 -0059 表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	91	m2			SPK26040303 00 一次施工 単第0 -0060 表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	731	m2			SPK26040303 00 二次施工 単第0 -0060 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 アスファルト殻	43	m3			Y1A01141601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)	5	m3			SPK26040155 00 一次施工 単第0 -0061 表
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)	38	m3			SPK26040155 00 二次施工 単第0 -0061 表
殻処分 アスファルト殻	100	t			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 As殻	11	t			F22108 00 一次施工
処分費 As殻	89	t			F22108 00 二次施工
積込(ルーズ) 土砂	77	m3			Y1A01010108レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	77	m3			SPK26040007 00 単第0 -0062 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬	198	m3			Y4999　　レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)	198	m3			SPK26040002 00 単第0 -0063 表
土砂処分	198	m3			Y4999　　レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 土砂	198	m3			F000000900 00
排水構造物撤去 硬質塩化ビニル管	13	m			Y4999　　レベル4
硬質塩化ビニル管撤去工 呼び径 150mm	13	m			SG1D1071002 00 単第0 -0064 表
置き式防護柵撤去 基礎及び防護柵	20	m			Y4999　　レベル4
置き式基礎撤去工	20	m			V000000400 00 単第0 -0066 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	3	m3			SPK26040155 00 単第0 -0056 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 Co殻 無筋	7	t			F22002 00 一次施工
復旧工	1	式			Y1M0421 レベル2
新設橋台部	1	式			Y1M042104 レベル3
型枠	67	m2			Y1M04120104レベル4
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	67	m2			S5300 00 型枠 単第0 -0040 表
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	0.08	m2			S5300 00 妻型枠 単第0 -0040 表
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	3	m2			Y1M04120105レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	3	㎡			S5316 00 単第0 -0039 表
コンクリート 18-8-40BB	22	m3			Y1M04120106レベル4
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ミキサー車	22	m3			S5060003 00 単第0 -0067 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	11	m2			SPK26040033 00 単第0 -0042 表
仮設橋台部	1	式			Y3999 レベル3
型枠	68	m2			Y1M04120104レベル4
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	65	m2			S5300 00 型枠 単第0 -0040 表
鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 ラフテレーンクレーン（油）:25t吊	3	m2			S5300 00 妻型枠 単第0 -0040 表
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	3	m2			Y1M04120105レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜)	3	㎡			S5316 00 単第0 -0039 表
コンクリート 18-8-40BB	27	m3			Y1M04120106レベル4
コンクリート打設(陸上) 18-8-40BB ミキサー車	27	m3			S5060003 00 単第0 -0067 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200㎜以上400㎜以下	64	孔			SPK26040114 00 単第0 -0068 表
樹脂カプセル R-19N相当品	64	個			F22101 00
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D19 単位質量2.25kg/m	130	kg			T1010037 00
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	14	m2			SPK26040033 00 単第0 -0042 表
埋戻し 土砂	16	m3			Y1A01020103レベル4
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	16	m3			SPK26040019 00 単第0 -0048 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物工	1	式			Y1M0422　　レベル2
作業土工	1	式			Y1A010201　レベル3
床掘り 土砂	57	m3			Y1A01020102レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	57	m3			SPK26040014 00 単第0 -0047　表
埋戻し 土砂	25	m3			Y1A01020103レベル4
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	25	m3			SPK26040019 00 単第0 -0048　表
側溝工	1	式			Y1A011114　レベル3
自由勾配側溝 300×400,300×500,300×600	51.3	m			Y1A01111404レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量	51.3	m			SDT00015　　00 単第0 -0069　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝B300×H400×L2000 横断用	9	本			F0001 00
自由勾配側溝B300×H500×L2000 横断用	9	本			F0002 00
自由勾配側溝B300×H500×L1475/1590 横断用 調整用（斜切）	1	本			F0003 00
自由勾配側溝B300×H500×L1854/1740 横断用 調整用（斜切）	1	本			F0004 00
自由勾配側溝B300×H600×L2000 横断用	6	本			F0005 00
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.6	m3			SPK26040157 00 単第0 -0070 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	5	m2			SPK26040159 00 単第0 -0071 表
蓋版 材料別途 40≧重量	26	枚			SDT00017 00 単第0 -0072 表
グレーチング蓋B300×L500 横断用 T-25	2	枚			F0006 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
グレーチング蓋B300×L1000 横断用 T-25	24	枚			F0007 00
管(函)渠型側溝 据付 200㎜以上300㎜以下	2	m			Y1E02050307レベル4
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径300㎜ 台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)	2	m			SPK26040098 00 単第0 -0073 表
集水桝工	1	式			Y1A011115 レベル3
プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石有り 基礎Co σck=18N/mm2	1	基			Y1A01111502レベル4
プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石有り 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下	1	基			SPK26040096 00 単第0 -0074 表
集水桝B400×H600×L800	1	個			F0008 00
止壁工	1	式			Y3999 レベル3
止壁工	1	箇所			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.06	m3			SPK26040157 00 単第0 -0070 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.8	m2			SPK26040159 00 単第0 -0071 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	0.1	m2			SPK26040033 00 単第0 -0042 表
吐出口基礎工	1	式			Y3999 レベル3
吐出口基礎工	1	箇所			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.2	m3			SPK26040157 00 単第0 -0070 表
木製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式)	1	m2			S5302 00 単第0 -0075 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	6	孔			SPK26040114 00 単第0 -0076 表
樹脂カプセル R-12N相当品	6	個			F22107 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	3	kg			T0181 00
既設ﾌﾗｯﾌﾟゲート撤去 350×350	1	基			V1105 00 単第0 -0077 表
ﾌﾗｯﾌﾟゲート設置 流用	1	基			V1106 00 単第0 -0078 表
付属工	1	式			Y1M0505 レベル2
付属設備工	1	式			Y1M050505 レベル3
電柱復旧	1	基			Y4999 レベル4
道路照明灯移設工 重量 350kg以下	1	基			S2600 00 単第0 -0079 表
給水管布設 硬質塩化ビニル管　呼び径20mm	5.3	m			Y1H03010801レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)	8	m3			SQ005 00 単第0 -0080 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)	8	m3			SQ006 00 単第0 -0082 表
据付工	5.3	m			V000000500 00 単第0 -0084 表
TS継手工	3	口			V000000700 00 単第0 -0085 表
硬質塩化ビニル管切断 呼び径　２０mm	1	口			SQ110 00 単第0 -0086 表
水道用硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP φ20	2	本			F0010 00
ソケット φ20	1	個			F0011 00
エルボ φ20	1	個			F0012 00
給水管撤去 硬質塩化ビニル管　呼び径20mm	25.8	m			Y1H03010801レベル4
硬質塩化ビニル管撤去	25.8	m			V000000800 00 単第0 -0087 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
フラッグポール設置 埋込式	1	本			Y4999 レベル4
フラッグポール 埋込式	1	本			V000000600 00 単第0 -0088 表
碇けい工	1	式			Y2999 レベル2
浮函碇けい工	1	式			Y3999 レベル3
浮函碇けい	1	函			Y4999 レベル4
浮函碇けい 移設	1	函			V22000 00 単第0 -0093 表
チェーン水中切断及び引揚げ	1	函			V23000 00 単第0 -0096 表
連絡橋架設工（海上）	1	基			Y4999 レベル4
連絡橋架設（海上）	1	基			V2001 00 単第0 -0099 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
連絡橋撤去工（海上）	1	基			Y4999 レベル4
連絡橋撤去（海上）	1	基			V2002 00 単第0 -0103 表
チェーン防護材設置工	1	式			Y3999 レベル3
チェーン防護材設置工	1	式			Y4999 レベル4
チェーン防護材設置	1	式			V40000 00 単第0 -0105 表
＊＊直接工事費＊＊					
事業損失防止施設費					Z0002
事業損失防止施設費	1	式			YZZ02 レベル2
事業損失防止施設費（港湾）	1	式			YZZ02002 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水質汚濁防止膜	1	式			YZZ02002001レベル4
汚濁防止膜設置 設置	40	m			S5852 00 単第0 -0108 表
汚濁防止膜撤去 撤去	40	m			S5852 00 単第0 -0109 表
汚濁防止膜 単独フロートφ300　高3m×長20m	40	m			V6000 00 単第0 -0110 表
回航費					Z0010
回航・えい航費	1	式			YZZ10 レベル2
回航・えい航費(港湾)	1	式			YZZ10001 レベル3
えい航	2	回			YZZ10001002レベル4
えい航費 起重機船(非航旋回) 鋼D 600t吊	2	回			V5501010 00 単第0 -0111 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
えい航費 バックホウ浚渫船 鋼D 3.0m3	2	回			V5501020　00 単第0 -0114　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費（港湾）	1	式			YZZ06002　レベル3
技術管理	1	式			YZZ06002001レベル4
採泥（採泥器） 海底面上（採泥器方式） １㎞未満	1	地点			SG420　00 単第0 -0117　表
試料運搬（水質・底質調査） ライトバン２０００cc ５０㎞未満	1	式			SG440　00 単第0 -0120　表
底質試験	1	式			F000000800　00
安全費					Z0009

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費	1	式			YZZ09　　レベル2
安全費（港湾）	1	式			YZZ09002　　レベル3
安全対策	1	式			YZZ09002002レベル4
安全監視船運転 FRP D 180PS型 10.0t 132kW	79	日			S9740　　00 単第0 -0122　表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

捨石投入　　V5062　　単第0 -0001　表

捨石：１０kg～２００kg　　瀬取り投入（自積方式）　　1000　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<港湾用石材>割ぐり石<JISA5006> 捨石(10～200kg/個) 岸壁渡しまたは投入込み	1,300	m3			
クレーン付台船 45～50t吊 運転1日(就業8時間)	4.81	日			単第0-0002　表
引船 鋼Ｄ　450ps型　　331kW 運転1日就業8時間	4.81	日			単第0-0003　表
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	7.22	日			単第0-0004　表
雑材料	0.5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

クレーン付台船　　S9728　　単第0 -0002　表

45～50t吊　　運転1日(就業8時間)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	10.2	10L			102/10
船団長 設計労務単価の補正割増し(1.14)	1.20	人			1*1.2
普通船員 設計労務単価の補正割増し(1.14)	6.00	人			5*1.2
クレーン付台船 45～50t吊	4	時間			
クレーン付台船 45～50t吊	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　45～50t吊 C=2　運転4h			B=1　運転1日(就業8時間)		

施工単価表

引船　　S9736　　単第0 -0003　表

鋼D　450ps型　331kW　　運転1日就業8時間　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	10.3	10L			103/10
高級船員 設計労務単価の補正割増し(1.14)	2.40	人			2*1.2
普通船員 設計労務単価の補正割増し(1.14)	1.20	人			1*1.2
引船 鋼製 D450PS型35GT	2	時間9欄			
損料(供用)	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　鋼D　450ps型　331kW C=1　運転2h			B=1　運転1日 D=1　就業8時間		

施工単価表

潜水士船　　S9738　　単第0 -0004　表

運転1日(就業8時間)　　D320ps型_3～5t吊　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	15.2	10L			152/10
潜水世話役 設計労務単価の補正割増し(1.14)	0.24	人			0.2*1.2
潜水士 設計労務単価の補正割増し(1.14)	1.20	人			1*1.2
潜水連絡員 設計労務単価の補正割増し(1.14)	1.20	人			1*1.2
潜水送気員 設計労務単価の補正割増し(1.14)	1.20	人			1*1.2
潜水士船 潜水士船 D320PS型_3～5t吊_8.6GT	1	日			
損料(供用)	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転1日(就業8時間)			B=1　単独潜水方式		

施工単価表

捨石本均し・荒均し(陸上)　S5066　単第0 -0005　表

本均し（±5cm）　陸上施工潮待ち部　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転（排出ガス対策型2次基準) 0.8m3 就業8時間	3.2	日			単第0-0006　表 40.2*0.08
石工	4.0	人			40.2*0.1
普通作業員	36.2	人			40.2*0.9
雑材料	0.5	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工 C=1　割石:200kg/個未満 E=2　潮待ち部			B=1　本均し（±5cm) D=1　均し1000m2未満 F=2　200kg/個未満		
G=14　バックホウ			I=1　-		

施工単価表

バックホウ運転（排出ガス対策型2次基準）　S9820　単第0 -0006　表

0.8m3　就業8時間　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	87	L			
運転手(特殊)	1.00	人			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 バケット容量0.8m3	5.80	時間			
損料（供用）	1.50	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　0.8m3			B=3　排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

捨石本均し・荒均し(陸上)　S5066　単第0 -0007　表

荒均し（±50cm）　陸上施工潮待ち部　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転（排出ガス対策型2次基準) 0.8m3 就業8時間	1.3	日			単第0-0006　表 16.5*0.08
石工	1.7	人			16.5*0.1
普通作業員	14.9	人			16.5*0.9
雑材料	0.5	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工 C=1　割石:200kg/個未満 E=2　潮待ち部			B=3　荒均し（±50cm) D=1　均し1000m2未満 F=2　200kg/個未満		
G=14　バックホウ			I=1　-		

施工単価表

捨石本均し・荒均し(水中)　S5064　単第0 -0008　表

荒均し:±50cm　潮待ち部　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1m2当り		m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=5　荒均し:±50cm C=1　透明度:普通 E=2　潮待ち部			B=1　割石:200kg/個未満 D=1　施工規模:800m2未満 F=1　水深:10m未満		

施工単価表

潜水士船　S9738　単第0 -0009　表

運転1日(就業8時間)　D320ps型_3～5t吊　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	15.2	10L			152/10
潜水世話役	0.24	人			0.2*1.2
潜水士	1.20	人			1*1.2
潜水連絡員	1.20	人			1*1.2
潜水送気員	1.20	人			1*1.2
潜水士船 潜水士船 D320PS型_3～5t吊_8.6GT	1	日			
損料(供用)	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転1日(就業8時間)			B=1　単独潜水方式		

施工単価表

捨石本均し・荒均し(水中)　S5064　単第0 -0010　表

荒均し:±50cm　潮待ち部以外　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1m2当り		m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=5　荒均し:±50cm C=1　透明度:普通 E=1　潮待ち部以外			B=1　割石:200kg/個未満 D=1　施工規模:800m2未満 F=1　水深:10m未満		

施工単価表

被覆捨石　　V5260　　単第0 -0011　表

２００kg以上～４００kg未満　　瀬取り投入（自積方式）　　1000　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<港湾用石材>割ぐり石<JISA5006> 被覆石(200～400kg/個) 岸壁渡しまたは投入込み	1,300	m3			
クレーン付台船 45～50t吊 運転1日(就業8時間)	4.81	日			単第0-0002　表
引船 鋼Ｄ　450ps型　　331kW 運転1日就業8時間	4.81	日			単第0-0003　表
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	7.65	日			単第0-0004　表
雑材料	0.5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

被覆均し(陸上)　　S5264　　単第0 -0012　表

精度:±50cm　　割石:200kg/個以上　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転（排出ガス対策型2次基準) 0.8m3 就業8時間	4.0	日			単第0-0006　表 19.8*0.2
石工	2.0	人			19.8*0.1
普通作業員	17.8	人			19.8*0.9
雑材料	0.5	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工 C=2　割石:200kg/個以上 E=2　潮待ち部			B=2　精度:±50cm D=1　施工規模:1000m2未満 F=14　バックホウ		

施工単価表

被覆均し(水中)　　S5262　　単第0 -0013　表

精度:±50cm　　割石:200～1000kg/個　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1m2当り		m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　精度:±50cm C=1　透明度:普通 E=2　潮待ち部			B=2　割石:200～1000kg/個 D=1　施工規模:800m2未満 F=1　水深:10m未満		

施工単価表

被覆均し(水中)　　S5262　　単第0 -0014　表

精度:±50cm　　割石:200～1000kg/個　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1m2当り		m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　精度:±50cm C=1　透明度:普通 E=1　潮待ち部以外			B=2　割石:200～1000kg/個 D=1　施工規模:800m2未満 F=1　水深:10m未満		

施工単価表

鋼製枠組足場架払(重力式)　S5294　単第0 -0015　表

ラフテレーンクレーン（油）:16t吊　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上部工【材工共】 重力式,クレーン抜き 枠組足場(手摺先行型)	100	m2			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.8	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　ラフテレーンクレーン（油）:16t吊					

施工単価表

鉄筋加工組立(重力式)　　S5298　　単第0 -0016　表

SD345　16～25mm　　1000　kg　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1,030	kg			
上部工【手間のみ】 クレーン抜き	1,000	kg			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kg			
A=27　クレーン類不用			B=6　SD345	16～25mm	

施工単価表

鉄筋加工組立(重力式)　　S5298　　単第0 -0017　表

SD345　13mm　　1000　kg　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	1,030	kg			
上部工【手間のみ】 クレーン抜き	1,000	kg			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kg			
A=27　クレーン類不用			B=5　SD345	13mm	

施工単価表

鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式)　S5300　単第0 -0018　表

陸上施工　ラフテレーンクレーン（油）:16t吊　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上部工【材工共】 重力式,クレーン抜き 鋼製型枠	100	m2			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	2	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工			B=1　ラフテレーンクレーン（油）:16t吊		

施工単価表

コンクリート打設(陸上)　S5060003　単第0 -0019　表

18-8-40BB　ポンプ車　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	10.2	m3			割増しを含む
上部工(陸上施工)【手間のみ】 コンクリート運搬含む ポンプ車	10	m3			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　ポンプ車 C=19　ポンプ車・ミキサー車使用 E=1　18-8-40BB			B=1　鉄筋 D=1　1日ポンプ車1台50m3未満 G=1　小型車割増なし		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)　　SHD10003　　単第0 -0020　表

10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和５年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0021　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=4　耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1　土砂の計上なし		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　S9035　単第0 -0021　表
C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	63.00	L			
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	1.28	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=23　C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型 C=1　運転労務数量(人/日)			B=63　軽油消費量(L/日) D=1.28　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

大型土のう撤去　　S1050057　　単第0 -0022　表

設置作業半径_6m以下　　設置面高さ_-3m≦H≦2m　　10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.087	人			
特殊作業員	0.087	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.087	日			単第0-0023　表
諸雑費	0.4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　設置作業半径_6m以下			B=1　設置面高さ_-3m≦H≦2m		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0023　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	101.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.21	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=101　軽油消費量(L/日) D=1.21　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

バックホウ浚渫　　V5007　　単第0 -0024　表

鋼Ｄ　３．０m3　３９７ｋW　　礫混り土砂　N値：50以上　　1664　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ浚渫船運転 鋼Ｄ　３．０m3　３９７ｋW	22	日			単第0-0025　表
雑材料	0.5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,664	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

バックホウ浚渫船運転　　V9772　　単第0 -0025　表

鋼D　３．０m3　３９７kW　　1　　日　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 　ミニローリー 　船舶用(取引税抜き)	85.8	10L			
船団長	1.41	人			
高級船員	1.41	人			
普通船員	5.68	人			
GNSS施工管理装置 　供用日	1.65	日			
バックホウ浚渫船　運転 　鋼D　3.0m3	8	時間			
損料（供用） 　バックホウ浚渫船 　鋼D　3.0m3	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

バックホウ浚渫船拘束　　V5008　　単第0 -0026　表

鋼D　3.0m3　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ浚渫船拘束 鋼D　3.0m3	10	日			単第0-0027　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

バックホウ浚渫船拘束　　V50081　　単第0 -0027　表

鋼D　3.0m3　　1　　日　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
船団長	1	人			
高級船員	1	人			
普通船員	4	人			
GNSS施工管理装置 供用日	1.65	日			
損料（供用） バックホウ浚渫船 鋼D　3.0m3	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

ガット船瀬取・運搬・土捨　　V5009　　単第0 -0028　表

1664　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガット船運転 グラブ容量３．０m3　航行１１０３ｋW	13	日			単第0-0029　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,664	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

ガット船運転　S9730　単第0 -0029　表

グラブ容量３．０m3　航行１１０３ｋW　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	154.8	10L			1548/10
高級船員	5.72	人			4*1.43
普通船員	2.84	人			2*1.42
ガット船 ガット船 D850m3積3.0m3 499GT	8	時間			
損料（供用）	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　グラブ容量３．０m3　航行１１０３ｋW			B=1　運転１日（運転８時間／就業１０時間）		

施工単価表

捨石投入　　S5062　　単第0 -0030　表

捨石：１０kg～１００kg　　1000　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<港湾用石材>割ぐり石<JISA5006> 捨石(10～100kg/個) 岸壁渡しまたは投入込み	1,300	m3			
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	2.89	日			単第0-0009　表 1300/450
雑材料	0.5	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　捨石：１０kg～１００kg C=1　施工規模：１０００m3未満			B=1　水深：１０m未満 D=30　材料割増率（%）		

施工単価表

捨石本均し・荒均し(水中)　S5064　単第0 -0031　表

本均し:±5cm　潮待ち部以外　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1m2当り		m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　本均し:±5cm C=1　透明度:普通 E=1　潮待ち部以外			B=1　割石:200kg/個未満 D=1　施工規模:800m2未満 F=1　水深:10m未満		

施工単価表

大型ブロック運搬据付（海上一連方式）　S5178　単第0 -0032　表

本体方塊・直立消波・蓋ブロック　ブロック質量:100～200t未満　1　個　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
起重機船(非航旋回) 鋼D　250t吊　736kW 運転1日(就業8時間)	1	日			単第0-0033　表
引船 鋼D1000ps型　736kW 運転1日就業8時間	1	日			単第0-0034　表
とび工	2	人			
普通作業員	4	人			
雑材料	0.5	%			#06
小計（1日当り）		日			
1個当り		個			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	個			
A=1　本体方塊・直立消波・蓋ブロック D=0　往復平均えい航距離 d (km) F=2　運搬据付			B=1　非航旋回起重機船（鋼D　250t吊） E=11　最大積込個数（個） G=1　玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合		

施工単価表

起重機船(非航旋回)　S9724　単第0 -0033　表

鋼D　250t吊　736kW　運転1日(就業8時間)　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	84.4	10L			844/10
船団長	1.20	人			1*1.2
高級船員	1.20	人			1*1.2
普通船員	7.20	人			6*1.2
起重機船 旋回・ディーゼル式 250t吊D	6	時間			
損料(供用)	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=10　鋼D　250t吊　736kW C=3　運転6h			B=1　運転1日(就業8時間)		

施工単価表

引船　　S9736　　単第0 -0034　表

鋼D1000ps型　736kW　　運転1日就業8時間　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	22.8	10L			228/10
高級船員	2.40	人			2*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
引船 鋼製 D1000PS型90GT	2	時間9欄			
損料(供用)	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=11　鋼D1000ps型　736kW C=1　運転2h			B=1　運転1日 D=1　就業8時間		

施工単価表

支承取付・撤去　　V1501　　単第0 -0035　表

1　組　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	3	人			
雑材料	4	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	組			

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　　SPK26040410　　単第0 -0036　表

クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊　　片道運搬距離14.0km以下(11.0km超)　　1　t　当り

機械構成比: 16.52%　労務構成比: 79.59%　材料構成比: 3.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 7,590.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	16.52%		トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	40.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊 C=12　片道運搬距離14.0km以下(11.0km超)			B=1　DID区間無し		

施工単価表

鉄筋加工組立(重力式)　S5298　単第0 -0037　表

SD345 16～25mm　1000　kg　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1,030	kg			
上部工【手間のみ】 クレーン抜き	1,000	kg			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kg			
A=27　クレーン類不用			B=6　SD345	16～25mm	

施工単価表

鉄筋加工組立(重力式)　　S5298　　単第0 -0038　表

SD345　16～25mm　　差筋　　1000　kg　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1,030	kg			
上部工【手間のみ】 クレーン抜き	1,000	kg			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kg			
A=27　クレーン類不用			B=6　SD345	16～25mm	

施工単価表

伸縮目地　　S5316　　単第0 -0039　表

瀝青質系（ｔ＝１０㎜）　　100　㎡　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
瀝青系【材工共】	100.00	m2			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	㎡			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	㎡			
A=1　瀝青質系　（ｔ＝１０㎜）					

施工単価表

鋼製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式)　S5300　単第0 -0040　表

陸上施工　ラフテレーンクレーン（油）:25t吊　一次コンクリート　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上部工【材工共】 重力式,クレーン抜き 鋼製型枠	100	m2			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	2	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工			B=3　ラフテレーンクレーン（油）:25t吊		

施工単価表

コンクリート打設(陸上)　S5060003　単第0 -0041　表

24-12-20(25)BB　ミキサー車　一次コンクリート　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	10.2	m3			割増しを含む
上部工(陸上施工)【手間のみ】 コンクリート運搬別途 ミキサー車から直接投入	10	m3			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=3　ミキサー車 C=19　ポンプ車・ミキサー車使用 E=4　24-12-20(25)BB			B=1　鉄筋 D=4　ポンプ車以外の打設 G=1　小型車割増なし		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0042　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.62%　　労務構成比:　71.52%　　材料構成比:　23.86%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.59%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.48%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	19.25%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0042　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　　RC-40　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.62%　　労務構成比:　71.52%　　材料構成比:　23.86%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=4　砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=1　RC-40		

施工単価表

止水板　　SPK26040119　　単第0 -0043　表

幅CF200×厚さ5㎜(塩ビ製)　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 57.14%　材料構成比: 42.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,045.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	42.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
止水板-塩ビ製- CF(センターバルブ形フラット) 幅200㎜,厚5㎜	42.86%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5㎜		TTPC00198 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=1　幅CF200×厚さ5㎜(塩ビ製)					

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0044　表

破砕岩　　土量50,000m3未満　　1　　m3　　当り

機械構成比:　42.91%　労務構成比:　38.19%　材料構成比:　18.90%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　307.41000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 バケット容量0.8m3	42.91%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.8m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　破砕岩			B=1　土量50,000m3未満		

施工単価表

裏込均し（II）（陸上）　S5410　単第0 -0045　表

精度±20cm　陸上施工　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転（排出ガス対策型2次基準） 0.8m3 就業8時間	1.2	日			単第0-0006　表 15.4*0.08
普通作業員	15.4	人			15.4*1
雑材料	0.5	%			#06
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　陸上施工 C=1　1000m2未満 E=6　クレーン付台船を使用しない			B=2　精度±20cm D=2　潮待ち部		

施工単価表

防砂シート敷設　　V54141　　単第0 -0046　表

10m未満　　陸上施工：クレーン抜き　　516　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
不織布(長繊維化繊系) 質量500g/m2,強度1175N/5cm	568	m2			
防砂シート敷設【手間のみ】 陸上施工 クレーン抜き	516	m2			
＊＊＊　合計　＊＊＊	516	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0047　表

土砂 標準　　土留方式無し 障害無し　　1　　m3　　当り

機械構成比: 21.46%　労務構成比: 54.31%　材料構成比: 24.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 255.58000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	21.46%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	54.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	24.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0048　表

最小埋戻幅4m以上　　1　m3　当り

機械構成比: 41.51%　労務構成比: 40.47%　材料構成比: 18.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 535.07000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブルドーザ 普通・排2014 通称15t級	33.20%		ブルドーザ 普通・排出ガス対策型(2014年規制) 通称15t級		MTPC00156 MTPT00156
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	8.31%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	40.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　最小埋戻幅4m以上			D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0049　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.81%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.47%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.46%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0049　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 30～0㎜	74.09%		クラッシャラン 40～0㎜ [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(㎜) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0050　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0050　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 30～0㎜	46.32%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5　RM-30 H=1　-(全ての費用)			E=100　全仕上り厚(㎜)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0051　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.84%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.13%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0051　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.39%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0052　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	49.350	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=1　実線_15cm E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0052　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0053　表

矢印・記号・文字_15cm換算　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	121.800	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=13　矢印・記号・文字_15cm換算 E=1　アスファルトに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0053　表

矢印・記号・文字_15cm換算　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

構造物とりこわし工　　SDT00031　　単第0 -0054　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　　1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0055　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　一次施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0056　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し 運搬距離1.6km以下　　一次施工　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　労務構成比:　46.18%　材料構成比:　14.79%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　990.22000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=7　運搬距離1.6km以下		

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0057　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　一次施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0058　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　　DID区間無し 運搬距離1.6km以下　　一次施工　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,210.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=7　運搬距離1.6km以下		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0059　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　一次施工　　1　　m　　当り

機械構成比:　14.40%　　労務構成比:　58.90%　　材料構成比:　26.70%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0059　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　一次施工　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕　　SPK26040303　　単第0 -0060　表

アスファルト舗装版　　障害等無し 舗装版厚15cm以下　　一次施工　　1　　m2　　当り

機械構成比: 12.28%　労務構成比: 81.66%　材料構成比: 6.06%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 227.41000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.28%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.45m3		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0061　表

舗装版破砕　　DID区間無し　運搬距離6.5km以下(3.5km超)　一次施工　　1　m3　当り

機械構成比:　42.27%　労務構成比:　41.18%　材料構成比:　16.55%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　3,046.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.27%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=3　機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=29　運搬距離6.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0062　表

土砂　　土量50,000m3未満　　1　　m3　　当り

機械構成比: 40.95%　労務構成比: 39.50%　材料構成比: 19.55%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 249.36000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 バケット容量0.8m3	40.95%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.8m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	39.50%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=1　土量50,000m3未満		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0063　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 42.89%　労務構成比: 41.78%　材料構成比: 15.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,458.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.89%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.78%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=24 距離7.5km以下(6.5km超)			B=1 バックホウ B容量0.8m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

硬質塩化ビニル管撤去工　　SG1D1071002　　単第0 -0064　表

呼び径 150mm　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.12	人			
普通作業員	0.12	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付1.7t吊_B容量0.28m3	0.05	日			単第0-0065　表
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　　呼び径 150mm					

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0065　表
クレーン付1.7t吊_B容量0.28m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	34.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.50	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　クレーン付1.7t吊_B容量0.28m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=34　軽油消費量(L/日) D=1.5　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

置き式基礎撤去工　　V000000400　　単第0 -0066　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.3	人			
特殊作業員	0.3	人			
普通作業員	0.6	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	0.3	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

コンクリート打設(陸上)　S5060003　単第0 -0067　表

18-8-40BB　ミキサー車　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	10.3	m3			割増しを含む
上部工(陸上施工)【手間のみ】 コンクリート運搬別途 ミキサー車から直接投入	10	m3			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=3　ミキサー車 C=19　ポンプ車・ミキサー車使用 E=1　18-8-40BB			B=2　無筋 D=4　ポンプ車以外の打設 G=1　小型車割増なし		

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0068 表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1 孔 当り

機械構成比: 1.87% 労務構成比: 95.97% 材料構成比: 2.16% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価： 1,067.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.88%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.62%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.35%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.73%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0068　表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1　孔　当り

機械構成比: 1.87%　労務構成比: 95.97%　材料構成比: 2.16%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,067.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　削孔深さ200㎜以上400㎜以下					

施工単価表

自由勾配側溝　　SDT00015　　単第0 -0069　表

材料別途 1000≧重量　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.063	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.032	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 D=1　1000≧重量 F=1　-			B=51　材料別途 E=1　時間的制約なし G=2　RC-40		
I=0.525　基礎砕石の設計数量(m3/10m) L=0.3　基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1　18-8-40BB M=1　-		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0070　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0071　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,653.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0072　表

材料別途 40≧重量　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 E=1　40≧重量 G=1　-			B=10　材料別途 F=1　時間的制約なし		

施工単価表

鉄筋コンクリート台付管　　SPK26040098　　単第0 -0073　表

据付 管径300㎜　　台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)　　1　m　当り

機械構成比: 2.89%　労務構成比: 34.05%　材料構成比: 63.06%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 15,715.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.5m3(平積0.39m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	2.07%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・クレーン機能付 バケット容量0.5～0.6m3 吊能力2.9t		KTPC00077 KTPT00077
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	5.82%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
台付鉄筋コンクリート管(バイコン台付管) <JSWASA-9>,呼び径300BZ,長2000 参考質量390kg	60.81%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300㎜×長さ2,000㎜		TTPC00134 TTPT00134
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

鉄筋コンクリート台付管　　SPK26040098　　単第0 -0073　表

据付 管径300㎜　　台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)　　1　m　当り

機械構成比: 2.89%　労務構成比: 34.05%　材料構成比: 63.06%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 15,715.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=1 台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)			B=3 管径300㎜ E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

プレキャスト集水桝　　SPK26040096　　単第0 -0074　表

据付 基礎砕石有り　　製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下　　1　基　当り

機械構成比: 11.60%　労務構成比: 85.02%　材料構成比: 3.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,504.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.36%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.28m3 吊能力1.7t		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	37.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.59%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

プレキャスト集水桝　　SPK26040096　　単第0 -0074　表

据付 基礎砕石有り　　製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下　　1　基　当り

機械構成比: 11.60%　労務構成比: 85.02%　材料構成比: 3.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 6,504.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=1 基礎砕石有り			B=3 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下 D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

木製型枠組立組外(重力式,鋼矢板式)　S5302　単第0 -0075　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
上部工【材工共】 重力式,クレーン抜き 木製型枠	100	m2			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　ラフテレーンクレーン（油）:16t吊					

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0076　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.98%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK26040114　単第0 -0076　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.05%　労務構成比: 95.59%　材料構成比: 2.36%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 720.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔深さ30㎜以上200㎜未満					

施工単価表

既設ﾌﾗｯﾌﾟゲート撤去　V1105　単第0 -0077　表

350×350　1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.4	人			
普通作業員	1.6	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

ﾌﾗｯﾌﾟゲート設置　　V1106　　単第0 -0078　表

流用　　1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.2	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

道路照明灯移設工　　S2600　　単第0 -0079　表

重量 350kg以下　　10　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	7.500	人			5*1.5
普通作業員	6.000	人			4*1.5
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	2.550	日			1.7*1.5
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	基			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　　重量 350kg以下			B=3　　移設		

施工単価表

管路掘削　　SQ005　　単第0 -0080　表

クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)　　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.800	人			
普通作業員	7.800	人			
機-23,24_小型バックホウ(クローラ型)運転 [標準型]バケット容量0.08m3 排出ガス対策型2次基準	2.632	日			単第0-0081　表 100/38
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)			B=3　排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

機-23,24_小型バックホウ(クローラ型)運転　S9001　単第0 -0081　表

[標準型]バケット容量0.08m3　排出ガス対策型2次基準　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	17.00	L			
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 バケット容量0.08m3	1.78	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人/日） C=1.78　機械損料数量（供用日/日） E=1			B=17　軽油消費量（L/日） D=3　[標準型]バケット容量0.08m3 F=3　排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

管路埋戻　　SQ006　　単第0 -0082　表

BH投入・タンパ締固め　　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)　　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-23,24_小型バックホウ(クローラ型)運転 [標準型]バケット容量0.08m3 排出ガス対策型2次基準	1.754	日			単第0-0081　表 100/57
タンパ運転（賃料） 質量　６０～８０kg	3	日			単第0-0083　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　BH投入・タンパ締固め C=1　クローラ型山積0.08m3(平積0.06m3)			B=1　材料別途計上 D=3　排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

タンパ運転（賃料）　S9000017　単第0 -0083　表

質量　６０～８０kg　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	5.00	L			
特殊作業員	1.00	人			
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.38	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人／日） C=1.38　機械賃料数量（供用日／日）			B=5　燃料消費量（L／日）		

施工単価表

据付工　　V000000500　　単第0 -0084　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.12	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

TS継手工　　V000000700　　単第0 -0085　表

2　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
雑材料	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			

施工単価表

硬質塩化ビニル管切断　　SQ110　　単第0 -0086　表

呼び径　２０mm　　1　　口　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.010	人			
普通作業員	0.010	人			
雑材料	1.000	%			#06
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　硬質塩化ビニル管切断			B=3　呼び径	２０mm	

施工単価表

硬質塩化ビニル管撤去　　V000000800　　単第0 -0087　表

10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.042	人			
普通作業員	0.072	人			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

フラッグポール　　V000000600　　単第0 -0088　表

埋込式　　10　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	1.32	m3			単第0-0089　表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cm以下 C-40	3.6	m2			単第0-0090　表
型枠 一般型枠 小型構造物	9.6	m2			単第0-0091　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	1.52	m3			単第0-0092　表
フラッグポール 埋込式 H=5m	10	本			
土木一般世話役	5	人			
特殊作業員	10	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	5	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0089　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.50%　労務構成比: 73.36%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0090　表

砕石の厚さ7.5cm以下　　C-40　　1　　m2　　当り

機械構成比: 5.39%　労務構成比: 83.61%　材料構成比: 11.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,248.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	5.36%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	40.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	17.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	10.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
クラッシャラン 40～0mm	5.62%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00005 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.35%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎砕石　　SPK26040033　　単第0 -0090　表

砕石の厚さ7.5cm以下　　C-40　　1　　m2　　当り

機械構成比: 5.39%　労務構成比: 83.61%　材料構成比: 11.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,248.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　砕石の厚さ7.5cm以下 D=1　-(全ての費用)			B=2　C-40		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0091　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0092　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2　小型構造物 C=3　18-8-25(20)BB H=2　現場内小運搬無し K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

施工単価表

浮函碇けい　　V22000　　単第0 -0093　表

移設　　1　　函　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
クレーン付台船 35～40t吊 運転1日(就業8時間)	1	日			単第0-0094　表
引船 鋼Ｄ　300ps型　　221kW 運転1日就業8時間	1	日			単第0-0095　表
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
とび工	1	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	函			

施工単価表

クレーン付台船　　S9728　　単第0 -0094　表

35～40t吊　　運転1日(就業8時間)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 ミニローリー 船舶用(取引税抜き)	14.6	10L			146/10
船団長	1.20	人			1*1.2
普通船員	6.00	人			5*1.2
クレーン付台船 35～40t吊	6	時間			
クレーン付台船 35～40t吊	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　35～40t吊 C=3　運転6h			B=1　運転1日(就業8時間)		

施工単価表

引船　　S9736　　単第0 -0095　表

鋼D　300ps型　221kW　　運転1日就業8時間　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	20.6	10L			206/10
高級船員	1.20	人			1*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
引船 鋼製 D300PS型25GT	6	時間9欄			
損料(供用)	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=3　鋼D　300ps型　221kW C=3　運転6h			B=1　運転1日 D=1　就業8時間		

施工単価表

チェーン水中切断及び引揚げ　　V23000　　単第0 -0096　表

1　　函　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
クレーン付台船 35～40t吊 運転1日(就業8時間)	1	日			単第0-0094　表
引船 鋼Ｄ　300ps型　　221kW 運転1日就業8時間	1	日			単第0-0095　表
台船運転 鋼　１００ｔ積	1	日			単第0-0097　表
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	1	日			単第0-0009　表
溶接機運転 直流アーク式_手動D300A_海上	1	日			単第0-0098　表
普通作業員	3	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	函			

施工単価表

台船運転　　S9744　　単第0 -0097　表

鋼　１００ｔ積　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通船員	2.40	人			2*1.2
台船 台船 100t積	1.65	供用日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　鋼　１００ｔ積 C=2　その他			B=1　運転１日（就業８時間）		

施工単価表

溶接機運転　　S9866　　単第0 -0098　表

直流アーク式_手動D300A_海上　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	17	L			
電気溶接機 DE駆動・直流アーク式・排3 最大溶接電流300A	1.0	日			
損料(供用)	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　直流アーク式_手動D300A_海上					

施工単価表

連絡橋架設（海上）　V2001　単第0 -0099　表

1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
起重機船(非航旋回) 鋼D　600t吊 運転6時間(就業8時間)	1	日			単第0-0100　表
引船 鋼D2000ps型　1471kW 運転1日就業8時間	1	日			単第0-0101　表
揚錨船運転 鋼Ｄ１５ｔ吊　２８４ｋW	1	日			単第0-0102　表
橋りょう世話役	1	人			
橋りょう特殊工	6	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

起重機船(非航旋回)　　V9724　　単第0 -0100　表

鋼D　600t吊　　運転6時間(就業8時間)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	324	10L			
船団長	1.2	人			
高級船員	1.2	人			
普通船員	9.6	人			
起重機船 旋回・ディーゼル式 600t吊D	6	時間			
損料（供用） 起重機船 旋回 600t吊D	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

引船　　S9736　　単第0 -0101　表

鋼Ｄ2000ps型　1471kW　　運転1日就業8時間　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	45.6	10L			456/10
高級船員	3.60	人			3*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
引船 鋼製 D2000PS型180GT	2	時間9欄			
損料(供用)	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=14　鋼Ｄ2000ps型　1471kW C=1　運転2h			B=1　運転1日 D=1　就業8時間		

施工単価表

揚錨船運転　　S9734　　単第0 -0102　表

鋼Ｄ１５ｔ吊　２８４ｋＷ　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	17.6	10L			176/10
高級船員	2.40	人			2*1.2
普通船員	3.60	人			3*1.2
揚錨船 揚錨船 D15t吊	1	日			
損料（供用）	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=4　鋼Ｄ１５ｔ吊　２８４ｋＷ C=1　一般施工用			B=1　運転１日（就業８時間）		

施工単価表

連絡橋撤去（海上）　V2002　単第0 -0103　表

1　基　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
起重機船(非航旋回) 鋼D　600t吊 運転4時間(就業8時間)	1	日			単第0-0104　表
引船 鋼Ｄ2000ps型　1471kW 運転1日就業8時間	1	日			単第0-0101　表
揚錨船運転 鋼Ｄ１５ｔ吊　２８４ｋW	1	日			単第0-0102　表
橋りょう世話役	1	人			
橋りょう特殊工	6	人			
普通作業員	1	人			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			

施工単価表

起重機船(非航旋回)　　V000000300　　単第0 -0104　表

鋼D　600t吊　　運転4時間(就業8時間)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	216	10L			
船団長	1.2	人			
高級船員	1.2	人			
普通船員	9.6	人			
起重機船 旋回・ディーゼル式 600t吊D	4	時間			
損料（供用） 起重機船 旋回 600t吊D	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

チェーン防護材設置　　V40000　　単第0 -0105　表

1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
起重機船(非航旋回) 鋼D　100t吊　313kW 運転1日(就業8時間)	2	日			単第0-0106　表
引船 鋼D　600ps型　　441kW 運転1日就業8時間	2	日			単第0-0107　表
潜水士船 運転1日(就業8時間) D320ps型_3～5t吊	2	日			単第0-0009　表
水中酸素アーク切断 φ55	8	本			
削孔(水中) φ24mm 削孔長130mm	12	孔			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

起重機船(非航旋回)　　S9724　　単第0 -0106　表

鋼D　100t吊　313kW　　運転1日(就業8時間)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	35.9	10L			359/10
船団長	1.20	人			1*1.2
高級船員	1.20	人			1*1.2
普通船員	6.00	人			5*1.2
起重機船 旋回・ディーゼル式 100t吊D	6	時間			
損料(供用)	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=6　鋼D　100t吊　313kW C=3　運転6h			B=1　運転1日(就業8時間)		

施工単価表

引船　　S9736　　単第0 -0107　表

鋼D　600ps型　441kW　　運転1日就業8時間　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	13.7	10L			137/10
高級船員	2.40	人			2*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
引船 鋼製 D600PS型50GT	2	時間9欄			
損料(供用)	1.65	日11欄			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　鋼D　600ps型　441kW C=1　運転2h			B=1　運転1日 D=1　就業8時間		

施工単価表

汚濁防止膜設置　　S5852　　単第0 -0108　表

設置　　120　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
汚濁防止膜設置【手間のみ】 陸上クレーン込み	120.0	m			市場単価
＊＊＊　合計　＊＊＊	120	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　設置					

施工単価表

汚濁防止膜撤去　　S5852　　単第0 -0109　表

撤去　　120　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
汚濁防止膜撤去【手間のみ】 陸上クレーン込み	120.0	m			市場単価
＊＊＊　合計　＊＊＊	120	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　　撤去					

施工単価表

汚濁防止膜　　V6000　　単第0 -0110　表

単独フロートφ300　高3m×長20m　　20　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>単独フロートφ300,カーテン#300 高3×長20m,基本料金 生地引張強度(N/3cm)1000未満	1	スパン			
<賃>単独フロートφ300,カーテン#300 高3×長20m,1日当たり賃貸料金 生地引張強度(N/3cm)1000未満	10	日			
＊＊＊　合計　＊＊＊	20	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

えい航費　V5501010　単第0 -0111　表

起重機船(非航旋回) 鋼D 600t吊　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
えい航用引船運転 鋼D 2,000PS型	1	回			単第0-0112　表
被えい航船舶	1	回			単第0-0113　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

えい航用引船運転　　S5501011　　単第0 -0112　表

鋼D 2,000PS型　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	547.2	10L			22.8*24
高級船員	6.00	人			3*2
普通船員	2.00	人			1*2
引船 鋼製 D2000PS型180GT	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=12　鋼D 2,000PS型 C=2　供用日数 E=0.5625　割増賃金率			B=24　運転時間 D=2　航行距離(片道) 25浬以上		

施工単価表

被えい航船舶　　V5501013　　単第0 -0113　表

1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
船団長	2	人			
高級船員	2	人			
普通船員	12	人			
起重機船 旋回・ディーゼル式 600t吊D	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

えい航費　　V5501020　　単第0 -0114　表

バックホウ浚渫船 鋼D 3.0m3　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
えい航用引船運転 鋼D 1,000PS型	1	回			単第0-0115　表
被えい航船舶 バックホウ浚渫船3.0m3	1	回			単第0-0116　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

えい航用引船運転　　S5501011　　単第0 -0115　表

鋼D 1,000PS型　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	262.4	10L			11.41*23
高級船員	2.00	人			2*1
普通船員	1.00	人			1*1
引船 鋼製 D1000PS型90GT	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=9　鋼D 1,000PS型 C=1　供用日数 E=0.5625　割増賃金率			B=23　運転時間 D=2　航行距離(片道) 25浬以上		

施工単価表

被えい航船舶　　V5501014　　単第0 -0116　表

バックホウ浚渫船3.0m3　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
船団長	1	人			
高級船員	1	人			
普通船員	3	人			
バックホウ浚渫船 3.0m3	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

施工単価表

採泥（採泥器）　SG420　単第0 -0117　表

海底面上（採泥器方式）　１㎞未満　1　地点　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通車(ライトバン)運転 2L 69kW	1	日			単第0-0118　表
調査船運転（ＦＲＰ Ｄ ７０ＰＳ型) ＦＲＰ Ｄ ７０ＰＳ型 ３．０ｔ ５１ｋＷ	1	日			単第0-0119　表
測量技師 (外業)	1	人			
測量技師補 (外業)	1	人			
測量助手 (外業)	2	人			
雑材料	1	%			#06
計（１日当り）		日			
１地点当り		地点			計／１日当り採泥地点数
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	地点			
A=1　10m未満 C=1　影響なし E=1　５㎞未満			B=1　１㎞未満 D=1　１回 F=1　１名船員		
G=0　調査船の現場管理費率（%）			H=0　調査船の一般管理費率（%）		

施工単価表

交通車(ライトバン)運転　　S9898　　単第0 -0118　表

2L 69kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	7	L			
ライトバン ガソリンエンジン駆動 乗車定員5名排気量2.0L	2	時間			
損料(供用)	1.19	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転2時間					

施工単価表

調査船運転（ＦＲＰ Ｄ ７０ＰＳ型)　S9767　単第0 -0119 表

ＦＲＰ Ｄ ７０ＰＳ型 ３．０ｔ ５１ｋＷ　1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	4.4	10L			44/10
高級船員	1.20	人			1*1.2
調査船損料（運転) FRP製 D70PS型3.0GT	1	日			
損料（供用)	1.65	日			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	日			
A=1 ＦＲＰ Ｄ ７０ＰＳ型 ３．０ｔ ５１ｋＷ C=1 １名船員 E=0 一般管理費（%)			B=1 運転１日（就業８時間) D=0 現場管理費（%)		

施工単価表

試料運搬（水質・底質調査)　　SG440　　単第0 -0120　表

ライトバン２０００cc　　５０km未満　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師補 (外業)	0.50	人			0.5*1
交通車(ライトバン)運転 2L 69kW	0.50	日			単第0-0121　表 0.5*1
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　　５０km未満			B=1　　運搬回数		

施工単価表

交通車(ライトバン)運転　　S9898　　単第0 -0121　表

2L 69kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	20	L			
ライトバン ガソリンエンジン駆動 乗車定員5名排気量2.0L	6	時間			
損料(供用)	1.19	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=4　運転6時間					

施工単価表

安全監視船運転　　S9740　　単第0 -0122　表

FRP D 180PS型 10.0t 132kW　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
A重油 バージ渡し 一般,硫黄分0.5%以下	3.7	10L			37/10
高級船員	1.20	人			1*1.2
普通船員	1.20	人			1*1.2
交通船 FRP製 D180PS型10.0GT	1	日			
損料（供用）	1.65	日			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転1日（就業8時間）			B=1　FRP D 180PS型 10.0t 132kW		

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
護岸・岸壁 ・物揚場	基礎工	基礎捨石工	基礎捨石 捨石投入	捨石： １０kg～２００kg	m3	393.0	393	
			捨石本均し 捨石本均し・荒均し(陸上)	本均し（±5cm） 陸上施工潮待ち部	m2	29.0	29	
			捨石荒均し 捨石本均し・荒均し(陸上)	荒均し（±50cm） 陸上施工潮待ち部	m2	173.2	173	
			捨石荒均し 捨石本均し・荒均し(水中)	荒均し:±50cm 潮待ち部	m2	58.3	58	
			捨石荒均し 捨石本均し・荒均し(水中)	荒均し:±50cm 潮待ち部以外	m2	152.1	152	
	被覆・根固工	被覆石工	被覆石 被覆捨石 200kg以上～400kg未満	水深：10m未満 施工規模：1000m3未満	m3	167.2	167	
			被覆均し 被覆均し(陸上)	精度:±50cm 割石:200kg/個以上	m2	212.1	212	
			被覆均し 被覆均し(水中)	精度:±50cm 割石:200～1000kg/個	m2	63.8	64	
			被覆均し 被覆均し(水中)	精度:±50cm 割石:200～1000kg/個	m2	174.3	174	
	上部工	上部コンクリート工 本設連絡橋橋台	足場 鋼製枠組足場架払	(重力式)	m2	47.8	48	
			鉄筋 鉄筋加工組立	(重力式) SD345 16～25mm	kg	575.1	575	
			鉄筋 鉄筋加工組立	(重力式) SD345 13mm	kg	98.9	99	
			型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式,鋼矢板式) 陸上施工	m2	55.5	56	
			コンクリート コンクリート打設	(陸上) 18-8-40BB	m3	37.0	37	
			土のう 大型土のう製作・設置		袋	23.0	23	
			土のう 大型土のう撤去		袋	23.0	23	
	碇けい工	床掘り	バックホウ床掘 バックホウ浚渫	礫混じり土砂	m3	1,663.6	1,664	
			バックホウ床掘 バックホウ船拘束		式	1	1	
			バックホウ床掘 ガット瀬取り・運搬・土捨		m3	1,663.6	1,664	
			バックホウ床掘 処分費	床掘土砂	m3	1,663.6	1,664	
		基礎捨石工	基礎捨石 １０kg～１００kg		m3	28.8	29	
			捨石本均し （水中）	本均し:±5cm 潮待ち部以外	m2	42.3	42	
		アンカーブロック据付工	アンカーブロック据付 大型ブロック運搬据付	(海上一連方式)	個	2.0	2	

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
			置換材投入 捨石投入	10～100kg	m3	928.9	929	
	付属工	付属設備工	支承取付	支承材料別途支給	組	1.0	1	
		陸閘工	陸閘製作設置撤去工 陸閘製作設置工		式	1.0	1	
			陸閘製作設置撤去工 陸閘撤去工		式	1.0	1	
			陸閘製作設置撤去工 現場発生品運搬	クレーン装置付 4～4.5t積2.9t吊	t	2.861	3	
			陸閘製作設置撤去工 スクラップ処分費	アルミ込みガラ	kg	2,861.0	2,861	
			鉄筋 鉄筋加工組立	(重力式) SD345 16～25mm	kg	342.6	343	
			鉄筋 鉄筋加工組立	(重力式) SD345 13mm	kg	462.2	462	
			鉄筋 鉄筋加工組立	(重力式) SD345 16～25mm 差筋	kg	23.7	24	
			伸縮目地 伸縮目地	瀝青質系（ｔ＝１０mm）	m2	0.3	0.3	
			型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 一次コンクリート	m2	38.0	38	
			型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 二次コンクリート	m2	4.4	4	
			コンクリート コンクリート打設	(陸上) 24-12-20(25)BB 一次コンクリート	m3	25.5	26	
			コンクリート コンクリート打設	(陸上) 24-12-20(25)BB 二次コンクリート	m3	2.5	3	
			コンクリート 基礎砕石	砕石の厚さ 17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	m2	30.2	30	
			コンクリート 止水板	幅CF200×厚さ5mm 塩ビ製	m	3.6	4	
	裏込・裏埋工	裏込工	裏込材 積込(ルーズ)	破砕岩 土量50,000m3未満	m3	72.3	72	
			裏込材 割ぐり石	150～50mm	m3	72.3	72	
			裏込均し 裏込均し（Ⅱ）	(陸上) 精度±２０cm 陸上施工	m2	51.1	51	
			防砂シート敷設 防砂シート敷設	10m未満 陸上施工：クレーン抜き	m2	69.4	69	
	土工	作業土工	床掘り 土砂	土砂 標準	m3	190.1	190	
			床掘り 土砂	土砂 標準	m3	25.4	25	
			埋戻し 土砂	最小埋戻幅4m以上	m3	116.1	116	

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
	舗装工	アスファルト舗装工	下層路盤 RC-30,t=100		m2	811.0	811	
			上層路盤 RM-30,t=100		m2	811.0	811	
			表層 再生密粒度As,t=50		m2	811.0	811	
			溶融式区画線(1) 実線15cm		m	307.0	307	
			溶融式区画線(2) 文字15cm換算		m	36.0	36	
	構造物撤去工	撤去工	石材撤去 構造物とりこわし工		m3	5.8	6	
			コンクリート構造物取壊し 構造物とりこわし工	無筋構造物 一次施工	m3	21.5	22	
			コンクリート構造物取壊し 構造物とりこわし工	無筋構造物 二次施工	m3	5.2	5	
			コンクリート構造物取壊し 殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし 一次施工	m3	21.5	22	
			コンクリート構造物取壊し 殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし 二次施工	m3	5.2	5	
			コンクリート構造物取壊し 処分費	Co殻 無筋 一次施工	t	50.5	51	
			コンクリート構造物取壊し 処分費	Co殻 無筋 二次施工	t	12.2	12	
			コンクリート構造物取壊し 構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3	65.9	66	
			コンクリート構造物取壊し 殻運搬	Co(鉄筋)構造物とりこわし 一次施工	m3	65.9	66	
			コンクリート構造物取壊し 処分費	Co殻 鉄筋	t	164.8	165	
			舗装版撤去 舗装版切断	アスファルト舗装 版厚15cm以下 一次施工	m	25.8	26	
			舗装版撤去 舗装版切断	アスファルト舗装 版厚15cm以下 二次施工	m	76.6	77	
			舗装版撤去 舗装版破砕	アスファルト舗装 版厚15cm以下 一次施工	m2	91.0	91	
			舗装版撤去 舗装版破砕	アスファルト舗装 版厚15cm以下 二次施工	m2	731.0	731	
			舗装版撤去 殻運搬	舗装版破砕 一次施工	m3	4.6	5	
			舗装版撤去 殻運搬	舗装版破砕 二次施工	m3	37.8	38	
			舗装版撤去 処分費	As殻 一次施工	t	10.8	11	
			舗装版撤去 処分費	As殻 二次施工	t	88.8	89	

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
			土砂撤去 積込		m3	77.4	77	
			土砂撤去 土砂運搬	標準　土砂	m3	198.0	198	
			土砂撤去 処分費	土砂	m3	198.0	198	
			排水構造物撤去 硬質塩化ビニル管撤去工	呼び径　150mm	m	13.2	13	
			置式防護柵撤去 置式防護柵撤去		m	20.0	20	
			置式基礎撤去 殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3	3.2	3	
			置式基礎撤去 処分費	Co殻 無筋	t	7.4	7	
	復旧工	新設橋台部	型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 型枠	m2	66.6	67	
			型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式,鋼矢板式) 陸上施工 妻型枠	m2	0.075	0.08	
			伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜）		m2	3.3	3	
			コンクリート コンクリート打設	(陸上) 18-8-40BB	m3	22.1	22	
			コンクリート 基礎砕石	厚さ17.5cmを超え 20.0cm以下 RC-40	m2	11.3	11	
		仮設橋台部	型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式、鋼矢板式) 陸上施工 型枠	m2	64.6	65	
			型枠 鋼製型枠組立組外	(重力式、鋼矢板式) 陸上施工 妻型枠	m2	3.2	3	
			伸縮目地 瀝青質系（ｔ＝１０㎜）		m2	2.5	3	
			コンクリート コンクリート打設	(陸上) 18-8-40BB	m3	27.3	27	
			コンクリート コンクリート削孔	削孔深さ200mm以上 400mm以下	孔	64.0	64	
			コンクリート 樹脂カプセル	R-19N相当品	個	64.0	64	
			コンクリート 異形棒鋼	SD345,D19	kg	129.6	130	
			コンクリート 基礎砕石	厚さ17.5cmを超え 20.0cm以下 RC-40	m2	14.3	14	
			埋戻し 最小埋戻幅4m以上		m3	15.6	16	
	排水構造物工	作業土工	床掘り 土砂		m3	57.1	57	
			埋戻し 最小埋戻幅4m以上		m3	25.1	25	

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
		側溝工	自由勾配側溝 300×400×2000		m	18.0	18	
			自由勾配側溝 300×500×2000		m	18.0	18	
			自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000≧重量	300×500 L=1475/1590	m	1.532	1.5	
			自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000≧重量	300×500 L=1854/1740	m	1.797	1.8	
			自由勾配側溝 300×600×2000		m	12.0	12	
			自由勾配側溝 グレーチング蓋	B300用 L=500	枚	2.0	2	
			自由勾配側溝 1グレーチング蓋	B300用 L=1000	枚	24.0	24	
			自由勾配側溝 コンクリート	インバートコンクリート 18-8-40BB	m3	1.6	2	
			自由勾配側溝 型枠	基礎コンクリート	m2	5.1	5	
			管(函)渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下	円形側溝	m	1.9	2	
		集水桝工	プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石有り		基	1.0	1	
		止壁工	止壁工 コンクリート打設	(陸上) 18-8-40BB	m3	0.056	0.06	
			止壁工 型枠	一般型枠	m2	0.784	0.8	
			止壁工 基礎砕石	厚さ17.5cmを超え 20.0cm以下	m2	0.140	0.1	
		吐出口基礎工	吐出口基礎工 コンクリート打設	(陸上) 18-8-40BB	m3	0.156	0.2	
			吐出口基礎工 木製型枠組立組外	(重力式、鋼矢板式)	m2	1.309	1	
			吐出口基礎工 コンクリート削孔	削孔深さ30mm以上 200mm未満	孔	6.0	6	
			吐出口基礎工 樹脂カプセル	R-12N相当品	個	6.0	6	
			吐出口基礎工 異形棒鋼	SD345,D13	kg	3.28	3	
			吐出口基礎工 既設ﾌﾗｯﾌﾟゲート撤去	350×350	基	1.0	1	
			吐出口基礎工 ﾌﾗｯﾌﾟゲート設置	流用	基	1.0	1	
	付属工	付属設備工	電柱復旧 照明設備復旧工		基	1.0	1	
			給水管布設 管路掘削		m3	7.7	8	

数 量 総 括 表

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	数量	計上数量	備考
			給水管布設 管路埋戻		m3	7.7	8	
			給水管布設 据付工		m	5.3	5.3	
			給水管布設 TS継手工		口	3.0	3	
			給水管布設 硬質塩化ビニル管切断	呼び径 20mm	口	1.0	1	
			給水管布設 水道用硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP φ20mm	本	2.0	2	
			給水管布設 ソケット	φ20	個	1.0	1	
			給水管布設 エルボ	φ20	個	1.0	1	
			給水管撤去 硬質塩化ビニル管撤去工	φ20	個	25.8	25.8	
			フラッグポール設置	埋込式	箇所	1.0	1	
		連絡橋設置工	浮函碇けい チェーン水中切断及び引揚げ	切断箇所が４箇所以下	函	1.0	1	
			浮函碇けい 浮函碇けい		函	1.0	1	
			連絡橋架設工 連絡橋架設		基	1.0	1	
			連絡橋架設工 連絡橋撤去		基	1.0	1	
事業損失防止施設費	事業損失防止施設費(港湾)	水質汚濁防止膜	汚濁防止膜設置撤去 単独フロートφ300	高3m×長20m	m	40.0	40	
回航費・えい航費	回航・えい航費(港湾)	えい航	えい航 起重機船(非航旋回)		回	2.0	2	
			えい航 バックホウ船		回	2.0	2	
安全費	安全費	安全費	安全対策 安全監視船運転		日	79.0	79	
技術管理費	技術管理費（港湾）	技術管理	底質試験 採泥	採泥器方式	地点	1.0	1	
			底質試験 試料運搬	水質・底質調査	式	1.0	1	
			底質試験 底質試験		式	1.0	1	

土量配分表

掘削		
撤去工	舗装部	77.4
	計	77.4

床掘		
作業土工	橋台	190.1
撤去工	胸壁	25.4
排水構造物工	排水工	57.1
付属工	ポール基礎	7.7
	計	280.3

大型土のう		
上部工	新設橋台部	23
	計	23

埋戻し		
作業土工	橋台	116.1
	胸壁	
排水構造物工	排水工	25.1
復旧工	仮設橋台部	15.6
付属工	ポール基礎	7.7
	計	164.5

182.8 × 0.9 = 164.5

380.7	182.8

残土	381.0 − 182.8 = 198.2

基礎工

種別	規格	算式	単位	数量
基礎捨石				
捨石投入	20～200kg	V ＝ 85.8 ＋ 307.2	m3	393.0
本均し	陸上潮待ち　±5cm	A ＝ 29.0	m2	29.0
荒均し	陸上潮待ち　±50cm	A ＝ 173.2	m2	173.2
	水中潮待ち　±50cm	A ＝ 58.3	m2	58.3
	水中　±50cm	A ＝ 152.1	m2	152.1

基礎捨石（陸上 10～200kg）　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	gl 面　積	平　均	体　積		平　均			平　均		備　考
		0.0									
	1.50	6.0	3.00	4.5							
1-1断面	1.90	6.0	6.00	11.4							
2-2断面	4.50	6.0	6.00	27.0							
3-3断面	4.50	6.0	6.00	27.0							
	1.90	6.0	6.00	11.4							
	1.50	0.0	3.00	4.5							
合　計				m3 85.8							

基礎捨石（水中 10～200kg）　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	g2 面　積	平　均	体　積		平　均			平　均		備　考
		0.0									
	5.20	14.8	7.40	38.5							
1-1断面	3.40	14.8	14.80	50.3							
2-2断面	4.50	14.9	14.85	66.8							
3-3断面	4.50	17.0	15.95	71.8							
	3.40	17.0	17.00	57.8							
	5.30	0.0	8.50	45.1							
				m3							
小　計				330.3							
基礎捨石控除分				-23.1	（新設橋台工基礎詳細図より）						
				m3							
合　計				307.2							

基礎捨石均し　　計　算　表

（新設橋台工基礎捨石均し詳細図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
			（一ヶ所当り数量）			
本 均 し	陸上潮待	±5cm		29.0	m2	
荒 均 し	陸上潮待	±50cm		173.2	m2	
〃	水中潮待	±50cm		58.3	m2	
〃	水　中	±50cm		152.1	m2	

被覆工

種別	規格	算式	単位	数量
被覆石				
被覆石投入	20～200kg	V ＝ 76.4 + 90.8	m3	167.2
被覆石均し	陸上潮待ち　±50cm	A ＝ 212.1	m2	212.1
	水中潮待ち　±50cm	A ＝ 63.8	m2	63.8
	水中　±50cm	A ＝ 174.3	m2	174.3

被覆石（陸上 200～400kg）　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	G1 面　積	G1 平　均	G1 体　積		平　均			平　均		備　考
		0.0									
	0.60	4.6	2.30	1.4							
	1.50	4.6	4.60	6.9							
1-1断面	2.00	4.6	4.60	9.2							
2-2断面	4.50	4.6	4.60	20.7							
3-3断面	4.50	4.6	4.60	20.7							
	2.00	4.6	4.60	9.2							
	1.50	4.6	4.60	6.9							
	0.60	0.0	2.30	1.4							
				m3							
合　計				76.4							

被覆石（水中 200～400kg）　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	G2 面　積	G2 平　均	G2 体　積		平　均			平　均		備　考
		0.0									
	5.30	6.8	3.40	18.0							
	0.70	2.8	4.80	3.4							
1-1断面	3.40	2.8	2.80	9.5							
2-2断面	4.50	2.7	2.75	12.4							
3-3断面	4.50	2.9	2.80	12.6							
	3.40	2.9	2.90	9.9							
	0.70	7.6	5.25	3.7							
	5.60	0.0	3.80	21.3							
				m3							
合　計				90.8							

被覆石均し　　計　算　表

（新設橋台工被覆石均し
詳細図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
			（一ヶ所当り数量）			
被覆石均し	陸上潮待	±50cm		212.1	m2	
〃	水中潮待	±50cm		63.8	m2	
〃	水　中	±50cm		174.3	m2	

上部工

（新設橋台構造図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm^2		37.020	m3	
型 枠				55.513	m2	
鉄 筋	D16	SD345		575.11	kg	新設橋台工配筋図(2)より
〃	D13	SD345		98.88	kg	〃
枠組足場	組立・組外			47.8	掛m2	
			(一ケ所当り数量)			
大型土のう		B1.0m× W1.0m×H1.0m		23	個	
大型土のう 設置・撤去	陸 上	B1.0m× W1.0m×H1.0m		23	個	大型土のう配置図より

碇けい工

（アンカーブロック基礎詳細図より）

種別	規格	算式	単位	数量
床掘				
床掘				
バックホウ床掘		V2 ＝ 51.80 × 1/2 ×(7.53 + 8.63)+ 51.80 × 4.60	m3	656.8
		V3 ＝ 70.90 × 1/2 ×(8.80 + 10.40)+ 70.90 × 4.60	m3	1006.8
		V ＝ 656.82 + 1006.78	m3	1663.6
バックホウ船拘束		N ＝ 1	式	1
ガット瀬取り・運搬・土捨		V ＝ 1663.60	m3	1663.6
土砂等運搬		V ＝ 1663.60	m3	1663.6
処分		V ＝ 1663.60	m3	1663.6
基礎捨石工				
基礎捨石	10～100kg	V ＝ 0.50 / 6 ×(4.60 × 6.10 × 2 +		
		2 ×(4.60 ^2+ 6.10 ^2))	m3	14.4
		V ＝ 14.4 × 2	m3	28.8
本均し	水中 ±5cm	A ＝ 4.6 × 4.6 × 2	m2	42.3
ｱﾝｶｰﾌﾞﾛｯｸ据付				
ｱﾝｶｰﾌﾞﾛｯｸ据付		N ＝ 2	個	2
置換材投入均し				
捨石投入	10～100kg	V ＝ 3.60 / 6 ×(6.10 × 16.90 × 2 +		
		2 ×(6.10 ^2+ 16.90 ^2))- 3.60 ^3	m3	464.4
		V ＝ 464.4 × 2	m3	928.9

付　属　設　備　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
連絡橋 支承取付				1	組	

陸閘基礎工

（陸閘基礎一般図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
一次コンクリート	陸　上	σck=24N/mm^2		25.519	m3	
二次コンクリート	陸　上	σck=24N/mm^2		2.508	m3	
一次型枠				37.951	m2	
二次型枠				4.445	m2	
目 地 材	エラスタイト相当品	t=10mm		0.315	m2	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		30.150	m2	
鉄 筋	D16	SD345		342.58	kg	陸閘基礎配筋図(2)
〃	D13	SD345		462.24	kg	〃
差 筋	D16	SD345		23.71	kg	
止 水 板		CF200×5相当品		3.600	m	

陸　閘　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
扉体 耐食アルミ合金製引扉	B7.50m ×H0.45m	三方ゴム水密		1		陸閘一般図(耐食アルミ合金製 引扉)よ
陸閘設置	B7.50m ×H0.45m			1		
陸閘撤去	B7.50m ×H0.8m			1		
陸閘処分	B7.50m ×H0.8m			2861.0	kg	

扉体装置

品番	名　　称	材　質	形 状 寸 法	個数	数量	単位	単位重量 (kg)	重　　量 (kg)	塗装面積 (㎡)
	スキンプレート	A5083	PL　6.0 424 × 7684	1	3.258	㎡	16.260	53.0	6.5
	上部横桁Web	A5083	PL　8.0 426 × 9000	1	3.834	㎡	21.680	83.1	7.7
	上部横桁Flg	A5083	PL　12.0 75 × 9000	2	1.350	㎡	32.520	43.9	2.7
	下部横桁Web	A5083	PL　8.0 420 × 9000	1	3.780	㎡	21.680	82.0	7.6
	下部横桁Flg	A5083	PL　15.0 80 × 9000	2	1.440	㎡	40.650	58.5	2.9
	縦桁Web	A5083	PL　8.0 420 × 440	3	0.554	㎡	21.680	12.0	1.1
	縦桁Flg	A5083	PL　15.0 100 × 285	6	0.171	㎡	40.650	7.0	0.3
	縦リブWeb	A5083	PL　8.0 438 × 390	3	0.512	㎡	21.680	11.1	1.0
	縦リブFlg	A5083	PL　12.0 90 × 285	3	0.077	㎡	32.520	2.5	0.2
	車輪室桁Web	A5083	PL　8.0 420 × 390	4	0.655	㎡	21.680	14.2	1.3
	車輪室桁Flg	A5083	PL　15.0 80 × 285	8	0.182	㎡	40.650	7.4	0.4
	桁カバー	A5083	PL　3.0 355 × 480	2	0.341	㎡	8.130	2.8	0.7
	引寄せボルト受座	SUS304	PL　9.0 130 × 126	2	0.033	㎡	71.370	2.4	0.1
	〃	SUS304	PL　9.0 145 × 180	2	0.052	㎡	71.370	3.7	0.1
	〃	SUS304	PL　6.0 121 × 120	4	0.058	㎡	47.580	2.8	0.1
	吊　　手	SUS304	PL　12.0 120 × 170	2	0.041	㎡	95.160	3.9	0.1
	〃	SUS304	PL　9.0 65 × 90	2	0.012	㎡	71.370	0.9	
	ゴム押エ	SUS304	FB38×9 435	2	0.870	m	2.710	2.4	0.1
	〃	SUS304	FB50×6 7500	1	7.500	m	2.380	17.9	0.8
								411.5	

扉体装置

品番	名　　称	材　質	形 状 寸 法	個数	数量	単位	単位重量 (kg)	重　　量 (kg)	塗装面積 (㎡)
	水密ゴム	ﾈｵﾌﾟﾚﾝ	φ30×w75×t12 450	2	0.900	m	1.300	1.2	
	〃	ﾈｵﾌﾟﾚﾝ	w60×t12 450	2	0.900	m	0.864	0.8	
	〃	ﾈｵﾌﾟﾚﾝ	w60×t10 450	1	0.450	m	0.720	0.3	
	〃	ﾈｵﾌﾟﾚﾝ	w65×t12 7550	1	7.550	m	0.940	7.1	
	ガイドローラー	MCﾅｲﾛﾝ	φ110	6		組	6.400	38.4	
	車　　輪	SUS304	φ150ローラー	4		組	11.500	46.0	
	車輪ブラケット	SUS304	φ150上下装置	2		組	35.000	70.0	
	固定金具	SUS304	固定金具（ピン式）	1		組	2.500	2.5	
	工具収納箱	－		1		組	12.000	12.0	
	ボルトナット類	SUS304		1		式	10.200	10.2	
								188.5	
						扉体装置　計		600.0	kg
						塗装面積		32.4	m^2
						酸洗面積		1.3	m^2

戸当り装置

品番	名　　称	材　質	形 状 寸 法	個数	数量	単位	単位重量 (kg)	重　　量 (kg)	塗装面積 (㎡)
	側部戸当り	SUS304	PL[150×75×6 450	2	0.900	m	13.703	12.3	0.3
	下部戸当り	SUS304	L75×75×9 7500	1	7.500	m	7.730	58.0	2.3
	〃	SUS304	[150×75×6 630	2	1.260	m	13.840	17.4	0.6
	戸当り取付材	SUS304	FB65×6 138	2	0.276	m	3.090	0.9	
	引寄せボルトボックス	SUS304	PL　6.0 264　×　490	2	0.259	㎡	47.580	12.3	0.5
	〃	SUS304	PL　6.0 90　×　75	4	0.027	㎡	47.580	1.3	0.1
	ガイドローラー受	SUS304	[150×75×6 1400	1	1.400	m	13.840	19.4	0.6
	〃	SUS304	[130×65×6 7800	1	7.800	m	11.940	93.1	3.0
	ローラー受取付材	SUS304	[130×65×6 933	5	4.665	m	11.940	55.7	1.8
	側部戸当り補強材	SS400	H100×50×5×7 350	2	0.700	m	9.300	6.5	
	レ ー ル	SUS304	FB65×22 7500	2	15.000	m	11.340	170.1	2.3
	〃	SUS304	FB65×22 6900	2	13.800	m	11.340	156.5	2.1
	〃	SS400	FB75×19 7500	2	15.000	m	11.200	168.0	
	〃	SS400	FB75×19 6900	2	13.800	m	11.200	154.6	
	〃	SUS304	PL　15.0 22　×　150	2	0.007	㎡	118.950	0.8	
	レール取付材	SS400	L65×65×8 490	7	3.430	m	7.660	26.3	
	〃	SS400	L65×65×8 440	7	3.080	m	7.660	23.6	
	〃	SS400	FB50×6 95	28	2.660	m	2.360	6.3	
	〃	SUS304	FB38×6 218	3	0.654	m	1.810	1.2	
	ストッパー	SUS304	PL　10.0 100　×　104	2	0.021	㎡	79.300	1.7	
	〃	SUS304	PL　6.0 94　×　115	2	0.022	㎡	47.580	1.0	
	〃	SUS304	PL　6.0 135　×　180	2	0.049	㎡	47.580	2.3	0.1
	〃	SUS304	PL　6.0 110　×　200	1	0.022	㎡	47.580	1.0	
	〃	SS400	FB50×6 100	1	0.100	m	2.360	0.2	
	アンカー	SS400	φ13 250	60	15.000	m	1.040	15.6	
								1006.1	

戸当り装置

品番	名　　称	材　質	形 状 寸 法	個数	数量	単位	単位重量 (kg)	重　　量 (kg)	塗装面積 (㎡)
	緩衝ゴム	ﾈｵﾌﾟﾚﾝ	緩衝ゴム	2		組	0.120	0.2	
	扉体引寄せボルト	SUS304	M24-B 型	2		組	6.000	12.0	
	ケミカルアンカー	SUS304	M16×170	14		組	0.309	4.3	
	ボルトナット類			1		式	3.200	3.2	
								19.7	
						戸当装置　計		1009.3	kg
						酸洗面積		13.7	m^2
							重　量	1609.3	kg
							塗装面積	32.4	m^2
							酸洗面積	15.0	m^2

裏込工

種別	規格	算式	単位	数量
裏込				
裏込栗石	5～15cm	V ＝ 57.8 × 1.25 (割増率)	m3	72.3
裏込栗石均	陸上潮待ち ±20cm		m2	51.1
防砂シート			m2	69.4

裏込栗石（5～15cm）　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	Ug 面　積	Ug 平　均	Ug 体　積		平　均			平　均		備　考
		0.0									
	1.40	5.1	2.55	3.6							
1-1断面		5.1									
	1.50	3.9	5.10	7.7							
2-2断面											
	4.50	3.9	3.90	17.6							
3-3断面		3.9									
	4.50	5.1	3.90	17.6							
	1.50	5.1	5.10	7.7							
	1.40	0.0	2.55	3.6							
				m3							
合　計				57.8							

裏込栗石均し　　計　算　表

（新設橋台工裏込詳細図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
			（一ヶ所当り数量）			
裏込栗石均し	陸上潮待	±20cm		51.1	m2	

防砂シート　　計　算　表

（新設橋台工裏込詳細図より）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
			（一ヶ所当り数量）			
防砂シート				69.4	m2	

作　業　土　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
床 掘				190.1	m3	
埋 土				116.1	m3	

床掘　　計　算　表

（新設橋台工横断図より）

測　点	距　離	E 面　積	E 平　均	E 体　積		平　均			平　均		備　考
		-									
		3.4									
	1.50	3.4	3.40	5.1							
	3.80	12.7	8.05	30.6							
1-1断面											
	0.60	12.7	12.70	7.6							
2-2断面											
	4.50	12.1	12.40	55.8							
3-3断面		13.3									
	4.50	13.5	12.70	57.2							
	0.60	13.5	13.50	8.1							
	3.80	0.0	6.75	25.7							
				m3							
合　計				190.1							

埋土　　計算表

（新設橋台工横断図より）

測点	距離	U 面積	U 平均	体積		平均			平均		備考
		－									
		4.7									
	1.50	4.7	4.70	7.1							
	1.50	9.1	6.90	10.4							
	1.40	5.9	7.50	10.5							
1-1断面											
	1.50	5.9	5.90	8.9							
2-2断面											
	4.50	5.5	5.70	25.7							
3-3断面											
	4.50	5.9	5.70	25.7							
	1.50	5.9	5.90	8.9							
	1.40	9.2	7.55	10.6							
		1.9									
	1.50	－	5.55	8.3							
				m3							
合　計				116.1							

舗装工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
アスファルト舗装	t=5cm			811.01	m2	舗装工詳細図より
上層路盤	t=10cm	RM-30		811.01	m2	〃
下層路盤	t=10cm	RC-30		811.01	m2	〃
溶融式区画線(1)		実線15cm		307.0	m	区画線詳細図より
溶融式区画線(2)		文字15cm換算	5.4m2 / 0.15m	36.0	m	〃

撤去工

種別	規格	算式	単位	数量
撤去工				
舗装切断	t=5cm(一次施工)		m	25.8
〃	t=5cm(二次施工)	L = 20.6 + 56.0	m	76.6
舗装撤去	t=5cm(一次施工)		m3	4.6
〃	t=5cm(二次施工)	V = 1.2 + 36.6	m3	37.8
殻運搬	舗装版破砕(一次施工)		m3	4.6
〃	舗装版破砕(二次施工)		m3	37.8
処分	As殻(一次施工)		t	10.8
〃	As殻(二次施工)		t	88.8
床掘			m3	25.4
構造物とりこわし	無筋構造物(一次施工)	V = 12.8 + 7.20 + 0.9 + 0.6	m3	21.5
〃	無筋構造物(二次施工)	V = 3.9 + 1.3	m3	5.2
殻運搬	Co(無筋)(一次施工)		m3	21.5
〃	Co(無筋)(二次施工)		m3	5.2
処分	Co殻無筋(一次施工)		t	50.5
〃	Co殻無筋(二次施工)		t	12.2
構造物とりこわし	鉄筋構造物(一次施工)	V = 45.1 + 20.8	m3	65.9
殻運搬	Co(鉄筋)		m3	65.9
処分	Co殻(鉄筋)		t	164.8
構造物とりこわし	石積み		m3	5.8
積込(ルーズ)	土砂		m3	77.4
硬質塩化ビニル管撤去	φ150		m	13.2

撤去工

種別	規格	算式	単位	数量
置式防護柵撤去			m	20.0
殻運搬	Co殻無筋		m3	3.2
処分	Co殻無筋		t	7.4

撤去工（一次施工）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm			25.8	m	撤去工詳細図(1)より
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	t=5cm			4.6	m3	〃
既設橋台撤去	陸　上	鉄　筋		45.1	m3	撤去工詳細図(2)より
既設護岸撤去	陸　上	無　筋		12.8	m3	〃
既設ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去	陸　上	無　筋		7.2	m3	〃
既設陸閘ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	陸　上	鉄　筋		20.8	m3	〃
既設ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄ撤去		350×350		1	個	〃
既設集水桝撤去		無　筋		0.9	m3	〃
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝撤去		無　筋		0.6	m3	〃
既設塩化ビニル管撤去		φ150		13.2	m	〃
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分			4.6m3 × 2.35t/m3	10.8	t	〃
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処分		鉄　筋	(45.1m3 + 20.8m3) × 2.5t/m3	164.8	t	〃
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処分		無　筋	(12.8m3 + 7.2m3 + 0.9m3 + 0.6m3) × 2.35t/m3	50.5	t	〃

撤去工（二次施工）

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm			20.6	m	復旧工詳細図(2)より
〃	〃			56.0	m	既設舗装撤去詳細図より
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	t=5cm			1.2	m3	復旧工詳細図(2)より
〃	〃			36.6	m3	既設舗装撤去詳細図より
床 掘				25.4	m3	復旧工詳細図(2)より
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	陸 上	無 筋		3.9	m3	〃
既設石積み撤去				5.8	m3	〃
既設止壁撤去		無 筋		1.3	m3	既設舗装撤去詳細図より
土砂撤去				77.4	m3	既設舗装撤去詳細図より
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処分			37.8m3×2.35t/m3	88.8	t	
既設ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処分		無 筋	(3.9m3 + 1.3m3) × 2.35t/m3	12.2	t	
置式防護柵撤去				20.0	m	置き式ガードレール(参考図)より
殻運搬		無筋	端部A=0.23m3×4+標準=0.33m3×3+標準(1m)=0.15×2+端部B=0.24m3×4	3.2	m3	
処分		無筋	3.2m3×2.35t/m3	7.4	t	

復　旧　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
(新設橋台部)						
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm²		22.101	m3	
型 枠				66.619	m2	
妻 型 枠				0.075	m2	
目 地 材	エラスタイト 相当品	t=10mm		3.322	m2	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		11.285	m2	
(仮設橋台部)						
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm²	27.481 - 0.153 (排水工詳細図(2)より、控除分)	27.328	m3	
型 枠			64.941 - 0.321 (排水工詳細図(2)より、控除分)	64.620	m2	
妻 型 枠				3.248	m2	
目 地 材	エラスタイト 相当品	t=10mm		2.513	m2	
削 孔	L=200mm	φ24mm		64	孔	
樹脂カプセル		R-19N 相当品		64	個	
差 筋	D19	SD345		129.60	kg	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		14.315	m2	
埋 戻 し			15.9 - 0.3 (排水工詳細図(2)より、控除分)	15.6	m3	

復旧工　　計算表

(復旧工詳細図(1)より)

種別	細別	規格	算定式	数量		備考
(新設橋台部)			(一ケ所当り数量)			
コンクリート	陸上	σck=18N/mm²		22.101	m3	
型枠				66.619	m2	
妻型枠				0.075	m2	
目地材	エラスタイト相当品	t=10mm		3.322	m2	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		11.285	m2	

復旧工　　計算表

(復旧工詳細図(2)より)

種別	細別	規格	算定式	数量		備考
(仮設橋台部)			(一ケ所当り数量)			
コンクリート	陸上	σck=18N/mm²		27.481	m3	
型枠				64.941	m2	
妻型枠				3.248	m2	
目地材	エラスタイト相当品	t=10mm		2.513	m2	
削孔	L=200mm	φ24mm		64	孔	
樹脂カプセル		R-19N相当品		64	個	
差筋	D19	SD345		129.60	kg	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		14.315	m2	
埋戻し				15.9	m3	

排　水　構　造　物　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
床 掘				57.1	m3	
埋 戻 し				25.1	m3	
集 水 桝	B400×L400 ×H800	T-25		1	個所	
バイコン台付管						
バイコン台付		PVC-300	5/10.0 × 1.941	1	本	
敷モルタル			0.072/10.0 × 0.478	0.003	m3	
基礎砕石	t=15cm	RC-40	4.400/10.0 × 0.433	0.191	m2	

排　水　構　造　物　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
自由勾配側溝						
側 溝	300×400 L=2000	横断用		9	個	
〃	300×500 L=2000	横断用		9	個	
〃	300×500 L=1475/1590	横断用 斜切		1	個	
〃	300×500 L=1854/1740	横断用 斜切		1	個	
〃	300×600 L=2000	横断用		6	個	
グレーチング蓋	B300用 L=500	横断用 T-25		2	枚	
〃	B300用 L=1000	横断用 T-25		24	枚	
インバートコンクリート	陸 上	σck=18N/mm²		1.635	m3	
基礎コンクリート	陸 上	σck=18N/mm²		1.540	m3	
同上型枠				5.133	m2	
基礎砕石	t=7.5cm	RC-40		35.930	m2	

排　水　構　造　物　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
止 壁 工						
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm^2		0.056	m3	
型 枠				0.784	m2	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		0.140	m2	
吐出口基礎						
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm^2		0.156	m3	
型 枠				1.309	m2	
削 孔	L=100mm	φ16mm		6	孔	
樹脂カプセル		R-12N 相当品		6	個	
差 筋	D13	SD345		3.28	kg	
既設フラップゲート	流 用	350×350		1	個	

土工　　計算表

(排水工詳細図(1)より)

種別	細別	規格	算定式	数量		備考
			(一ヶ所当り数量)			
床掘				57.1	m3	
埋戻し				25.1	m3	

排 水 工　　計 算 表

（排水工構造図より）

種　　別	細 別	規 格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
集 水 桝			（一ヶ所当り数量）			
集 水 桝	B400×L600 ×H800	T-25		1	個	
インバートコンクリート	陸 上	σck=18N/mm²		0.034	m3	
桝ベース	400×400用			1	個	
基礎砕石	t=10cm	RC-40		0.834	m2	
グレーチング蓋	400×600用	T-25		1	枚	
バイコン台付管			（10m当り数量）			
バイコン台付		PVC-300		5	本	
敷モルタル				0.072	m3	
基礎砕石	t=15cm	RC-40		4.400	m2	

排 水 工　　計 算 表

（排水工構造図より）

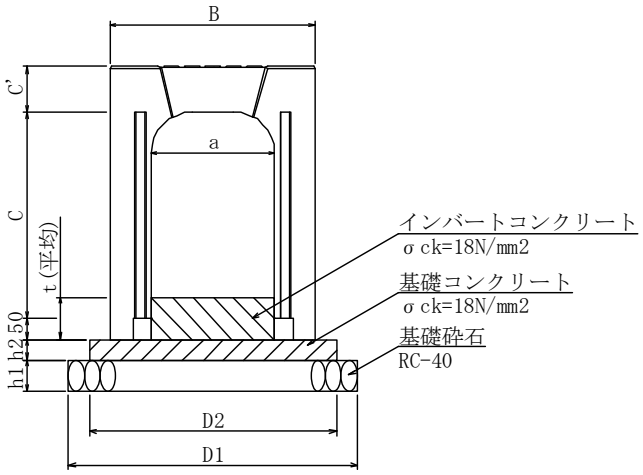
種　　別	細 別	規 格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
自由勾配側溝			（一ヶ所当り数量）			
側 溝	300×400 L=2000	横断用		9	個	
〃	300×500 L=2000	横断用		9	個	
〃	300×500 L=1475/1590	横断用 斜切		1	個	
〃	300×500 L=1854/1740	横断用 斜切		1	個	
〃	300×600 L=2000	横断用		6	個	
グレーチング蓋	B300用 L=500	横断用 T-25		2	枚	
〃	B300用 L=1000	横断用 T-25		24	枚	
インバートコンクリート	陸 上	σck=18N/mm^2		1.635	m3	
基礎コンクリート	陸 上	σck=18N/mm^2		1.540	m3	
同上型枠				5.133	m2	
基礎砕石	t=7.5cm	RC-40		35.930	m2	
自由勾配側溝			（10m当り数量）			
側 溝	300×400 ～600	横断用		5	個	
基礎コンクリート	陸 上	σck=18N/mm^2		0.300	m3	
型 枠				1.000	m2	
基礎砕石	t=7.5cm	RC-40		7.000	m2	
グレーチング蓋	B300用	横断用 T-25		5	枚	

数　量　計　算　表

自由勾配側溝 横断

（インバートコンクリート寸法は排水工詳細図(1)より）

概略図



算式表

名　称	規　格	単位	計　算　式
インバートコンクリート	σck=18N/mm2	m3	(a×t)×L
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	(D2×h2)×L
基礎コンクリート型枠		m2	2×h2×L
基礎砕石	RC-40	m2	D1×L
		m3	D1×h1×L

寸法表

内幅 a (mm)	外幅 B (mm)	頂版厚 C' (mm)	内高 C (mm)
250	450	95	250～ 600
300	500	110	300～1100
400	610	110	400～1200
500	720	125	400～1300
600	830	140	500～1100
700	970	150	500～1500
800	1080	160	500～1500

規　格 a × C	延　長 L (m)	インバートコンクリート 厚さ t_{max} (mm)	 t_{min} (mm)	 $t_{(平均)}$ (mm)	数量 (m3)	基礎コンクリート 幅 D2 (mm)	厚さ h2 (mm)	数量 (m3)	型枠 (m2)	基礎砕石 幅 D1 (mm)	厚さ h1 (mm)	数量 (m2)	 (m3)	摘　要
300 × 600	12.000	151	96	124	0.446	600	50	0.360	1.200	700	75	8.400	0.630	
300 × 500	18.000	134	51	93	0.502	600	50	0.540	1.800	700	75	12.600	0.945	
300 × 500	1.532	141	134	138	0.063	600	50	0.046	0.153	700	75	1.072	0.080	
300 × 500	1.797	151	141	146	0.079	600	50	0.054	0.180	700	75	1.258	0.094	
300 × 400	18.000	150	51	101	0.545	600	50	0.540	1.800	700	75	12.600	0.945	
合　計					1.635			1.540	5.133			35.930	2.694	51.329m当り

止 壁 工　　計 算 表

（排水工構造図より）

種　　別	細 別	規 格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
止 壁 工			（1ヶ所当り数量）			
コンクリート	陸 上	σck=18N/mm^2		0.056	m3	
型 枠				0.784	m2	
基礎砕石	t=20cm	RC-40		0.140	m2	

吐出口基礎　　計　算　表

(排水工詳細図(2)より)

種　別	細　別	規　格	算　定　式	数　量		備　考
吐出口基礎			(1ヶ所当り数量)			
コンクリート	陸　上	σck=18N/mm^2		0.156	m3	
型 枠				1.309	m2	
削 孔	L=100mm	φ16mm		6	孔	
樹脂カプセル		R-12N 相当品		6	個	
差 筋	D13	SD345		3.28	kg	
既設フラップゲート	流 用	350×350		1	個	

付　属　工

種　　別	細　別	規　格	算　　定　　式	数　　量		備　　考
電柱復旧 照明設備復旧				1	基	
照明灯		E71283SAJ9 K10L/2700K		1	台	
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装切断	t=5cm			2.0	m	排水工及び給水平面図より
既設ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去				0.7	m3	〃
床　掘				7.7	m3	〃
埋 戻 し				7.7	m3	〃
給 水 管				5.30	m	〃
据付工				5.3	m	
TS継手工				3	口	
硬質塩化ビニル管切断	呼び径20mm			1	口	
水道用硬質ポリ塩化ビニル管		HIVP φ20		2.0	本	
ソケット		φ20		1.0	個	
エルボ		〃		1.0	個	
給水管撤去				25.800	m	〃
フラッグポール				1.000	個所	〃

碇けい工

種別	規格	算式	単位	数量
浮函碇けい				
浮函碇けい	移設	N ＝ 1	函	1
ﾁｪｰﾝ水中切断及び引揚げ		N ＝ 1	函	1
連絡橋架設工				
連絡橋架設		N ＝ 1	基	1
既設連絡橋撤去		N ＝ 1	基	1